

ハ島廳書記郡書記トス

島司郡長若クハ書記及直間稅分署長前條ノ現金前渡ヲ受ケタルトキハ出納官吏ノ責任ヲ以テ其管内召集ニ應スヘキ在郷軍人並ニ豫備徵員ニ對シ各自ニ召集地ニ到ル定則ノ旅費額ヲ支給スヘシ

第一項 直稅分署長若クハ間稅分署長ハ地方長官之ヲ定メ島廳郡役所ノ外特ニ支給ノ場所ヲ設クルヲ必要ト認ムルトキハ師團長ハ地方長官ト協議ノ上之ヲ定メ地方長官ヨリ其郡市又ハ島嶼ニ告示スヘシ

臨時召集旅費支給ニ係ル事務ハ最モ迅速ヲ要ス故ニ出納官吏タル者現金前渡ノ命令ヲ受ケタルトキハ晝夜ヲ分タス之ヲ處辨スヘシ

●訓令第四十號

明治二十五年四月十五日

郡市役所

警察署

警察分署

明治二十三年

八訓令第百二十一號改正陸軍召集條例細務規程第六十一條中「師團長又ハ大隊區司令官」ヲ「郡長又ハ市長」ニ改メ末文ニ「但市長ヨリハ其住所氏名ヲ直稅分署長ニ通報スヘシ」ノ但書ヲ加フ

●訓令第四十一號

明治二十五年四月十五日

郡市役所

直稅署富山分署

直稅署高岡分署

明治二十五年七月一日訓令第六十六號ヲ以テ甲種書式ヲ改正シ且證憑書表紙中ニ追加

陸軍召集旅費支出規程第十一條ニ依リ演習召集ノ旅費金ヲ支給スル日時ハ郡長ヨリ之ヲ各自ニ達シ又市ニ在テハ市長ヨリ直稅分署長ヘ協議ノ上之ヲ定メ各自ニ達スヘシ

●訓令第四十七號

明治二十五年五月六日

陸軍召集旅費出納官吏

明治二十五年三月陸軍省令第五號陸軍召集旅費支出規程第九條ニ依リ會計検査院ニ提出スヘキ仕拂計算書及證憑書類並ニ殘金返納證書式左ノ通相定ム

明治何年度何年自何月何日至何月何日仕拂
計算書面之通相違無之候也

出納官吏官氏名印

會計検査院長宛

明治何年何月何日

| | | | |
|-----------|----------------|------------------------------|-----|
| 明治何年度軍事費 | | (甲號書式) | |
| 明治何年 | 自何月何日 至何月何日 | 出納官吏現金ヲ領收セル月日ヨリ仕終拂ヲリタル月日ヲ記入ス | |
| 仕 拂 計 算 書 | | | |
| 元 | | 高 | |
| 前月越高 | 何月領收高 | 計 | |
| 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| | 15000 | 15000 | |
| | 15000 | 15000 | |
| 第 三 師 團 | | | |

| 目番號 | 摘 要 | 支出精算高 | 残 高 | 冊番號 證憑番 | 備 考 |
|-----|--------|-------|------|------------|-----|
| | 第九項 | | | | |
| | 復習及復習費 | | | | |
| 2 | 復習諸費 | 10000 | | 1 | |
| | 第九項合計 | 10000 | 5000 | | |
| | 總 計 | 10000 | 5000 | | |

残高總テ本月返納濟

「何月領收高」欄ニ記載スル月ハ出納官吏現金ヲ領收セシ當該月ヲ掲記ス
 仕拂殘金アルトキハ證憑書ニ返納證ヲ添へ差出シ此場合ニ於テ
 計算書ヲ提出スルハ仕拂命令官ノ返納告知書ニ據リ現金ヲ指定
 ノ金庫ニ納付ノ後ヲ送附スヘシ
 算計書證憑書中金額數ノ外不得止訂正スルトキハ明治七年一
 月第四號公達ニ準シ訂正スヘシ

(乙號書式)

明治何年何項現金前渡金ノ内支拂無之候條此段及報告候也

明治何年何月何日

出納官吏 官氏

名印

(證憑書類様式)

會計検査院長宛

用紙半紙封紙

一金

内譯

明治何年何月第一亦員召集(後備軍召集)(近衛師團充員召集)旅費仕拂明細書

| 住所 (府縣郡市町村) | 入營地 (集合地) | 旅費 | | | | 小計 | 官姓名 |
|----------------|--------------|-----------|-----------|-----------|----------|--------|-----|
| | | 瀛車料 何圓 | 船舶料 何圓 | 馬車料 何圓 | 日當 何圓 | | |
| | 何々 | | | | 金何圓 | 大佐何某 | |
| | | | | | | 小尉何某 | |
| | | | | | | 何等軍曹何某 | |
| | | | | | | 兵卒何某 | |

右之通相違無之候也

何縣何々役所(直間稅分署)

明治二十五年
七月一日訓令
第六十六號中へテ
以テ表紙中へテ
追印

明治何年何月何日

出納官吏 官姓

名印

。明治何年度 何年何月 第何號

(。印ハ朱符)

軍事費

演習及復習費

第三師團

出納官吏 官氏

名

金

復習諸費

從第 號

證書紙數 葉

至第 號

(備考)

一 證憑書類ハ袋綴トナシ一个年度ヲ通シテ番號ヲ附スヘシ

證書ハ一廉毎ニ番號ヲ附シ表紙ニ自第何號至第何號ト記入スヘシ

(證憑書類様式)

用紙半紙封紙

明治何年何月豫備役(將校下士兵卒)(兵)定時演習召集旅費仕拂明細書

一金

内譯

| | | | | | | | | | | | | | |
|--------------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 住 | 所 | 入 | 營 | 地 | 里 | 程 | 金 | 員 | 官 | 姓 | 名 | | |
| 府(縣)郡(市)町(村) | 何 | 々 | 々 | 何 | 里 | 金 | 何 | 圓 | 何 | 官 | 何 | 某 | |
| | | | | | | | | | 曹 | 長 | 何 | 某 | |
| | | | | | | | | | 上 | 等 | 兵 | 何 | 某 |
| | | | | | | | | | 一 | 等 | 卒 | 何 | 某 |

何月何日召集ノ分

右之通相違無之候也

何縣何々役所(直間稅分署)

明治何年何月何日

出納官吏 官 姓

名 印

(備 考)

一兵卒ノミ召集ノトキハ官姓名ノ區畫ヲ姓名トシ等級ヲ區分スルニ及ハス
(殘金返納書樣式)

用紙半紙野紙

證

一金 何 圓

但何々召集旅費何月中仕拂命令(イ)第何號前受金何拾圓ノ内實費金何圓ニ付差引殘金

右返納候也

何縣何々役所(直間稅分署)

年 號 年 日

出納官吏 官 姓

名 印

●第十四類

●學校

●縣令第五十六號 明治二十四年十二月二十五日

文部大臣ノ指定ニ依リ明治二十三年十月法律第八十九號地方學事通則及勅令第二百十五號小學校令ヲ明治二十五年四月一日ヨリ本縣ニ施行

●縣令第二十一號 明治二十五年四月一日

明治二十三年十月勅令第二百十五號小學校令第十九條及明治二十四年十一月十一日文部省令第十五號小學校設備準則ニ依リ小學校設備規則左ノ通相定ム

小學校設備規則

第一條 校地ハ左ノ規程ニ依リ撰定スヘシ

一 兒童ノ通學ニ便利ナル處タルヘシ

二 高燥靜閑ニシテ危險ノ虞ナク道徳上并衛生上ニ害ナキ處タルヘシ

三 將來生徒ノ増加スヘキ見込アル學校ニ就キテハ學舎ヲ増築スルニ差支ナキ處タルヘシ
校地ノ周圍ニハ常綠樹アルヲ要ス

第二條 校舎ハ左ノ規程ニ依リ構造スヘシ

一 校舎ニハ教室、職員室、兩便所等ヲ設ケ其必要ニ應シ生徒扣所、當直室、物置場、小使室等ヲ設ケヘシ
土地ノ狀況ニ依リ校舎ニ傍ヲテ成ルヘク學校長若クハ教員ノ住宅ヲ設ケヘシ

二 校舎ノ構造ハ主トシテ學校經濟ニ注意シ授業上、管理上、衛生上等ノ便ヲ圖リ務メテ外觀ノ虛飾ヲ去リ質朴堅牢ニシテ土地ノ民度ニ適合シタルモノタルヘシ

三 校舎ノ廣袤ハ學校ノ種類學級ノ編制生徒ノ員數等ニ應スヘシ

四 校舎ハ平屋造ナルヘシ若シ己ムヲ得サル事情アリテ二階ヲ設クルトキハ幼年生徒ノ教室ハ階下ニ置クノ計畫ヲナスヘシ

五 將來生徒ノ増加スヘキ見込アル學校ニ就キテハ増築ニ便宜ナル計畫ヲナスヘシ

六 教室ハ成ルヘク長方形ニシテ各其生徒ヲ容レ教授ニ差支ナキヲ度トシ且通風採光ニ便利ナル構造タルヘシ

七 職員室ハ生徒ノ管理上ニ便宜ナル處タルヘシ

八 便所ハ校舎及井戸ヨリ一丈二尺以上ヲ離レ成ルヘク男女ヲ別テ北方ニ於テ之ヲ設ケ其箇數ハ生徒ノ員數ニ應スヘシ

九 學校長若クハ教員ノ住宅ハ普通ノ家屋ニ準シテ設備ヲナシ平常居住ニ差支ナキモノタルヘシ

第三條 校具ハ左ノ規程ニ依リ設備スヘシ

- 一 教授用圖書器械器具物品ハ學校ノ種類學級ノ編制生徒ノ員數等ニ應シ之ヲ設ケ其小學校所定ノ教科目ヲ教授スルニ差支ナキヲ以テ最下程度トス
- 二 生徒用ノ器械器具物品ハ生徒ノ員數ニ應シ之ヲ設ケ授業及其他ニ就キ差支ナキヲ以テ最下程度トス
- 三 學校事務及學校長教員用圖書器械器具物品ハ學校ノ事務并職員數等ニ應シ之ヲ設ケ學校職員ニ於テ其事務ヲ處辨スルニ差支ナキヲ以テ最下程度トス
- 四 本條第一乃至第三ノ外ニ係ル都テノ器械器具物品ハ各其所用ニ差支ナキヲ以テ最下程度トス

第四條 體操場ハ左ノ規程ニ依リ設備スヘシ

- 一 成ルヘク校地ニ接近シタル處ニ於テ其地所ヲ撰フヘシ
- 二 平坦ニシテ危險ノ虞ナク且乾燥ナラシムヘシ
- 三 日光ノ直射ヲ避ル爲周圍ニ樹木アルヲ要ス
- 四 廣サハ生徒ノ員數ニ應シ之ヲ設ケ體操ヲナスニ差支ナキヲ以テ最下程度トス

第五條 農業練習場ハ成ルヘク校地ニ遠カラサル處ニ於テ之ヲ設ケ農業練習ニ差支ナキ設備ヲナスヘシ

第六條 便宜ノ地ニ相當ノ建物アリテ之ヲ學校ニ充用スルコトヲ得ルトキハ別ニ校舍ヲ建築セサルコトヲ得

第七條 市町村立小學校ニ於テ校舍ヲ建築シ或ハ體操場若クハ農業練習場ヲ設置セントシ又ハ第

六條ニ依リ他ノ建物ヲ校舍ニ充用セントスルトキハ左ノ事項ヲ具シ市立小學校ニ就キテハ其市

ニ於テ縣知事町村立小學校ニ就キテハ其町村ニ於テ郡長ノ許可ヲ受クヘシ

一 校舎ヲ建築シ又ハ他ノ建物ヲ校舍ニ充用セントスルトキ

校地ノ圖面 (校地周圍ノ摸樣、接近地ノ形狀、所有借用ノ制及其步數、方向并位置ヲ記スヘク而シテ其位置ハ何郡何町村大字何町村字何々等ノ類ヲ記入スヘシ)

校舎ノ圖面 (平屋ニ階造等ノ別、其總坪數、方向并教室、職員室、兩便所其他各般ノ構造ニ係ル所在、坪數及教室ノ窓ノ位置、坪數等ヲ記入スヘシ)

生徒學級別員數

使用又ハ工事 (他ノ建物ヲ校舍ニ充用セントスルモノハ其始メテ使用セントスル年月日) 着手年月日 (校舎ヲ建築セントスルモノハ其工事着手年月日ヲ記入スヘシ)

二 體操場又ハ農業練習場ヲ設置セントスルトキ

體操場若クハ農 (記入スヘキ要項ハ前項校地ノ圖面ニ同シ但場内ニ建物等ヲ設クルト) 業練習場ノ圖面 (キハ其名稱位置坪數等ヲ併セテ記入スルヲ要ス)

生徒學級別員數

使用又ハ工事場内ニ建造物等ヲ設ケス直ニ使用セントスルモノハ其使用ノ年月日又建造物等ヲ設ケ然ル上使用セントスルモノハ其工事若手年月日ヲ記入スヘシ

第八條 第七條ニ依リ許可ヲ受ケタル後之ヲ變更セントスルトキモ亦該條ニ準スヘシ

校地若クハ體操場農業練習場ニシテ借用地ヲ所有地トシ或ハ所有地ヲ借用地トナサントスルニ當リ前後其步數形狀ヲ變セサルモノモ尙變更ノ種類トス

●縣令第二十二號 明治二十五年四月一日

明治二十三年十月勅令第二百十五號小學校令第二十三條ニ依リ小學校就學兒童出席停止規則左ノ通相定ム

小學校就學兒童出席停止規則

第一條 小學校就學兒童中左ノ事項ノ一ニ該當スル者アルトキハ市町村立小學校校長若クハ首席教員又ハ私立小學校設立者ハ其兒童ノ出席ヲ停止スヘシ

- 一 虎列刺、腸室扶私、發疹室扶私、痘瘡、實扶達利亞、赤痢、麻疹、疥癬等其病毒ヲ他ニ傳染スルノ虞アル病ニ罹ル者
- 二 臭氣ヲ發スル腫物生スル等他人ノ厭惡スヘキ病ニ罹ル者
- 三 一家中ニ於テ虎列刺、腸室扶私、發疹室扶私、痘瘡、實扶達利亞、赤痢ニ罹ル者アル者

四 不良ノ行爲アリテ教師ノ訓誡ニ従ハサル者又ハ一般兒童ノ養成ヲ妨クノ虞アル者

五 身体孱弱ナルカ又ハ其發育不充分ナルカ爲小學校ノ課業ニ堪ヘサル者

第二條 市町村立小學校校長若クハ首席教員又ハ私立小學校設立者ハ第一條第一乃至第三ニ該當スル者ニシテ其事故消滅シタルトキ又ハ第四ニ該當スル者ニシテ小學校ニ出席セシムルモ妨ケナシト認ムルニ至リタルトキ或ハ第五ニ該當スル者ニシテ課業ニ堪ヘ得ルト認ルニ至リタルトキハ兒童ノ出席ノ停止ヲ解除スヘシ但第四ニ該當シ出席ヲ停止シタル者ハ少クトモ三十日以上ヲ經過シ悔改ノ狀著シキ者ニアラサレハ其停止ヲ解除スルコトヲ得ス

第三條 市町村立小學校校長若クハ首席教員ハ兒童ノ出席ヲ停止シ又ハ其停止ヲ解除スルノ認定ニ關シ醫師ノ検査ヲ必要ト認ムルトキハ之ヲ市町村長ニ請求スルコトヲ得

第四條 市町村長ハ市町村立小學校ノ就學兒童又ハ其兒童ノ一家中ニ於テ傳染病ニ罹リタル者ノ初期若クハ終期報告書ヲ受ケタルトキハ直ニ之ヲ該小學校校長若クハ首席教員ニ通知スヘシ

第五條 市町村立小學校校長若クハ首席教員ハ兒童ノ出席ヲ停止シ又ハ其停止ヲ解除セントスルトキハ豫メ市町村長ノ意見ヲ聞クコトヲ要ス

第六條 市町村立小學校校長若クハ首席教員ハ兒童ノ出席ヲ停止シ又ハ其停止ヲ解除シタルトキハ市立小學校ニアリテハ市長ヲ經テ縣知事ニ町村立小學校ニアリテハ町村長ヲ經テ郡長ニ其事由

ヲ具申スヘシ

第七條 市町村立小學校ノ就學兒童ノ出席ノ停止又ハ其停止ノ解除ニ關シ異議アルトキハ市長ハ縣知事ニ町村長ハ郡長ニ其事由ヲ具申スルコトヲ得

第八條 第一條第一乃至第三ニ該當スル者ニシテ其事故消滅シ又ハ第五ニ該當スル者ニシテ課業ニ堪ヘ得ルニ至ルモ停止ノ解除ナキトキハ學齡兒童保護者ハ醫師ノ證明書ヲ添ヘ其解除ヲ市町村立小學校若クハ首席教員又ハ私立小學校設立者ニ申立ルコトヲ得

第九條 縣知事若クハ郡長ニ於テ市町村立小學校ノ就學兒童ノ出席ノ停止又ハ其停止ノ解除ヲ不適當ナリト認ムルトキハ其處分ヲ取消サシムルコトアルヘシ

第十條 本則中市町村立小學校ニ關スル規程ハ第三條ヲ除クノ外本縣尋常師範學校附屬小學校ニモ之ヲ適用ス

本則第三條乃至第七條并第九條ノ規程ハ代用私立小學校ニモ之ヲ適用ス但小學校長若クハ首席教員ノ職務ハ其設立者ニ於テ之ヲ取扱フモノトス

●縣令第二十三號 明治二十五年四月一日

明治二十三年十月勅令第二百十五號小學校令第二十四條ニ依リ文部大臣ノ許可ヲ受ケ學齡兒童ノ就學及家庭教育等ニ關スル規則左ノ通相定ム

學齡兒童就學及家庭教育等ニ關スル規則

第一條 本則ハ學齡兒童ニシテ未タ尋常小學校ノ教科ヲ卒ラサル者ヲシテ就學セシムル爲ニ設クルモノトス

第二條 學齡兒童就學ノ期ハ每年小學校學年ノ初日四月一日トス

第三條 左ノ事項ノ一ニ該當スル學齡兒童ノ保護者ハ毎年二月二十日限り第一號甲書式ニ依リ其兒童ヲ次學年ノ始メヨリ就學セシムルヤ否ヲ市町村長ニ申立ヘシ但就學セシムルコト能ハサル兒童中第九條第一第二第五第六ニ該當スル者ハ醫師ノ證明書ヲ添フルヲ要ス

- 一 前年四月ヨリ當年三月マテノ間ニ於テ兒童ノ年齢已ニ學齡ニ達シ若クハ學齡ニ達スヘキ者
- 二 前年四月ヨリ當年三月マテノ間若クハ其内若干時日間兒童ノ就學ヲ猶豫セラレタル者
- 三 他ノ市町村ヨリ轉居シタル尋常小學校ノ教科ヲ卒ラサル學齡兒童ニシテ轉居ノ後未タ就學セサル者

學齡兒童ヲシテ家庭又ハ其他ニ於テ尋常小學校ノ教科ヲ修メシメントスル者ハ前項申立ノ際併セテ市町村長ノ許可ヲ受クヘシ

第四條 市町村長ハ第三條ノ申立ニ依リ就學ヲ猶豫シ又ハ免除セントスルトキハ第二號書式ニ依リ毎年三月十日限り市長ハ縣知事、町村長ハ郡長ノ許可ヲ受クヘシ

市町村長ハ就學ノ猶豫又ハ免除ノ申立アルモ事實第九條ニ該當セスト認ムルトキハ學齡兒童保護者ヲシテ其兒童ヲ就學セシムヘシ

第五條 市町村長ニ於テ第四條第一項ノ許可ヲ受ケタルトキハ第三號書式ニヨリ就學スヘキ兒童第三條第二項ノ兒童中本縣尋常師範學校ノ名簿ヲ作り毎年三月二十五日限り其兒童ノ就學スヘキ市町村立尋常小學校長若クハ首席教員ニ通知スヘシ

第六條 市町村立尋常小學校長若クハ首席教員ハ第五條ノ通知ニ係ル兒童ニシテ正當ノ理由ナクシテ缺席連續七日ニ及フ者アルトキハ學齡兒童保護者ニ就キ其出席ヲ督促シ督促二回ニ及フモ尙出席セサルトキハ第四號書式ニ依リ兒童ヲ區別シ關係市町村長ニ通知スヘシ

第七條 市町村長ハ第六條ノ通知アルトキハ學齡兒童保護者ニ就キ説諭若クハ命令シテ其兒童ヲ出席セシメ若シ之ニ服セサル者アルトキハ第五號書式ニ依リ市長ハ縣知事ニ町村長ハ郡長ニ具申スヘシ

第八條 市町村長ヨリ第七條ノ具申アルトキハ市ニアリテハ縣知事、町村ニアリテハ郡長ニ於テ學齡兒童保護者ニ對シ更ニ説諭若クハ命令シテ其兒童ヲ出席セシムヘシ

第九條 學齡兒童ノ就學ヲ猶豫スルハ左ノ第一乃至第五ノ事項ノ一ニ該當スル者タルヘク又就學ヲ免除スルハ其第六ニ該當スル者ニ限ルヘシ

一 疾病ノ爲學年ノ始メヨリ二ヶ月以上就學シ能ハサル者

二 身体ノ發育不充分ニシテ就學シ能ハサル者

三 旅行又ハ不時ノ故障ノ爲學年ノ始メヨリ二ヶ月以上就學シ能ハサル者

四 貧窮ノ爲兒童ヲ就學セシムレハ一家ノ生活ニ差支アル者

五 兒童ノ一家中ニ疾病ニ罹ル者アリテ他ニ看護スル者ナク爲ニ學年ノ始メヨリ二ヶ月以上就學シ能ハサル者

六 不具癩疾ニシテ就學シ能ハサル者

第十條 學齡兒童就學猶豫ノ期限ハ毎年四月一日ヨリ翌年三月三十一日マテトス但第十二條第一項ノ者ニ就キテハ就學ヲ猶豫スル當日ヨリ其學年ノ終日マテトス

第十一條 市町村長ハ學齡兒童ヲシテ家庭又ハ其他ニ於テ尋常小學校ノ教科ヲ修メシムルノ許可ヲ與ヘタルトキハ左ノ手續ニ依リ取扱フヘシ但本縣尋常師範學校附屬小學校ニ修學ノ者ハ此限ニアラス

一 市町村長ハ常ニ其兒童ヲ監督シ若シ修學上不都合アリト認ムルトキハ其許可ヲ取消シ該市町村ノ學齡兒童ヲ就學セシムヘキ市町村立尋常小學校ニ就學セシムルコト

二 尋常小學校ノ全教科ヲ修了セリト認定スヘキ試験ハ該市町村ノ學齡兒童ヲ就學セシムヘキ

市町村立尋常小學校ニ於テ其試驗期日ニ同校ノ試験ト同等ノ程度ヲ以テ施行セシムルコト
 第十二條 己ニ就學セル學齡兒童ニシテ貧窮疾病又ハ已ムヲ得サル事故ノ爲就學ノ猶豫又ハ免除
 ヲ請ハントスルトキハ學齡兒童保護者ハ第三條第一項ニ準シ其都度市町村長ニ中立ヘシ
 市町村長ハ前項ノ中立アルトキハ第四條ニ準據取扱フヘシ

第十三條 市町村長ニ於テ第十二條第一項ノ中立ニ依リ就學ヲ猶豫シ又ハ免除シタル者アルトキ
 ハ兒童ノ氏名、事由ヲ該小學校長若クハ首席教員ニ通知スヘシ

第十四條 就學免除ノ許可ヲ受ケタル學齡兒童ト雖モ就學ニ差支ナキニ至ルトキハ學齡兒童保護
 者ハ第三條第一項ニ準シ市町村長ニ中立次學年ノ始メヨリ就學セシムヘシ

第十五條 甲市町村内ノ尋常小學校ニ就學セシ學齡兒童ニシテ乙市町村ニ轉居スルトキハ學齡兒
 童保護者ハ第三條第一項ニ準シ乙市町村長ニ中立、轉居ノ際直ニ其兒童ヲ就學セシムヘシ

乙市町村長ハ前項ノ場合ニ於テハ第五條ニ準シ其都度該兒童ノ就學スヘキ市町村立尋常小學校
 長若クハ首席教員ニ通知スヘシ

第十六條 市町村立尋常小學校長若クハ首席教員ハ學年ノ終ニ於テ其學年間ニ係ル左ノ事項ニ就
 キ兒童ヲ區別シ關係市町村長ニ通知スヘシ

一 尋常小學校ノ全教科ヲ修了セシ兒童ノ住所氏名

二 兒童學業ノ進度

三 正當ノ理由ナクシテ缺席スルコト授業總日數ノ三分ノ一以上ニ至リタル兒童ノ氏名

四 小學校令第二十三條ニ該當スルカ爲出席ヲ停止シタル兒童ノ氏名、事由並其日數

第十七條 市役所及町村役場ニ於テハ第六號書式ニ依リ學齡簿ヲ調製スヘキモノトス

第十八條 本則中市町村立尋常小學校ニ關スル規程ハ本縣尋常師範學校附屬小學校並代用私立小
 學校ニモ之ヲ適用ス

第十九條 第三條乃至第七條及第十七條ノ書式左ノ如シ

第一號甲

學齡兒童就學届

何市郡何町村大字何町村何番地居住(同居)
 華族
 何職業士族戸主或ハ誰長男女弟妹等
 平民
 氏 名

何年何月生

右ハ何年四月一日ヨリ何小學校ニ就學セシムヘク候此段及御届候也

右學齡兒童保護者

學齡兒童就學猶豫並免除調查簿

| | | | | | | |
|-------------|-------------|---------------|------|--------------|------|-------|
| 就學猶豫若クハ免除ノ別 | 就學猶豫若クハ免除事由 | 兒童保護者 族籍住所 | 全上氏名 | 兒童族籍 住所職業 | 全上氏名 | 全上生年月 |
| | | | | | | |

備考 學齡兒童一人ニ付保護者二人アルトキハ書式ニ準シ之ヲ列記スヘシ以下皆全シ
學齡兒童就學不就學等一覽表

| 學年 | 別男女別 | | 學齡 | 就學 | 就學猶豫 | 就學免除 | | 卒業 |
|---------|------|---|----|----|------|------|-----|----|
| | 男 | 女 | | | | 新免除 | 舊免除 | |
| 當學年 | | | | | | | | |
| 前學年 | | | | | | | | |
| 兩學年比較増減 | 女 | 男 | | | | | | |

備考 就學ハ學齡兒童ニ尋常小學校ノ教科ヲ修ムル爲己ニ就學ノ者及就學セントスル者ヲ
記シ新免除ハ當學年ニ於テ新ニ免除セントスル者ヲ記シ舊免除ハ前學年以前己ニ免除
シタル者ニシテ尙學齡内ニアル者ヲ記シ卒業ハ學齡兒童ニシテ己ニ尋常小學校ノ教科ヲ
修了シタル者ヲ記入スヘク又兩學年比較増減ヲ記スルニハ増ハ墨書シ減ハ朱書スヘシ

第三號

學齡兒童就學通知

當市(町)(村)學齡兒童中別冊ノ兒童ハ來ル四月一日ヨリ其校ニ就學致スヘク候此段及通知候也
年月日 何市町村長 氏 名印

何小學校長(首席教員)氏名殿

學齡兒童就學氏名簿

| 兒童保護者 族籍住所 | 全上氏名 | 兒童保護者 住所職業 | 全上氏名 | 全上生年月 |
|---------------|------|---------------|------|-------|
| | | | | |

第四號

缺席兒童通知

當校就學兒童中左記ノ兒童ハ正當ノ理由ナクシテ缺席セシニ付督促ヲ加ヘ候ヘトモ尙出席願サス
候此段及通知候也

年月日

何市町村長 氏 名殿

何小學校長(首席教員) 氏 名印

缺席兒童氏名

| 缺席日數 | 初回督促月日 | 次回督促月日 | 童兒住所 | 全上氏名 |
|------|--------|--------|------|------|
| | | | | |

第五號

缺席兒童具申

當市(町)(村)學齡就學兒童中左記ノ兒童ハ正當ノ理由ナクシテ缺席セシニ付説諭等致シ候ヘトモ
尙出席致サス候間此段及具申候也

年月日

富山縣知事
何郡長

氏名殿

何郡何町村長 氏

名印

缺席兒童氏名

| 學校督促度數 | 市役所又ハ町村役場 説諭若クハ命令度數 | 兒童保護 者住所 | 同上職業 | 全上氏名 | 兒童氏名 | 全上生年月 |
|--------|------------------------|-------------|------|------|------|-------|
| | | | | | | |

第六號

學齡簿

(用紙美濃紙)

| 兒 童 保 護 者 | 住 所 | 族 籍 氏 名 | 學齡ニ達スル年月 | | 尋常小學校教科 卒業年月日 | | 兒童族籍住所職業氏名 |
|-----------------------|-------------|------------------|----------|------------------|------------------|--|------------|
| | | | 學齡ニ終ル年月 | 高等小學校教科 卒業年月日 | 生年月 | | |
| 學 就 | 學 就 不 | 要 摘 | | | | | |
| | | | | | | | |

備考

- 一 學齡簿ニハ其市町村内ノ兒童學齡ニ達スル二个月前其族籍住所職業氏名生年月及學齡ニ達スル年月學齡ヲ終フル年月並兒童保護者ノ族籍住所氏名ヲ記シ其他ノ事項ハ記入スヘキ事項ヲ生セシ都度記入スヘシ
- 一 兒童學齡ニ達シ又ハ學齡ヲ終フル年月ヲ算スルニハ兒童第六回ノ生月ノ前月ヲ以テ學齡ニ達スルノ年月トシ第十四回ノ生月前月ヲ以テ學齡ヲ終フル年月トス
- 一 就學ヲ記スルニハ其兒童ノ就學セシ年月及其就學ノ場所ヲ記入シ又不就學ヲ記スルニハ就學ノ猶豫又ハ免除ノ事由及其許可ノ月日ヲ記入スヘシ
- 一 兒童ノ職業ノ種類ハ庶業(官吏學者醫者等)農工商勞力(漁樵日傭等)ノ別ニヨルヘシ
- 一 摘要ヲ記スルニハ兒童ノ欠席ニヨリ本則ノ規程ニ從ヒ兒童保護者ニ對シ説諭若クハ命令シタル年月日及其事由ヲ記スヘシ
- 一 兒童ノ學齡ヲ終リタル者又ハ死亡轉居ノ者ハ兒童ノ氏名頭ニ(消)ノ印ヲ捺シ且其事由及年月ヲ摘要ノ欄ニ記入スヘシ
- 一 學齡兒童ニシテ尋常小學校ノ教科ヲ卒ルモ更ニ尋常小學校ノ補習科ヲ修メ又ハ高等小學校ニ就學シ或ハ高等小學校ノ教科ヲ卒ルモ更ニ高等小學校ノ補習科ヲ修ムル者ハ就學ノ欄ニ

其年月日及學校名ヲ記シ又其兒童ニシテ補修科ヲ卒リ又ハ卒ラスシテ退學シ或ハ高等小學校ノ教科ヲ卒ラスシテ退學スル者アルトキハ不就學ノ欄ニ其退學ノ年月日ヲ記入スヘシ

●縣令第二十四號 明治二十五年四月一日

明治二十三年十月勅令第二百十五號小學校令第四十四條第六項及明治二十四年三月文部省令第一號私立小學校代用規則第九條第一項ニ依リ文部大臣ノ許可ヲ受ケ市町村立小學校及代用私立小學校授業料規則左ノ通相定ム

市町村立小學校及代用私立小學校授業料規則

- 第一條 市町村立小學校ノ授業料ハ其市參事會又ハ町村長ニ於テ代用私立小學校ノ授業料ハ其設立者ニ於テ兒童一人一个月尋常小學校ハ金三錢以上金拾五錢以下高等小學校ハ金貳拾錢以上金五拾錢以下ノ範圍内ニ於テ之ヲ定ムヘシ但代用私立小學校ノ授業料額ヲ定ムルニハ豫メ關係市參事會又ハ町村長ニ協議スヘシ
- 他ノ市町村 教育事務委託ヨリ市町村立小學校ニ就學スル者ニ就キテハ二倍迄増額スルコトヲ得
- 第二條 授業料收納ノ期日ハ市町村立小學校ニ就キテハ其市參事會又ハ町村長ニ於テ代用私立小學校ニ就キテハ其設立者ニ於テ便宜之ヲ定ムヘシ
- 第三條 一家二人以上ノ兒童同設置區域内ノ小學校ニ就學スルトキハ其年長ノ者一人ハ授業料定

額ヲ徴收シ其他ハ半額ヲ徴收スヘシ

第四條 物品若クハ勞力ヲ以テ授業料ニ代ヘンコトヲ請フ者アルトキハ市町村立小學校ニ就キテハ其市參事會又ハ町村長ニ於テ代用私立小學校ニ就キテハ其設立者ニ於テ其價格ヲ算定シ之ヲ許可スルコトヲ得

第五條 學校ノ休業全月ニ及ヒ又ハ兒童正當ノ理由ニ依リ欠席全月ニ及フトキハ其月分ノ授業料ヲ徴收セサルモノトス

左ノ事項ノ一ニ該當スルカ爲メ欠席スル兒童ニアラサレハ正當ノ理由アルモノト認ムルコトヲ得ス

一 兒童ノ疾病ニ罹ルトキ

二 兒童ノ旅行スルトキ

三 兒童ノ一家中ニ疾病ニ罹ル者アルカ又ハ不慮ノ事變アルトキ

四 暴風雨若クハ大雪洪水其他非常變災アルトキ

第六條 授業料ハ數个月分ヲ前納スルコトヲ得但兒童轉校又ハ退學等ノトキハ其翌月以後ニ係ル前納ノ授業料ハ之ヲ還付スヘシ

第七條 市町村立小學校長若クハ首席教員ハ兒童正當ノ理由ニ依リ欠席全月ニ及フ者アルトキハ

其氏名并事由ヲ記シ翌月五日限り市町村長ニ通知スヘシ

第八條 木則中代用私立小學校ニ係ル規程ハ明治二十四年三月文部省令第一號私立小學校代用規則

第二條第一項第二款ノ區域内ノ兒童ニ關シ施行スルモノトス

●縣令第二十五號 明治二十五年四月一日

明治二十三年十月勅令第二百十五號小學校令第六十條第一項ニ依リ文部大臣ノ許可ヲ受ケ市町村立小學校教員ノ給料額及旅費額ノ標準左ノ通相定ム

市町村立小學校教員ノ給料額及旅費額ノ標準

第一條 市町村立小學校教員ノ給料額ハ左表ニ依ル

| | | | | | | | | | | |
|-----|-----------------|------------------|------------------|-----------------|------------------|----------------|----------------|---------------|--------------|--------------|
| 正教員 | 一級 | 二級 | 三級 | 四級 | 五級 | 六級 | 七級 | 八級 | 九級 | 十級 |
| | 四拾壹圓以上 五拾圓以下 | 三拾六圓以上 四拾圓以下 | 三拾壹圓以上 三拾五圓以下 | 貳拾六圓以上 貳拾圓以下 | 貳拾壹圓以上 貳拾五圓以下 | 拾六圓以上 拾五圓以下 | 拾四圓以上 拾三圓以下 | 拾二圓以上 拾圓以下 | 拾圓以上 九圓以下 | 八圓以上 七圓以下 |
| 准教員 | 貳拾六圓以上 三拾圓以下 | 貳拾壹圓以上 貳拾五圓以下 | 拾九圓以上 拾八圓以下 | 拾六圓以上 拾五圓以下 | 拾四圓以上 拾三圓以下 | 拾二圓以上 拾圓以下 | 拾圓以上 九圓以下 | 八圓以上 七圓以下 | 六圓以上 五圓以下 | 四圓以上 三圓以下 |

第二條 市町村立小學校教員ノ旅費額ハ左表ニ依ル

| | | | | | |
|-----|----------|----------|----------|------------|----|
| 旅費 | 源 | 車 | 船 | 馬 | 日 |
| | 一哩 | 一哩 | 一哩 | 一哩 | 一日 |
| 正教員 | 三錢以上四錢以下 | 四錢以上五錢以下 | 七錢以上拾錢以下 | 五拾錢以上七拾錢以下 | |

准教員 貳錢以上三錢以下

三錢以上四錢以下

五錢以上七錢以下

三拾錢以上五拾錢以下

●縣令第二十六號 明治二十五年四月一日

明治二十三年十月勅令第二百十五號小學校令第六十條ニ依リ文部大臣ノ許可ヲ受ケ市町村立小學校教員給料旅費其他諸給與ノ支給方法左ノ通相定ム

市町村立小學校教員給料旅費其他諸給與支給方法

第一章

給料

- 第一條 市町村立小學校教員ニシテ小學校長ヲ兼務スル者ニ支給スル給料額ハ七級俸以上トス
- 第二條 市町村立小學校初任ノ正教員ニ支給スル給料額ハ高等師範學校ヲ卒業シタル者ハ五給俸女子高等師範學校ヲ卒業シタル者ハ六級俸其他高等小學校本科正教員タルヘキ資格ヲ有スル男子ハ八級俸女子ハ九級俸同專科正教員タルヘキ資格ヲ有スル者ハ六級俸以下尋常小學校本科正教員タルヘキ資格ヲ有スルモノハ九級俸トス
- 市町村立小學校准教員ヨリ新ニ正教員ニ任スル者前項規定ノ俸額ト從來受クルトコロノ給料額ト相比シ新任ノ俸額少ナキトキハ元給料額ニ相當スル級ノ俸額ヲ以テ支給スルモノトス
- 市町村立小學校初任ノ准教員ニ支給スル給料額ハ高等師範學校ヲ卒業シタル者ハ四級俸女子高等師範學校ヲ卒業シタル者ハ五級俸尋常師範學校ヲ卒業シタル男子ハ八級俸同女子ハ九級俸其

他高等小學校本科准教員タルヘキ資格ヲ有スル者ハ九級俸以下同專科准教員及尋常小學校本科准教員タルヘキ資格ヲ有スル者ハ十級俸トス

第三條 市町村立小學校教員ハ每級在職滿一年以上ニ至ルトキハ昇級スルコトヲ得

第四條 市町村立小學校正教員最上級ノ給料ヲ受ケ三年以上ニ至リ授業練熟成績顯著ナル者ハ給料額標準ノ範圍ニ拘ハラヌ六拾圓迄増給スルコトアルヘシ

第五條 市町村立小學校教員同一ノ學校ニ滿五個年以上在職スル者ハ五個年毎ニ現給料額ノ十分ノ一ノ年功加俸ヲ特ニ給スルモノトス

第六條 市町村立小學校教員ノ給料ハ毎月末日ニ支給シ休日ニ當ルトキハ順次繰上ケトス但轉任退職免職失職及死亡ノトキハ其時々之ヲ支給スルモノトス

第七條 新任増給減給ノトキハ總テ發令ノ翌日ヨリ起算シ其當月分ノ給料ハ日割ヲ以テ計算スルモノトス但轉任ノトキ給料ニ増減アルモノハ前任ノ事務ヲ終リタル翌日ヨリ日割ヲ以テ計算スルモノトス

第八條 轉任ノトキハ日割ヲ以テ前任ノ事務ヲ終リタル當日マテニ係ル給料ハ前任ノ方ニ於テ支給シ其翌日ヨリ新任ノ方ニ於テ支給スルモノトス

第九條 休職 職務ノ爲メ傷疾ヲ受ケ若クハ疾病ヲ命シタル者ハ發令ノ當月ハ給料全額ヲ支給シ翌

月ヨリハ支給セサルモノトス

退職 自己ノ便宜ニ依リ退 及死亡ノトキハ當月分ノ給料全額ヲ支給スルモノトス

職シタル者ヲ除ク 自己ノ便宜ニヨリ退職シタル者及免職失職ノ者ハ發令ノ當日マテ日割ヲ以テ其給料ヲ支給スルモノトス

本條ニ該當スル者現時減給ヲ受クルトキハ其減給ノ額ニ依リ全月分若クハ日割ヲ以テ支給シ無給ノトキハ支給セサルモノトス

第十條 退職 職務ノ爲メ傷病ヲ受ケ若クハ疾病 退職 自己ノ便宜ニ依リ退 職シタル者ヲ除ク 者事務引繼キ殘務調理ノ爲メ翌月ニ涉ルトキハ其結了ノ日マテ日割ヲ以テ從前ノ給料ヲ支給スルモノトス

第十一條 二小學校以上ニ勤務スル者ノ給料ハ其關係市町村ニ於テ分擔支給スルコトヲ得

第十二條 職務ノ爲メ傷病ヲ受ケ若クハ疾病ニ罹リ休職ヲ命シタル者ハ發令ノ翌日ヨリ九十日間ハ給料全額ヲ支給シ以後ハ半額ヲ支給スルモノトス

第十三條 疾病ノ爲メ執務セサルコト三十日ヲ超ユル者ハ日割ヲ以テ給料半額ヲ減スルモノトス 職務ノ爲メ傷病ヲ受ケ若クハ疾病ニ罹リタル者ハ前項ノ限リニアラス

第十四條 私事ノ故障ニ由リ執務セサルコト十五日ヲ超ユル者ハ日割ヲ以テ給料半額ヲ減スルモノトス

第十五條 賜暇忌引及學校休業中ハ給料ヲ減セサルモノトス

第十六條 徴兵令第十一條第三項ニヨリ陸軍現役ニ服スル者ハ服役中ハ給料ヲ支給セサルモノトス

第十七條 第十三條第一項ノ場合ト第十四條ノ場合ト相續テ起ルトキハ其日數ハ前後ヲ通算ス但第十四條ノ期限ヲ過キ己ニ減給ノ者更ニ第十三條第一項ノ場合ニ當ルモ本給ニ復セサルモノトス

第十八條 第十三條第二項若クハ第十五條ノ場合ト第十三條第一項若クハ第十四條ノ場合ト連續スルトキハ第十三條第二項及第十五條ノ日數ヲ扣除スルモノトス

第十三條第一項若クハ第十四條ノ期限ヲ過キ己ニ減給ノ者第十五條ノ場合ト連續シ其忌明賜暇又ハ學校休業ノ後直ニ出務スル者ハ第十五條ニ該當セシ日ヨリ給料全額ヲ支給シ第十五條ノ日數ヲ過キ尙ホ出務セサルトキハ總テ減給ノ額ヲ支給スルモノトス

第十九條 日割計算ノ法ハ其月ノ現日數ニ依ルモノトス 給料ヲ支給スルニ當リ計算上厘位未滿ノ端數ヲ生スルトキハ之ヲ切捨トス

第二十條 土地ノ使用又ハ物品ヲ以テ給料ニ換ヘ支給スルトキハ其歩合ハ給料額ノ三分ノ一ヲ過クヘカラス

前項ノ換給ハ本人ノ意ニ反シテ之ヲ給與スルコトヲ得ス

第二章 旅 費

第二十一條 市町村立小學校教員校務ニ依リ旅行スルトキハ旅費ヲ支給スルモノトス

第二十二條 瀛車賃ハ哩數瀛船賃ハ海里數馬車賃ハ里數日當ハ日數ニ應シ支給スルモノトス

第二十三條 旅行ノ性質ニ依リ特ニ舟車馬等ノ實費拂ヲ指示シタルトキハ定額ノ瀛車賃瀛船賃及車馬賃ヲ支給セサルモノトス

第二十四條 日當ハ陸路六里未滿瀛車十哩未滿及瀛船十海里未滿ノ旅行ニハ支給セサルモノトス但校務ノ都合ニ依リ宿泊スルトキハ宿泊數ニ應シ日當ヲ支給スルモノトス

第二十五條 瀛車賃瀛船賃及車馬賃ハ其種類毎ニ經過セシ路程ノ總數ヲ合算シテ之ヲ支給スヘシ但其一位未滿ノ端數ハ計算セサルモノトス

第二十六條 旅行ノ兩會計年度ニ跨ルトキハ各年度毎ニ之ヲ區別シ旅費ヲ計算スヘシ但瀛車賃及瀛船賃ハ會計年度ニ係ハラス瀛車瀛船ノ到達地ニ若シタル日ヲ以テ之ヲ區別シテ計算スルモノトス

第二十七條 二小學校以上ニ勤務スル者其勤務ノ小學校ニ往復スル旅費ハ一切支給セサルモノトス

第二十八條 赴任旅費ハ舊任地ヨリ新任地ニ至ルマテ本職相當ノ車馬賃瀛車賃及瀛船賃ノ二倍ヲ

支給スルモノトス

第二十九條 新ニ任用スル者ハ其新任地マテ新任相當ノ旅費ヲ支給スルモノトス

第三十條 休職退職ノ際事務引繼殘務調理其他校務ノ爲メ旅行スルトキハ前職相當ノ旅費ヲ支給スルモノトス

第三十一條 旅行中歸省其他私事ノ爲メ許可ヲ得テ迂路ヲ通過スルトキハ順路ノ路程ニ應シ旅費ヲ支給スルモノトス

第三十二條 旅行中休職退職又ハ死亡シタルトキハ舊任地マテ前職相當ノ旅費ヲ支給スルモノトス

第三十三條 前二條ノ場合ニ於テ日當ヲ支給スル爲メ其日數ヲ計算スルニハ瀛車旅行ハ一日二百哩瀛船旅行ハ一日百海里陸路旅行ハ一日十二里計トス但距離接近シテ數種ノ旅行相跨ルトキハ各其路程十二分ノ一ヲ以テ一時間ノ行程トシ一日ノ旅行時間ハ十二時間トシ其日數ヲ計算スルモノトス

第三十四條 教員ノ旅行ヲ要スルトキハ學校長若クハ首席教員ハ市町村長ト協議シ旅メ事務ノ便宜路程ノ近便ヲ量リ經過ノ路筋旅行ノ日數ヲ定メ次席教員以下ノ旅行ハ學校長若クハ首席教員

之ヲ指示スヘク學校長若クハ首席教員ノ旅行ハ市町村長之ヲ指示スヘシ

旅行ノ性質ニ依リ特ニ舟車馬等ノ實費拂ヲ要スル場合ハ之ヲ指示スヘク又強雨積雪及道路險惡ノ爲メ定額ノ車馬賃ニテ支辨シ難キ場合ハ車馬賃ノ五割以内ノ増給ヲ指示スルコトヲ得

第三章

諸給與

第三十五條 市町村立小學校教員補習科ノ教授ヲ擔任スルトキハ其時間ノ長短ニ依リ給料額ノ三分ノ一以内ノ報酬ヲ與フルコトヲ得

第三十六條 市町村立小學校教員中特ニ勤勞アル者ハ年末若クハ轉任退職等ノ際一個月ノ給料額以内ノ慰勞金ヲ與フルコトヲ得

第三十七條 市町村立小學校ニ於テ教員ノ住宅ヲ設備セザルトキハ借家料ヲ給與スルコトヲ得但借家料ヲ受クル者ハ必ス其學校所在地ニ住居スヘシ

第三十八條 市町村立小學校教員徹夜勤務シ若クハ宿直シタルトキハ相當ノ賄料ヲ支給スルコトヲ得

●縣令第二十七號 明治二十五年四月一日

明治二十三年十月勅令第二百十五號小學校令第七十四條第七十六條第七十八條第八十一條第八十三條第八十五條第八十七條第二項及第八十九條ニ依リ市町村吏員教育事務取扱ニ關スル規則左ノ通

相定ム

市町村吏員教育事務取扱規則

第一條 學務委員ニ於テ國ノ教育事務ニ就キ市町村長ヲ補助スヘキ事件左ノ如シ

一 學齡兒童就學ニ關スルコト

二 市町村立小學校ノ管理ニ關スルコト

三 家庭又ハ其他ニ於テ尋常小學校ノ教科ヲ修ムル學齡兒童ノ監視ニ關スルコト

前項ノ外市町村長ニ於テ必要ト認ムル事項

第二條 市町村ノ區長及其代理者ハ市町村長ノ機關トナリ其指揮命令ヲ受ケテ區ニ屬スル國ノ教育事務ヲ補助執行スヘシ

第三條 市町村内ノ區ノ學務委員ハ其區ニ屬スル國ノ教育事務ニ就キ市町村長區長並其代理者ヲ補助スヘシ

町村學校組合内ノ區ノ學務委員ハ其區ニ屬スル國ノ教育事務ニ就キ組合長ヲ補助スヘシ

●縣令第二十八號 明治二十五年四月一日

明治二十四年六月文部省令第四號小學校祝日大祭日儀式規程第八條ニ依リ其次第等左ノ通相定ム

小學校祝日大祭日儀式ノ次第等

- 第一條 紀元節天長節元始祭神嘗祭及新嘗祭ノ日ノ儀式ノ次第左ノ如シ
 - 一 學校長教員及生徒着席
 - 二 市町村長市町村學事關係吏員及參觀人着席
 - 三 市町村長學校長教員市町村學事關係吏員順次
天皇陛下及
 - 皇后陛下ノ 御影ニ對シ奉リ最敬禮ヲ行フ
 - 四 教員生徒ニ向ヒ「最敬禮」ト號令ス
生徒一同坐席ニ在テ起立シ
天皇陛下及
 - 皇后陛下ノ 御影ニ對シ奉リ最敬禮ヲ行フ
教員「直レ」ト號令ス
生徒一同着坐ス
 - 五 學校長若クハ首席教員 御影ノ前ニ進ミ出ツ(御影ヲ奉藏セサル學校ニ於テハ生徒ト方向ヲ同フシテ其前ニ進ミ出ツ)
參列者一同起立

明治二十五年七月二十二日
縣令第五十四號
第一行ヲ本項
拜禮ヲ以テ
更正ス

學校長若クハ首席教員「謹テ

天皇陛下

皇后陛下ノ万歳ヲ祝シ奉ル」ト唱フ(二名以上ノ教員ヲ置ク學校ニ在テハ「職員」一同ニ代リ謹テ

天皇陛下ノ万歳ヲ祝シ奉ル」ト唱フ

六 學校長若クハ首席教員(御影ノ前ヲ避ケテ)生徒ニ面ス

生徒總代一名學校長若クハ首席教員ノ前ニ進ミ出テ「生徒一同ニ代リ謹テ

天皇陛下

皇后陛下ノ万歳ヲ祝シ奉ル」ト唱フ

七 學校長教員及生徒當日ニ相應スル唱歌ヲ合唱ス

八 學校長若クハ教員恭シク教員ニ關スル 勅語ヲ奉讀ス

九 學校長若クハ教員小學校祝日大祭日儀式規程第一條第三款ニ基キ誨告演述ヲナス

十 學校長教員及生徒當日ニ相應スル唱歌ヲ合唱ス

十一 市長村長市町村學事關係吏員參觀人順次退場

十二 學校長教員及生徒順次退場

第二條 御影ヲ奉藏セサル學校ニ於テハ第一條第三款第四款ノ式ヲ省ク

明治二十五年七月二十二日
縣令第五十四號
第一行ヲ本項
拜禮ヲ以テ
更正ス

第三條 孝明天皇祭春季皇靈祭神武天皇祭及秋季皇靈祭ノ日ニ於テハ第一條第一款第二款第七款第九款第十款第十一款第十二款ノ次第二據ルヘシ

第四條 一月一日ニ於テハ第一條第一款第二款第三款第四款第五款第六款第七款第十一款第十二款ノ次第二據ルヘシ

第五條 樂器ヲ設備スル學校ニ於テハ式中ノ號令及生徒ノ入場退場等ハ都テ樂器ニヨリ節ヲ取ルヘシ

第六條 祝日大祭日ニ於テ教育上ニ裨益アル繪畫等ヲ生徒ニ與フルトキハ第一條第十款ト第十一款トノ間ニ於テ之ヲ行フヘシ

第七條 最敬禮ノ式ハ體ノ上部ヲ前ニ傾ケ兩手ヲ膝ニ當テ、頭ヲ垂レ敬意ヲ表スルモノトス但男子着帽ノ節ハ之ヲ脱シテ左腋ニ插ミ體ノ上部ヲ前ニ傾ケ右手ヲ膝ニ當テ、頭ヲ垂レ敬意ヲ表スヘク女子洋服着用ノ節ハ脱帽ノ限ニアラス

第八條 市町村長學校長教員市町村學事關係吏員ハ當日禮服ヲ着用スヘシ

第九條 式場ニ於テハ最モ嚴肅ヲ主トスヘシ

●縣令第二十九號 明治二十五年四月一日
明治二十三年十月勅令第二百十五號小學校令ニ依リ徒弟學校及實業補習學校ヲ設置シ又ハ高等小學

校ニ專修科ヲ置カントスルモノハ迨テ規程ノ定ムルマテ其教科目修業年限其他該學校等ニ關スル事項ヲ市町村立學校ニ就キテハ其市參事會又ハ町村長、私立學校ニ就キテハ其設立者ニ於テ便宜相定メ本知事ノ許可ヲ受クヘシ

●縣令第三十號 明治二十五年四月一日

明治二十四年十一月文部省令第十四號小學校教科用圖書審查等ニ關スル規則第七條ニ依リ其細則左ノ通相定ム

小學校教科用圖書審查等ニ關スル細則

第一條 小學校圖書審查委員ハ縣知事ニ於テ教科用圖書ノ審查ヲ要スルト認ムルトキ之ヲ命スルモノトス

第二條 審查委員中名譽職縣參事會員並小學校教員ヨリ出ツル者ニシテ富山市外在住ノ者ニハ旅費日當ヲ給シ富山市内在住ノ者ニハ辨當料ヲ給ス
旅費日當及辨當料ノ額ハ別ニ定ムルトコロニ據ル

第三條 審查委員ニ於テ審查ニ關スル事項ヲ決定スルハ會議ニ依ルヘシ會議ハ委員長ヲ以テ議長トシ委員三分ノ二以上出席スルニアラサレハ會議ヲ開クヲ得ス

第四條 會議ハ過半數ニ依テ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ可否スルトコロニ依ル

第五條 審査委員長ハ會議ノ細則處務ノ順序ヲ定メ縣知事ノ認可ヲ得テ之ヲ施行ス

第六條 審査委員長ハ縣知事ノ許可ヲ受ケテ書記ヲ選任ス

第七條 審査委員會ハ關係吏員ヲ除クノ外傍聽ヲ許サス

●縣令第三十一號 明治二十五年四月一日

明治二十四年十一月 文部省令第十六號第四條第三項ニ依リ學齡兒童保護者代人規則左ノ通相定ム

學齡兒童保護者代人規則

第一條 學齡兒童ヲ保護スヘキ者其義務ヲ行フニ不便ナル場合ニ於テ代人ヲ立ツルトキハ代人連署ノ上双方ノ族籍住所ヲ詳記シ七日以内ニ市町村長ニ届出ヘシ

第二條 學齡兒童ヲ保護スヘキ者ニ於テ特別ノ事情アルカ爲代人ヲ立ツルコトヲ必要トシ市町村長ノ許可ヲ受ケンドスルトキハ其願書ニ代人連署ノ上双方ノ族籍住所ヲ詳記スヘシ

第三條 學齡兒童保護者ノ代人タルヲ得ヘキ者ハ學齡兒童在住ノ市町村内ニ住居スル者ニ限ル市町村長ニ於テ學齡兒童保護者ノ代人ヲ不適當ト認ムルトキハ之ヲ替ヘシムルコトヲ得

●縣令第三十二號 明治二十五年四月一日

明治二十四年十一月 文部省令第十八號幼稚園圖書館盲啞學校其他小學校ニ類スル各種學校及私立小學校等ニ關スル規則第六條ニ依リ私立小學校設立者ノ資格左ノ通相定ム

私立小學校設立者ノ資格

第一條 私立小學校設立者タルヲ得ヘキ者ハ年齢二十年以上タルヘシ

第二條 左ノ一款若クハ二款ニ觸ル、者ハ私立小學校設立者タルコトヲ得ス

- 一 市町村立學校長教員及幼稚園保母ニシテ免職ノ處分ヲ受ケ未タ二個年ヲ經サル者又ハ私立學校長教員及幼稚園保母ニシテ業務停止中ノ者又ハ學校教員及幼稚園保母ニシテ免許狀褫奪ノ處分ヲ受ケタル
- 二 禁錮以上ノ刑ニ處セラレ又ハ信用若クハ風俗ヲ害スル罪ヲ犯シテ罰金ノ刑ニ處セラレ又ハ監視ニ付セラタル者

●縣令第三十三號 明治二十五年四月一日

明治二十四年十一月 文部省令第十八號幼稚園圖書館盲啞學校其他小學校ニ類スル各種學校及私立小學校等ニ關スル規則第十二條ニ依リ幼稚園圖書館盲啞學校其他小學校ニ類スル各種學校及私立小學校等ノ設置廢止ニ關スル規則左ノ通相定ム

幼稚園圖書館盲啞學校各種學校及私立小學校等ノ設置廢止ニ關スル規則

第一條 幼稚園設置ノ許可ヲ受ケンストキハ左ノ各項ヲ詳記スヘシ

第二項 設置ノ目的

- 第二項 名稱
 - 第三項 位置 (位置ハ何郡(市)何町(村)大字何町(村)何番地ト記スヘシ以下之ニ同シ)
 - 第四項 保育ノ年限毎週保育時數及課程 (保育年限毎週保育時數及課程ハ甲號表式ニ依リ記載スヘシ以下學校ノ教科課程モ之ニ同シ)
 - 第五項 入園退園ノ規則休業日及幼稚ノ年齡保育料ノ額
 - 第六項 幼稚ノ概數 (概數ハ男女ヲ區別シテ記載スヘシ以下學校生徒ノ概數モ之ニ同シ)
 - 第七項 保姆ノ職務心得及其人員俸額
 - 第八項 建物及敷地ノ略圖坪數 (略圖ニハ開講室事務室遊戯場幼稚扣所小使溜園廁窓等ノ位坪數ヲ記載スヘシ以下圖書館及學校ノ略圖坪數モ之ニ準ス)
 - 第九項 保育用圖書器具等ノ品目 (圖書ハ乙號表式器具ハ丙號表式ニ依リ記載スヘシ)
 - 第十項 經費收入支出及其細目
 - 第十一項 設立者ノ履歷 (私立ニ係ルモノニ限ル履歷ニハ族籍住所氏名生年月日並ニ學業職業賞罰ノ事項ヲ記載スヘシ以下之ニ同シ)
- 第二條 圖書館設置ノ許可ヲ受ケントスルトキハ左ノ各項ヲ詳記スヘシ
- 第一項 設置ノ目的
 - 第二項 名稱
 - 第三項 位置

- 第四項 開館閉館ノ規則其他縱覽人心得等
 - 第五項 建物及敷地ノ略圖坪數
 - 第六項 圖書ノ種類及其部數 (乙號表式ニ依リ部門ヲ分テ記載シ卷冊記號ノ欄ニ部數ヲ併記スヘシ)
 - 第七項 經費收入支出及其細目
 - 第八項 設立者ノ履歷
- 第三條 盲啞學校及各種學校設置ノ許可ヲ受ケントスルトキハ左ノ各項ヲ詳記スヘシ
- 第一項 設置ノ目的
 - 第二項 名稱
 - 第三項 位置
 - 第四項 修業年限教科課程毎週教授時數及試驗法 (徒弟學校及實業補習學校ノ市町村立ニ係ルモノハ之ヲ除ク)
 - 第五項 入學退學ノ規則休業日及授業料ノ額
 - 第六項 生徒ノ概數
 - 第七項 學校長教員職務心得及其人員俸額
 - 第八項 建物及所用地ノ略圖坪數及其所有ノ有無
 - 第九項 教科用圖書器械 (圖書ハ乙號表式ニ依リ器械ハ丙號表式ニ依リ記載スヘシ)

- 第十項 經費收入支出及其細目
- 第十一項 設立者ノ履歷
- 第四條 私立小學校設置ノ許可ヲ受ケントスルトキハ左ノ各項ヲ詳記スヘシ
 - 第一項 名稱
 - 第二項 位置
 - 第三項 教科目及每週教授時數 (教科目ノ加除ヲ要) (スルトキニ限ル)
 - 第四項 補習科ノ年限及其教科目每週教授時數 (補習科ヲ設ク) (ルトキニ限ル)
 - 第五項 學級別兒童員數 (單級學校ハ單級男何人女何人ト記シ多級學校ハ) (甲級丙等ノ級名ヲ附シ各男女員數ヲ分記スヘシ)
 - 第六項 學校長教員ノ職務及服務細則並其人員俸額
 - 第七項 經費收入支出及其細目
 - 第八項 設立者ノ履歷
- 第五條 幼稚園圖書館盲啞學校各種學校及私立小學校設置ノ後第一條乃至第四條ノ各項ニ變更ヲ要スルトキハ其事由ヲ具シ第一條ノ第二項第六項第九項第二條ノ第二項第六項第三條ノ第二項第六項第九項及第四條ノ第一項ハ縣知事ニ開申スヘク其他ハ許可ヲ受クヘシ
- 第六條 市町村立幼稚園圖書館盲啞學校各種學校ヲ廢止セントスルトキハ其事由ヲ具シ許可ヲ受

クヘク私立幼稚園圖書館盲啞學校各種學校小學校ノ廢止ハ事由ヲ具シテ開申スヘシ

第七條 市町村立幼稚園保姆及盲啞學校各種學校長及教員ノ任用ヲ要スルトキハ其市町村長ニ於テ其人名簿額ヲ具シ履歷書 (履歷書ノ書式ハ明治二十五年縣令第三十七號第十四條第三號書式ニ依ルヘシ) ヲ添へ申出ヘシ

第八條 前各條ニ關シ町村長ヨリ差出ス書類ハ郡役所ヲ經由スヘシ

第九條 市町村長ニ於テ私立小學校ノ設置若クハ設立者ノ變更ニ係ル經由書類ヲ受ケタルトキハ其設立者ノ族籍年齡及明治二十五年四月縣令第三十二號私立小學校設立者ノ資格第二條第二款ニ觸ル、ナキヤヲ調査シ該書類ニ與書證明スヘシ

第十條 甲號乙號及丙號書式左ノ如シ

甲號

保育(教)科課程表

| 保育(教)科 | 每週 | 第何學年(何級) | 每週 | 第何學年(何級) | 每週 | 第何學年(何級) |
|--------|----|----------|----|----------|----|----------|
| | 時數 | | 時數 | | 時數 | |
| | | ○ | | ○ | | ○ |
| 合計 | 何時 | | | | | |

表中○ノ欄ニハ上段保育(教)科ノ程度ヲ記スヘク又程度ノ記載シ難キモノハ其教科書名ヲ記

乙 號
スヘク圖書ノ學年(級)ニ配當ヲ要スルモノハ程度ト圖書名トヲ併記スヘシ

圖書表

| 圖書名 | 卷冊記號 | 印行年月 | 著譯者氏名 | 發行者氏名 |
|-----|------|------|-------|-------|
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

丙 號

表中記載スヘキ圖書ハ教科ニ依リ區別シ圖書名ヲ記スルニハ改正增補等ニ係ルモノハ其旨ヲ記シ卷冊記號ハ一卷二卷前編後編等ノ別ヲ記シ印行年月ハ其改版ニ係ルモノハ改版ノ年月分版ニ係ルモノハ原版ト分版ノ年月無版權圖書ノ翻刻ニ係ルモノハ原版ノ年月ト翻刻ノ年月トヲ記載スヘク著譯書ヲ記スルニハ其氏名ノ下著譯編述等ノ別ヲ記シ發行者ヲ記スルニハ其氏名ノ外住所ヲ記シ其分版翻刻ニ係ルモノハ原版者ノ住所氏名ト分版或ハ翻刻者ノ住所氏名ト並記スヘシ其口授ハ參考ニ係ル圖書ハ圖書名ノ上ニ口授又ハ參考ノ文字ヲ附記スヘシ

器械(器具)表

| 器械(器具)名 | 個 | 數 | 器械(器具)名 | 個 | 數 |
|---------|---|---|---------|---|---|
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

●縣令第三十四號 明治二十五年四月一日

明治二十四年十一月十一日 文部省令第十九號小學校教員檢定等ニ關スル規則第九條第二項第十條第二項第十一條第二項第十二條第二項第十四條第二項並第十八條但書ニ依リ尋常小學校及高等小學校本科准教員並高等小學校專科准教員試驗科目ノ程度准教員免許狀ノ有効年限及准教員免許狀ノ書式左ノ通相定ム

第一條 尋常小學校本科准教員試驗科目ノ程度ハ左ノ如シ

修身 人倫道德ノ要旨

教育 授業法

國語 讀書 漢字交リ文 日用書類

算術 筆算 加減乘除 度量衡貨幣及時刻 分數

明治二十五年
八月五日
縣令
第五十七號
以テ第一二
三條中倫理
修身ト更正
ス

珠算 加減乘除 速算

地理 日本地理ノ大要

歷史 日本歷史ノ大要

習字 楷書 行書

體操 普通體操 徒手 矯正術 兵式體操 柔軟體操
各個教練(男子ニ) 分隊運動(限ル)

裁縫 通常衣服ノ縫方裁方

第二條 高等小學校本科男准教員試驗科目ノ程度ハ左ノ如シ

修身 人倫道德ノ要旨

教育 授業法

國語 讀書 漢字交リ文 日用書類

漢文 讀書 簡易ナル漢文 日用書類

數學 算術 筆算 加減乘除 度量衡貨幣及時刻 分數
珠算 小數 比例 利息算 開方 求積

簿記 單式

地理 日本地理、外國地理ノ大要

歷史 日本歷史ノ大要

博物 動物植物礦物人身ノ生理及衛生ノ大要

物理 物理ノ大要

化學 無機化學ノ大要

習字 楷書 行書 草書

圖書 自在書法 幾何畫法

音樂 單音唱歌

體操 普通體操 徒手 矯正術 兵式體操 柔軟體操
各個教練 分隊運動

第三條 高等小學校本科女准教員試驗科目ノ程度ハ左ノ如シ

修身 人倫道德ノ要旨

教育 授業法

國語 讀書 漢字交リ文 日用書類

作文 漢字交リ文 日用書類

數學 算術 筆算 加減乘除 度量衡貨幣及時刻 分數
珠算 小數 比例 利息算 開方 求積

地理 日本地理、外國地理ノ大要

歷史 日本歷史ノ大要

理科 博物 物理及化學ノ大要

家事 衣食住育兒等ニ關スル事項 家計簿記
 習字 楷書 行書 草書
 圖畫 自在畫法 幾何畫法
 音樂 單音唱歌 矯正術
 體操 普通體操 徒手 矯正術
 體操 徒手 球學 兵式體操各個教練(男子ニ限ル)
 家事 衣食住育兒等ニ關スル事項 家計簿記
 手工 木工及金工 工具ノ使用法
 農業 土壤 水利 肥料 農具 耕耘 栽培 養蠶
 商業 商店 會社 經濟等ノ大要 金融 運送 保險
 外國語 讀方 譯解 習字 書取 會話 文法及作文
 前項何ノ科目ニ就キテモ授業法ヲ附帶シテ試験ヲ行フモノトス

第四條 高等小學校專科准教員試驗科目ノ程度ハ左ノ如シ

圖畫 自在畫法 用器畫法ノ大要

音樂 單音唱歌 樂器用法ノ大要

體操 普通體操 矯正術 徒手 兵式體操各個教練(男子ニ限ル)

家事 衣食住育兒等ニ關スル事項 家計簿記

手工 木工及金工 工具ノ使用法

農業 土壤 水利 肥料 農具 耕耘 栽培 養蠶

商業 商店 會社 經濟等ノ大要 金融 運送 保險

外國語 讀方 譯解 習字 書取 會話 文法及作文

前項何ノ科目ニ就キテモ授業法ヲ附帶シテ試験ヲ行フモノトス

第五條 准教員免許狀ノ有効期限ハ五ヶ年トス

第六條 准教員免許狀ノ書式ハ左ノ如シ

師範學校卒業生ニ與フルモノ

小學校准教員免許狀

族籍

何學校卒業生 氏 名

生年月

右ハ明治何年何月何日ヨリ明治何年何月何日マテ五ヶ年間富山縣管内ニ於テ小學校本科

准教員タルコトヲ免許ス

年 月 日

富山縣知事位勳爵 氏 名 印

番號

師範學校卒業生ニアラサル者ニ與フルモノ

小學校准教員免許狀

族籍

何科目、何科目

氏 名

生年月

右ハ前記ノ科目ニ就キ檢定シ明治何年何月何日ヨリ明治何年何月何日マテ五ヶ年間富山縣管内ニ於テ尋常(高等)小學校本科(專科)准教員タルコトヲ免許ス

年 月 日

番號

富山縣知事位勳爵 氏

名印

●縣令第三十五號 明治二十五年四月一日

明治二十四年十一月 文部省令第十九號小學校教員檢定等ニ關スル規則第二十條ニ依リ其細則左ノ通相定ム

小學校教員檢定細則

第一條 小學校教員甲種ノ檢定ハ隨時之ヲ行ヒ乙種ノ檢定ハ毎年二月六日(日曜日ナレハ繰下ク)本縣尋常師範學校ニ於テ之ヲ行フモノトス但場所期日ノ變更ヲ要スルトキハ其都度之ヲ告示ス

第二條 甲種ノ檢定ヲ請フ者ハ隨時、乙種ノ檢定ヲ請フ者ハ檢定期日二十日前マテニ願書ニ左ノ證書及手數料ヲ取添ヘ市役所若クハ町村役場ヲ經テ縣廳ニ差出スヘシ但本縣尋常師範學校卒業生ハ出願ヲ待テ卒業ノ際甲種ノ檢定ヲ行フモノトス

一 本人ノ履歷書

一 本人ノ族籍身分職業生年月日ヲ證明シ及禁錮以上ノ刑ニ處セラレ又ハ信用若クハ風俗ヲ害スル罪ヲ犯シテ罰金ノ刑ニ處セラレ又ハ監視ニ付セラレタルコトナキ旨ヲ證明セル本籍地市町村長ノ證明書

一 本人ノ體格ニ關スル検査書

第三條 乙種檢定ノ各科目試験ノ方法ハ檢定委員ニ於テ之ヲ定ムヘシ

第四條 高等小學校專科正教員ノ乙種檢定ヲ請フ者ハ先ツ左ノ學力ヲ有スルヤ否ヤヲ調査シ然ル後志願ノ學科ノ試験ヲ行フモノトス

讀書 漢字交リ文

習字 行書

算術 加減乘除

第五條 檢定委員ニ於テ檢定ニ關スル事項ヲ決定スルハ會議ニ依ルヘシ會議ハ委員長ヲ以テ議長トス委員三分ノ二以上出席スルニアラサレハ會議ヲ開クヲ得ス

第六條 會議ハ過半數ニ依テ決メ可否同數ナルトキハ議長ノ可否スルトコロニ依ル

第七條 檢定委員長ハ會議ノ細則處務ノ順序ヲ定メ縣知事ノ認可ヲ得テ之ヲ施行ス

第八條 檢定委員長ハ縣知事ノ許可ヲ受ケテ書記ヲ選任ス

第九條 檢定委員會ハ關係吏員ヲ除クノ外傍聽ヲ許サス

第十條 明治二十四年十一月十一日 文部省令第十九號小學校教員檢定等ニ關スル規則第九條第一項第十條

第一項及第十一條第一項ニ依リ圖書音樂體操ヲ缺クノ件ハ尋常小學校本科准教員檢定ニ圖書音樂ヲ缺クノ外適用セス

第十一條 小學校教員免許狀ヲ毀損若クハ亡失シタルモノハ其事由ヲ記シ免許狀ノ再渡ヲ出願スヘシ

第十二條 小學校教員免許狀ヲ得タル者氏名族籍ニ變更ヲ生シタルトキハ免許狀ヲ縣廳ニ差出シ其諦認ヲ受クヘシ

縣廳ハ氏名族籍ノ變更ヲ諦認セル旨免許狀ニ裏書シ下渡スヘシ

第十三條 小學校教員免許狀ヲ得タル者死亡シタルトキハ其遺族ヨリ届出ヘシ

第十四條 檢定願書履歷書族籍身分職業生年月日及品行ニ關スル市町村長ノ證明書並體格検査書々式ハ左ノ如シ

(檢定願書々式)

小學校教員甲種(乙)種檢定願

高等小學校本科正教員
高等小學校本科正教員
尋常小學校本科正教員
尋常小學校本科正教員
高等小學校本科准教員
高等小學校本科准教員
尋常小學校本科准教員
尋常小學校本科准教員
ノ證明書並體格検査書相添此段相願候也

某 儀

年月日

檢定委員長宛

氏 名 印

(履歷書々式)

履 歷 書

何府何郡何町村大字何町村何番地 居住(寄留者ハ寄留地郡市町)
何縣何市何町村大字何町村何番地 同居(村番地ヲ併記スヘシ)
華族 戶主 誰長男女弟妹妻等
士族 戶主 誰長男女弟妹妻等
平民

氏 名 印

一 卒業證書、免許狀

年號月日何府縣何郡市
何町村ニ於テ生ル

何年何月何日 何學校何科卒業候事
何年何月何日 明治何年何月何日ヨリ明治何年何月何日マテ

何 學 校

何今年間小學校教員タルコトヲ免許ス

何 府 縣

一 學業

自何年何月何日 官、府、縣、郡、市、町、村、私立何學校ニ於テ何學科修業 (程度或ハ書名)
至何年何月何日
自何年何月何日 何所何某ニ就キ何學科修業 (程度或ハ書名)
至何年何月何日 (ヲ記スヘシ)

一 職業 賞罰

何年何月何日 任何府縣何郡市何小學校訓導

官 衙 名

何年何月何日 月俸金何圓支給ス

官 衙 名

何年何月何日 何々委員ヲ命ス

官 衙 名

何年何月何日 何々ニ付爲其賞何々ヲ附與ス

官 衙 名

以下此休ニ做ヒ都テ楷書ニテ書シ辭令アルモノハ其全文ヲ認ムヘシ但廢校廢職官等改正及
黜罰ハ朱書スヘク又私立學校等ニ從事セシコトアラハ本項ニ準シテ記載スヘシ

年 月 日

右私履歷如斯候也

(族籍身分職業生年月日並品行ニ關スル證明書々式)

證 明 書

氏 名

一 族籍 身分

何府何郡何町村大字何町村何番地 居住
何縣何市何町村何番地 同居

華族
士族 戶主 誰長 男女 弟 妹 妻 等

平民
現ニ何職業ニ從事ス(無職業)

一 生年月日

何年何月何日

一 品行

禁錮以上ノ刑ニ處セラレ又ハ信用若クハ風俗ヲ害スル罪ヲ犯
シテ罰金ノ刑ニ處セラレ又ハ監視ニ付セラレタルコトナシ

右各項相違無之此段證明候也

年 月 日

(體格検査書々式)

體格検査書

何府何郡何町村長 氏 名 印

一體質 何々
 一體長 同
 一胸圍 同
 一體重 同
 一視力 同
 一辨色力 同
 一聽力 同
 一其他各部構造 同
 一痘 同
 右之通相違無之候也

氏 名

生年月日

年 月 日

何府何郡何町村大字何町村何番地

醫 氏 名 印

(備考)

體格検査書ハ概テ左ノ各項ニ依リテ製スヘシ

一體質ハ最强壯ノ者ヲ甲トシ之ニ次ク者ヲ乙トシ現ニ傷痍疾病ニ罹リ若クハ面貌手脚異常機關筋肉發育不完全其他榮養不良ナル者ヲ丙トス但丙ニ該當スル者ハ其不良ノ要略ヲ附記スヘシ

一體長ハ何尺何寸何分ト記ス胸圍モ之ニ準ス但胸圍ヲ測ルニハ兩上肢ヲ水平ニ開展セシメ乳房下

一寸ノ部ニ於テス

一體重ハ何貫何百何匁ト記ス

一視力ハステルレン氏ノ試視法ヲ用ヒテ之ヲ検査ス

一聽力ハ六尺ノ距離ニ於テ低聲ヲ以テ試ミ次ニ兩耳ヲ各別ニ試ミテ其聽否ヲ検査ス

一辨色力ハ七色ヲ辨識シ得ヘヤ否ヤヲ検査ス

一各部構造ハ關節運動障害ノ有無并前項以外ノ各部ニ就キテ検査シ其狀況ヲ記ス

一痘ハ天然痘種痘若クハ未痘ト記ス

●訓令第三十六號 明治二十五年四月一日

明治二十四年十一月十一日 文部省令第十九號小學校教員檢定等ニ關スル規則第十七條ニ依リ檢定ヲ請フ者及免許狀ヲ受クル者ノ手数料額左ノ通相定ム

第一條 檢定ヲ請フ者ハ左ノ手数料ヲ納ムヘシ

| | |
|--------------------------------------|-------|
| 高等小學校本科正教員 | 金壹圓 |
| 高等小學校專科正教員 | 金五拾錢 |
| 尋常小學校本科正教員 | 金五拾錢 |
| 高等小學校本科准教員 | 金參拾錢 |
| 高等小學校專科准教員 | 金參拾錢 |
| 尋常小學校本科准教員 | 金參拾錢 |
| 前項ノ手数料檢定ノ願下ヲナシ若クハ檢定當日缺席スルモ返附セサルモノトス | |
| 第二條 免許狀ヲ受クル者ハ左ノ手数料ヲ納ムヘシ其再渡ヲ受クル者亦同シ | |
| 高等小學校本科正教員 | 金五拾錢 |
| 高等小學校專科正教員 | 金貳拾五錢 |
| 尋常小學校本科正教員 | 金貳拾五錢 |
| 高等小學校本科准教員 | 金拾五錢 |
| 高等小學校專科准教員 | 金拾五錢 |
| 尋常小學校本科准教員 | 金拾五錢 |
| 本縣尋常師範學校卒業生ニ初メテ教員免許狀ヲ授與スルトキハ手数料ヲ徵收セス | |

●訓令第三十七號 明治二十五年四月一日
 明治二十四年十一月十一日 文部省令第二十號 小學校長及教員ノ任用解職其他進退ニ關スル規則第十二條ニ依リ其細則左ノ通相定ム

小學校長及教員ノ任用解職其他進退ニ關スル細則

- 第一條 市町村立小學校教員ノ缺員ヲ生シ又ハ新ニ其位地ヲ設ケタルカ爲任用ヲ要スルトキハ市町村長ハ第一號書式ニ依リ當人ノ履歷書第三號書式ヲ添へ候補者ヲ薦擧スヘシ
- 前項ノ場合ニ於テ市立小學校教員ニ係ルモノハ其候補者ニ支給スヘキ給料額ニ關スル市參事會ノ意見書ヲ徵シ添付スヘシ
- 第二條 第一條ノ薦擧ニ當リ他ノ市町村立小學校ニ在職ノ者若クハ休職ノ者ヲ以テ候補者トナストキハ關係市町村長ノ承認書ヲ添付スヘシ
- 前項ノ場合ニ於テ正教員ヲ准教員トナシ又ハ俸給ヲ減少セントスルモノハ當人ノ承認書ヲ添付スヘシ
- 第三條 市町村立小學校長ノ缺員ヲ生シ又ハ新ニ其位地ヲ設ケタルカ爲任用ヲ要スルトキハ市町村長ハ第二號書式ニ依リ其意見ヲ具申スヘシ
- 第四條 市町村立小學校ニ於テ正教員ノ任用ヲ要スル場合ニ當リ適當ノ資格ヲ有スル候補者ヲ得

サルトキハ市町村長ハ准教員タルヘキ資格ヲ有スル者ヲ以テ之ニ換ヘ期限ヲ定メテ薦舉スルコトヲ得但本文ノ期限ハ一年以内トス

前項ノ場合ニ於テハ事由ヲ審ニシ第一條ニ準シテ薦舉スヘシ

第五條 市町村立小學校ノ正教員傷病ヲ受ケ若クハ疾病ニ罹リ其職務ヲ行フニ妨ケアルコト二个月以上ニ及ヒ又ハ學校編制ノ變更等ニ依リ其人ヲ要セサルニ至リ休職ヲ要シ或ハ傷病ヲ受ケ若クハ疾病ニ罹リ終身其職務ニ堪ヘサル者アリテ退職ヲ要スルト認ムルトキハ市町村長ハ其意見ヲ具申スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ傷病ヲ受ケ若クハ疾病ニ罹リタル者ニ就テハ其種類經過並缺勤日數等ヲ審ニシ學校編制ノ變更等ニ係ル者ニ就キテハ其事由ヲ審ニスルヲ要ス

第六條 市町村立小學校准教員傷病ヲ受ケ若クハ疾病ニ罹リ退職ヲ要シ又ハ學校編制ノ變更等ニ依リ其人ヲ要セサルニ至リタルトキハ市町村長ハ第五條第二項ニ準シ其意見ヲ具申スルコトヲ得

第七條 市町村長ニ於テ市町村立小學校教員ノ増給ヲ要スルト認ムルトキハ勤務ノ經歷等ヲ審ニシ其意見ヲ具申スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ市立小學校教員ニ係ルモノハ其増給ニ關スル市參事會ノ意見書ヲ徵シ添付ス

ヘシ

第八條 市町村立小學校長教員傷病ヲ受ケ若クハ疾病ニ罹リ又ハ其他ノ事故ニ依リ退職ヲ願出ル者アルトキハ市町村長ハ意見ヲ附シテ之ヲ差出スヘシ

第九條 小學校准教員ノ免許狀ヲ有シ教員タル者其有効期限滿ツルトキハ特ニ辭令書ヲ用ヒスシテ退職ヲ命シタル者ト同一ニ見做スヘシ

第十條 町村立小學校長教員ノ任用解職其他進退ニ關シ町村長ヨリ差出ス薦舉書并具申書ニハ郡長ニ於テ意見ヲ附シ進達スヘシ

第十一條 市町村立小學校長教員死亡シタルトキハ其遺族ノ者ヨリ届出ヘシ

第十二條 私立小學校ニ於テ學校長教員ヲ任用シタルトキハ其人名体給ヲ記シ履歷書第三號相添ヘ又解職シタルトキハ其人名ヲ記シ設立者ヨリ開申スヘシ

第十三條 第一條乃至第七條ニ依リ町村長ヨリ差出ス書類ハ郡役所ヲ經由シ又第八條及第十一條ノ書類ハ市立小學校ニ係ルモノハ市役所町村立小學校ニ係ルモノハ町村役場及郡役所ヲ經由シ當廳ニ差出スヘシ

第十四條 第一條第三條及第十二條ノ書式左ノ如シ
第一號

小學校教員候補者薦學書

市 何町何小學校訓導 (本科正教員) 退職
村 何町何小學校准訓導 (本科正教員) 休職
 (本科正教員) 何某何月何日 免職
 (專科准教員) 失職 トナリ 缺員ヲ生シ 代員 何町何小學校ニ於テ

何々ノ事故ニ依リ何月何日新ニ (本科正教員) 要スルニ付當人履歷書相添別記候補者何名薦學
 (本科正教員) 致候條御任命相成度候也

年月日

富山縣知事宛

何郡何町村長 氏 名印

別記

教員候補者人名

| 月俸額 | 資格 | 格職 | 名氏 | 名 |
|-----|----|----|----|---|
| | | | | |

備考 月俸額ハ市參事會又ハ町村長ニ於テ交附セントスル意見ノ金額ヲ記シ資格ハ本人所有ノ

第二號

教員免許狀ノ種類ヲ記シ職名ハ他ノ小學校ニ在職ノ者若クハ休職ノ者ヲ以テ候補者ニ充テタルトキ其職名ヲ記スルモノトス

小學校長任用方具申

市 何町何小學校長何某何月何日何々セシニ依リ該校長缺員トナリ代員 (何町何小學校ニ於テ何々ノ

村 事故ニ依リ新ニ校長ノ位地ヲ設ケタルカ爲任用) ヲ要スルニ付本校訓導 (本科正教員) 何某へ校長兼任相成度此段具申候也

年月日

何郡何町村長 氏 名印

富山縣知事宛

第三號

(用紙美濃紙)

履歷書

何府縣何郡何町村大字何町村何番地 居住 (寄留者ハ寄留地郡市町) 同居 (村番地ヲ併記スヘシ) 華族 士族 平民 何主誰長男女弟妹妻等

氏 名印

年號月日何府縣何郡 何町村ニテ生

一 卒業證書 小學校卒業證書ヲ省ク 免許狀

何年何月何日 何學校何科卒業候事

何 學 校

全 上 何年何月何日ヨリ何年何月何日マテ

何今年間小學校教員タルコトヲ免許ス

何 府 縣

全 上 小學校教員タルコトヲ免許ス

全 上

一 職業 賞罰

何年何月何日 任何府縣何郡市何小學校訓導

何 府 縣

全 上 月俸金何圓支給ス

全 上

全 上 何々委員ヲ命ス

全 上

全 上 何々ニ付爲其實何々ヲ附與ス

全 上

以下此體ニ倣ヒ都テ借書ニテ書シ辭合アルモノハ其全文ヲ認ムヘシ但廢校廢職官等改正及黜罰ハ朱書スヘク又私立小學校等ニ從事セシコトアラハ本項ニ準シテ記載スヘシ

●縣令第三十八號 明治二十五年四月一日

明治二十四年十一月十一日 文部省令第二十一號 小學校長及教員職務及服務規則第八條ニ依リ其細則左ノ通相定ム

小學校長及教員職務及服務細則

第一條 市町村立小學校長若クハ首席教員ハ左ノ概目ニ依リ校務ヲ整理シ所屬教員ヲ監督スヘシ

一 正教員准教員一時教授ノ教室分擔ヲ指示シ及准教員補助教授ヲ配置スル事

二 教員ノ能否ヲ查察シ日々出勤簿ヲ點檢シテ其勤惰ヲ監別シ之ヲ市町村長ニ申報スル事

三 教員ノ配置其他學校ノ設備ニ關シ意見アルトキハ之ヲ市町村長ニ申立ツルコトヲ得

四 校舍校地體操場農業練習場等ノ修繕及校具ノ新調並ニ其修繕ヲ市町村長ニ請求スル事

五 試験ヲ舉行シ兒童學業ノ成績ヲ考ヘ其進歩及習熟ノ度ヲ檢定スル事

六 教授細目ニ依リ教授ノ順序ヲ教員ニ指示シ及教授週録並ニ兒童性行録ヲ檢閱スル事

七 教員ノ除服ヲ市立小學校ニアリテハ市町村立小學校ニアリテハ市町村長ヲ經テ郡長ニ申請スル事

八 教員ノ願届ヲ檢閱スル事但經由ニ係ルモノニシテ意見アルモノハ其詳細ヲ副申進達スヘシ

九 教員ニ校具ノ保管諸表簿ノ調理其他ノ事務分擔ヲ命スル事

十 其他法律命令ニ從ヒ一切ノ校務ヲ處理スル事

第二條 市町村立小學校正教員及准教員一時教授ハ左ノ概目ニ依リ兒童ノ教育ヲ擔任シ並之ニ屬スル事務ヲ掌ルヘシ

- 一 小學校長若クハ首席教員ノ指揮ヲ受ケ教室ヲ分擔シ其兒童ノ教授教訓ニ従事スル事
 - 二 所屬准教員補助教授スル者ノ授業ヲ指示監督スル事
 - 三 教授週録ヲ調製シ小學校長若クハ首席教員ノ檢閲ヲ受クル事
 - 四 兒童ノ學業行狀ヲ監別シ其出席ヲ調査シ日々出席簿ニ登錄シテ小學校長若クハ首席教員ノ檢閲ヲ受クル事
 - 五 兒童ノ心性行為言語習慣偏僻等ヲ性行録ニ記載シ小學校長若クハ首席教員ノ檢閲ヲ受クル事
 - 六 兒童ノ學業ヲ試験シ其成績ヲ小學校長若クハ首席教員ニ申報スル事
 - 七 小學校長若クハ首席教員ノ指揮ニ依リ庶務ニ従事スル事
 - 八 小學校長若クハ首席教員疾病其他事故ノ爲缺勤スルトキハ當日出勤ヒシ上席教員其事務ヲ代理スル事
- 第三條 市町村立小學校准教員補助教授ハ小學校長若クハ首席教員及正教員ノ指揮ヲ受ケ正教員ノ職務ヲ助クヘシ
- 第四條 市町村立小學校長及教員ハ左ノ事項ヲ服膺スヘシ
- 一 小學校長及教員出勤スレハ先ツ出勤簿ニ捺印シテ各其主務ニ就クヘシ若シ事故ノ爲出校時

- 二 學校ニ於テ當直宿直ヲ設クルトキハ教員交替之ニ従事スヘシ
- 三 小學校長及教員職務ノ爲旅行シタルトキハ歸校ノ上復命書ヲ作り旅行中處辨ヒシ事項ヲ詳記シ小學校長若クハ首席教員ハ市町村長ニ其他ハ小學校長若クハ首席教員ニ申報スヘシ
- 四 校内ハ勿論近傍ニ出火アルカ又ハ非常事變ニ際シテハ小學校長及教員一同參校シテ防禦警戒スヘシ
- 五 小學校長及教員疾病其他事故ノ爲缺勤スルトキハ小學校長若クハ首席教員ニ届出ヘシ但疾病ニ依リ缺勤七日以上ニ及フ者ハ醫師ノ診斷書ヲ添フヘシ
- 六 市立小學校長及教員ノ忌引ハ市長教員ハ小學校長若クハ首席教員ヲ經テニ届出ヘク歸省轉地療養等私事ノ旅行ハ市長教員ハ小學校長若クハ首席教員ヲ經テニ願出許可ヲ受クヘシ
- 七 町村立小學校長及教員ノ忌引ハ町村長教員ハ小學校長若クハ首席教員及町村長ヲ經テ郡長ニ届出ヘク歸省轉地療養等私事ノ旅行ハ町村長教員ハ小學校長若クハ首席教員及町村長ヲ經テ郡長ニ願出許可ヲ受クヘシ
- 八 小學校長若クハ首席教員ヨリ縣廳ニ差出ス文書ハ市立小學校ニアリテハ市役所町村立小學校ニアリテハ町村役場及郡役所ヲ經由スヘシ

九 小學校長及教員轉任休職退職免職等ノ節ハ辭令ヲ受ケタル日ヨリ三日以内ニ保管ノ校具及諸表簿ハ目錄ヲ添へ取扱中處分未済ノ事件ハ演述書ヲ作り小學校長若クハ首席教員ハ後任者又ハ市町村長ノ指示スル者ニ其他ハ小學校長若クハ首席教員ノ指示スル者ニ引渡シ授受者連署小學校長若クハ首席教員ハ市町村長ニ其他ハ小學校長若クハ首席教員ニ届出ヘシ但三日以内ニ引繼ヲ終ヘ難キ場合ハ市町村長 教員ハ小學校長若クハ首席教員ヲ經テ承認ヲ受ケ十日以内延期スルコトヲ得

第五條 私立小學校長及教員ノ職務及服務細則ハ本則ニ準シ便宜設立者ニ於テ之ヲ定ムヘシ
 縣令第三十九號 明治二十五年四月一日

明治二十四年三月勅令第十九號第六條ニ依リ存續町村立小學校ノ事務引繼方法左ノ通相定ム
 存續町村立小學校事務引繼方法

第一條 明治二十四年三月勅令第十九號第一條第五款ニ依リ存續シタル町村立尋常小學校及同第三條ニ依リ存續シタル町村立高等小學校ヲ廢止シタルトキハ該小學校長ハ左ノ各款ニ依リ其事務ヲ引繼クヘシ

一 兒童學籍簿及諸表簿 教科用圖書器械器具ニ 其他ノ書類ハ目錄ヲ附シ兒童教育ノ事業ヲ引繼クヘキ町村立小學校長若クハ首席教員ニ引繼クヘシ但學籍簿ニハ兒童ノ行狀及學業ノ進度

ニ關スル意見書添付スヘシ

二 兒童教育ノ事業ヲ引繼クヘキ町村立小學校二個以上アルトキハ前款ノ兒童學籍簿及諸表簿等ハ其兒童教育ノ事業ヲ引繼クヘキ學校毎ニ之ヲ區別シ各其關係ノ町村立小學校長若クハ首席教員ニ引繼クヘク若シ分割シ難キモノアルトキハ教育ノ事業ヲ引繼クヘキ兒童ノ數最モ多キ小學校長若クハ首席教員ニ之ヲ送付スヘシ但兒童學籍簿及兒童出席簿ノ分割シ難キトキハ他ノ小學校長若クハ首席教員ニハ其引繼クヘキ兒童ノ學籍ヲ際寫シ之ニ本條第一款但書ノ意見書及當學期中該兒童ノ出席日數ヲ記シタル書類ヲ添へ送付スヘシ

三 教科用圖書器械器具ハ之ニ關スル諸帳簿ト共ニ從來ノ學校管理者ニ引渡スヘシ

四 町村立高等小學校長ハ兒童教育ノ事業ヲ引繼クヘキ町村立高等小學校ノ成立セサルトキハ本條第一款ノ兒童學籍簿及諸表簿等ハ前款ノ教科用圖書器械器具ト共ニ之ヲ從來ノ學校管理者ニ引渡スヘシ

第二條 明治二十四年三月勅令第十九號第一條第五款ニ依リ存續シタル町村立尋常小學校及同第三條ニ依リ存續シタル町村立高等小學校ヲ廢止シタルトキハ當該管理者ハ左ノ各款ニ依リ其事務ヲ引繼クヘシ

一 第一條第三款ニ依リ引受ケタル教科用圖書器械器具及其他在來ノ校舍敷地等ノ資産ハ其學

區會ノ議決ヲ經テ處分スヘシ

二 從來取扱ヒタル町村立小學校ノ經費ハ收支決算報告書ヲ作り之ヲ關係町村長ニ送付シ關係町村長ヲシテ其町村會ニ提出セシムヘシ但經費ノ支拂殘金若クハ不足金アルトキハ前款ノ例ニ依リ其學區會ノ議決ヲ經テ處分スヘシ

三 會計帳簿及諸表簿等一切ノ書類ハ兒童教育ノ事業ヲ引繼クヘキ町村立小學校ノ管理者ニ引繼クヘシ

四 兒童教育ノ事業ヲ引繼クヘキ町村立小學校ノ管理者二人以上アルトキハ前款ノ諸帳簿等ハ其教育ノ事業ヲ引繼クヘキ管理者毎ニ之ヲ區別シ各其關係ノ管理者ニ引繼クヘク若シ分割シ難キモノアルトキハ教育ノ事業ヲ引繼クヘキ各區域中人口最モ多キ管理者ニ之ヲ送付スヘシ但兒童就學調査ニ關スル諸表簿ノ分割シ難キトキハ他ノ管理者ニハ該表簿中ヨリ其引繼クヘキ區域内ノ兒童ニ係ル部分ヲ撰寫シテ送付スヘシ

五 第一條第四款ノ場合ニ於テ高等小學校ノ兒童學籍簿及諸表簿等ヲ引受ケタルトキハ本條第三款ノ諸帳簿等ト共ニ之ヲ關係町村中人口最モ多キ町村ノ町村長ニ引繼クヘシ

第三條 第一條第二款及第二條第四款ニ依リ分割シ難キ諸表簿等ノ引繼ヲ受ケタル町村立小學校長若クハ首席教員及管理者並ニ第二條第五款ニ依リ諸帳簿等ノ引繼ヲ受ケタル町村長ハ便宜之

ヲ保管スヘシ但關係町村立小學校長若クハ首席教員及管理者並ニ關係町村長ノ閱覽ノ便ヲ妨クヘカラス

第四條 前各條ニ依リ難キモノアルトキハ町村立小學校長及管理者ハ其處分方ヲ定メ縣知事ノ許可ヲ受クヘシ

●縣令 第四十號 明治二十五年四月一日

明治二十四年十一月 文部省令第二十六號尋常師範學校附屬小學校規程第四條ニ依リ文部大臣ノ許可ヲ受ケ本縣尋常師範學校附屬小學校授業料規則左ノ通相定ム

尋常師範學校附屬小學校授業料規則

第一條 授業料ノ月額ヲ定ムルコト左ノ如シ

尋常小學校ノ教科ヲ修ムル者

金拾五錢

高等小學校ノ教科ヲ修ムル者

金三拾錢

第二條 授業料收納ノ期日ハ毎月五日十一月迄トス

第三條 一家二人以上本校ニ就學スルトキハ其年長ノ者一人ハ授業料定額ヲ徵收シ其他ハ半額ヲ徵收ス

第四條 學校ノ休業全月ニ及ヒ又ハ兒童正當ノ理由ニ依リ缺席全月ニ及フトキハ其月分ノ授業料

ヲ徵收セサルモノトス

左ノ事項ノ一ニ該當スルカ爲メ缺席スル兒童ニアラサレハ正當ノ理由アルモノト認ムルコトヲ得ス

- 一 兒童 疾病ニ罹ルトキ
- 二 兒童ノ旅行スルトキ
- 三 兒童ノ一家中ニ疾病ニ罹ル者アルカ又ハ不慮ノ事變アルトキ
- 四 暴風雨若クハ大雪洪水其他非常變災アルトキ

●縣令第四十三號 明治二十五年四月八日

明治二十三年十月勅令第二百十五號小學校令第十二條第二項ニ依リ文部大臣ノ許可ヲ受ケ小學校教則左ノ通相定ム

小學校教則

第一章

教授要領

第一條 小學校ニ於テハ小學校令第一條ノ旨趣ヲ遵守シテ兒童ヲ教育スヘシ
徳性ノ涵養ハ教育上最モ意ヲ用フヘキナリ故ニ何レノ教科目ニ於テモ道德教育國民教育ニ關連スル事項ハ殊ニ留意シテ教授センコトヲ要ス

知識技能ハ確實ニシテ實用ニ適センコトヲ要ス故ニ常ニ生活ニ必須ナル事項ヲ撰ヒテ之ヲ教授シ反覆練習シテ應用自在ナラシメンコトヲ務ムヘシ

各教科目ノ教授ハ其目的及方法ヲ誤ルコトナク互ニ相連絡シテ補益センコトヲ要ス

第二條 修身ハ教育ニ關スル 勸諭ノ旨趣ニ基キ兒童ノ良心ヲ啓培シテ其徳性ヲ涵養シ人道實踐ノ方法ヲ授クルヲ以テ要旨トス

尋常小學校ニ於テハ孝悌、友愛、仁慈、信實、禮敬、義勇、恭儉等實踐ノ方法ヲ授ケ殊ニ尊王愛國ノ志氣ヲ養ハンコトヲ務メ又國家ニ對スル責務ノ大要ヲ指示シ兼チテ社會ノ制裁廢耻ノ重ノスヘキコトヲ知ラシメ兒童ヲ誘キテ風俗品位ノ純正ニ趨カンコトニ注意スヘシ

高等小學校ニ於テハ前項ノ旨趣ヲ擴メテ陶冶ノ功ヲ堅固ナラシメンコトヲ務ムヘシ
女兒ニアリテハ殊ニ貞淑ノ美德ヲ養ハンコトニ注意スヘシ

修身ヲ授クルニハ近易ノ俚諺及嘉言善行等ヲ例證シテ勸戒ヲ示シ教員身自ラ兒童ノ模範ト爲リ兒童ヲシテ浸潤薫染セシメンコトヲ要ス

第三條 讀書及作文ハ普通ノ言語並日常須知ノ文字、文句、文章ノ讀ミ方、綴リ方及意義ヲ知ラシメ適當ナル言語及字句ヲ用ヒテ正確ニ思想ヲ表彰スルノ能ヲ養ヒ兼チテ智徳ヲ啓發スルヲ以テ要旨トス

尋常小學校ニ於テハ近易適切ナル事物ニ就キ平易ニ談話シ其言語ヲ練習シテ假名ノ讀ミ方、書キ方、綴リ方ヲ知ラシメ次ニ假名ノ短句及近易ナル漢字交リノ短文ヲ授ケ漸ク進ミテハ讀書作文ノ教授時間ヲ別テ讀書ハ假名文及近易ナル漢字交リ文ヲ授ケ作文ハ假名文、近易ナル漢字交リ文、日用書類等ヲ授クヘシ

高等小學校ニ於テハ讀書ハ普通ノ漢字交リ文ヲ授ケ作文ハ漢字交リ文及日用書類ヲ授クヘシ讀書作文ヲ授クル際單語、短句、短文等ヲ書取ラシメ若クハ改作セシメテ假名及語句ノ用法ニ熟セシムヘシ

作文ハ讀書又ハ其他ノ教科目ニ於テ授ケタル事項、兒童ノ日常見聞セル事項及處世ニ必須ナル事項ヲ記述セシメ行文平易ニシテ旨趣明瞭ナラシメントコトヲ要ス言語ハ他ノ教科目ノ教授ニ於テモ常ニ注意シ練習セシメントコトヲ要ス

第四條 習字ハ通常ノ文字ノ書キ方ヲ知ラシメ運筆ニ習熟セシムルヲ以テ要旨トス

尋常小學校ニ於テハ片假名及平假名、近易ナル漢字交リノ短句、通常ノ人名、苗字、物名、地名等ノ日用文字及日用書類ヲ習ハシムヘシ

高等小學校ニ於テハ前項ノ事項ヲ擴メ更ニ日常適切ノ文字ヲ増シ又日用書類ヲ習ハシムヘシ漢字ノ書體ハ尋常小學校ニ於テハ行書トシ高等小學校ニ於テハ楷書行書草書トス

習字ヲ授クル際殊ニ姿勢ヲ整ヘ執筆及運筆ヲ正シクシ字行ハ整正ヲ尙ヒ運筆ハ務メテ速カナラシメントコトヲ要ス

他ノ教科目ノ教授ニ於テ文字ヲ書カシムルコトアルトキハ亦常ニ其字形及字行ヲ正シクセシメントコトヲ要ス

第五條 算術ハ日常ノ計算ニ習熟セシメ兼テ思想ヲ精密ニシ傍ラ生業上有益ナル知識ヲ與フルヲ以テ要旨トス

尋常小學校ニ於テハ初メハ十以下ノ數ノ範圍内ニ於ケル計ヘ方及加減乗除ヲ授ケ漸ク數ノ範圍ヲ擴メテ万以下ノ數ノ範圍内ニ於ケル加減乗除及ヒ通常ノ小數ノ計ヘ方ヲ授クヘシ

初年ヨリ漸ク度量衡貨幣及時刻ノ制ヲ授ケ之ヲ日常ノ事物ニ應用シテ其計算ニ習熟セシムヘシ尋常小學校ニ於テハ筆算珠算ヲ併セ用フ

高等小學校ニ於テハ筆算ヲ用ヒ初メハ度量衡貨幣及時刻ノ計算ヲ練習セシメ漸ク進ミテハ簡易ナル比例問題ト通常ノ分數小數トヲ併セ授ケ又學校ノ修業年限ニ應シ更ニ稍複雑ナル比例問題及日常適切ノ百分算ヲ授ケ土地ノ情況ニ依リテハ開平開立及簡易ナル求積若クハ日用簿記ノ概略ヲ授ケ且珠算ヲ用ヒテ加減乗除ノ練習ヲ授クヘシ

算術ヲ授クルニハ理會精密ニ運算習熟シテ應用自在ナラシメントコトヲ務メ又常ニ正確ナル言語

ヲ用ヒテ運算ノ方法及理由ヲ説明セシメ殊ニ暗算ニ熟達セシメンコトヲ要ス
算術ノ問題ハ他ノ教科目ニ於テ授ケタル事項ヲ適用シ又ハ土地ノ情況ヲ斟酌シテ日常適切ナル
モノヲ撰ムヘシ

第六條 日本地理及外國地理ハ日本ノ地理及外國地理ノ大要ヲ授ケテ人民ノ生活ニ關スル重要ナ
ル事項ヲ理會セシメ兼テ愛國ノ精神ヲ養フヲ以テ要旨トス

尋常小學校ノ教科ニ日本地理ヲ加フルトキハ郷土ノ地形方位等兒童ノ日常目撃セル事物ニ就キ
テ端緒ヲ開キ漸ク進ミテ本邦ノ地形、氣候、著名ノ都會、人民ノ生業等ノ概略ヲ授ケ更ニ地球ノ
形狀、水陸ノ別其地重要ニシテ兒童ノ理會シ易キ事項ヲ知ラシムヘシ

高等小學校ニ於テハ日本地理ハ前項ニ準シテ稍詳ニ之ヲ授ケ更ニ地球ノ運動、晝夜四季ノ原由
ヲ理會セシメ外國地理ハ大洋大洲五帶ノ別、各大洲ノ地形、氣候、產物、人種及支那朝鮮其他本邦
トノ關係ニ於テ重要ナル諸國ノ地理ノ概略ヲ授ケ又學校ノ修業年限ニ應シ既ニ授ケタル日本地
理ヲ復習シテ稍詳ニ人民ノ生活ニ關スル重要ナル事項ヲ授ケ兼テ簡易ナル經濟上ノ關係ヲ理
會セシムヘシ

地理ヲ授クルニハ實地ノ觀察ニ基キ又地球儀地圖寫眞等ヲ示シ兒童ノ熟知セル事物ニ依リ比較
類推セシメテ確實ナル知識ヲ得シメ又常ニ歷史上ノ事實ニ連絡セシメンコトヲ要ス

第七條 日本歴史ハ本邦國體ノ大要ヲ知ラシメ國民タルノ志操ヲ養フヲ以テ要旨トス

尋常小學校ノ教科ニ日本歴史ヲ加フルトキハ郷土ニ關スル史談ヨリ始メ漸ク建國ノ體制 皇統
ノ無窮 歷代天皇ノ 盛業、忠良賢哲ノ事蹟、國民ノ武勇、文化ノ由來等ノ概略ヲ授ケテ國初ヨ
リ現時ニ至ルマテノ事歴ノ大要ヲ知ラシムヘシ

高等小學校ニ於テハ前項ニ準シテ稍詳ニ國初ヨリ現時ニ至ルマテノ事歴ヲ授クヘシ

日本歴史ヲ授クルニハ成ルヘク圖畫等ヲ示シ兒童ヲシテ當時ノ實狀ヲ想像シ易カラシメ人物ノ
言行等ニ就キテハ之ヲ修身ニ於テ授ケタル格言等ニ照シテ正邪是非ヲ辨別セシメンコトヲ要ス
第八條 理科ハ通常ノ天然物及現象ノ觀察ヲ精密ニシ其相互及人生ニ對スル關係ノ大要ヲ理會セ
シメ兼テテ天然物ヲ愛スルノ心ヲ養フヲ以テ要旨トス

最初ハ主トシテ學校所在ノ地方ニ於ケル植物動物礦物及自然ノ現象ニ就キテ兒童ノ目撃シ得ル
事實ヲ授ケ就中重要ナル植物動物ノ形狀構造及生活發育ノ狀態ヲ觀察セシメテ其大要ヲ理會セ
シメ又學校ノ修業年限ニ應シ更ニ植物動物ノ相互及人生ニ對スル關係、通常ノ物理上化學上ノ
現象、通常兒童ノ目撃シ得ル器械ノ構造作用等ヲ理會セシメ兼テテ人身ノ生理及衛生ノ大要ヲ
授クヘシ

理科ニ於テハ務メテ農業工業其他人民ノ生活上ニ適切ナル事項ヲ授ケ殊ニ植物動物等ヲ授クル

際之ヲ以テ製スル重要ナル人工物ノ製法効用等ノ概略ヲ知ラシムヘシ
理科ヲ授クルニハ實地ノ觀察ニ基キ若クハ標本模型圖書等ヲ示シ又ハ單簡ナル試驗ヲ施シ明瞭
ニ理會セシメシコトヲ要ス

第九條 圖畫ハ眼及手ヲ練習シテ通常ノ形體ヲ看取シ正シク之ヲ畫クノ能ヲ養ヒ兼テ意匠ヲ練
リ形體ノ美ヲ辨知セシムルヲ以テ要旨トス

尋常小學校ノ教科ニ圖畫ヲ加フルトキハ直線曲線及ヒ其單形ヨリ始メ時々直線曲線ニ基キタル
諸形ヲ工夫シテ之ヲ畫カシメ漸ク進ミテハ簡單ナル形體ヲ畫カシムヘシ

高等小學校ニ於テハ初メハ前項ニ準シ漸ク進ミテハ諸般ノ形體ニ移リ實物若クハ手本ニ就キテ
畫カシメ又時々自己ノ工夫ヲ以テ圖案セシメ兼テ簡易ナル用器畫ヲ授クヘシ

圖畫ヲ授クルニハ他ノ教科目ニ於テ授ケタル物體及兒童ノ日常目擊セル物體中ニ就キテ之ヲ畫
カシメ兼テ清潔ヲ好ミ綿密ヲ尙フノ習慣ヲ養ハシコトヲ要ス

第十條 唱歌ハ耳及發聲器ヲ練習シテ容易キ歌曲ヲ唱フコトヲ得シメ兼テ音樂ノ美ヲ辨知セシ
メ徳性ヲ涵養スルヲ以テ要旨トス

尋常小學校ノ教科ニ唱歌ヲ加フルトキハ通常譜表ヲ用ヒシテ容易キ單音唱歌ヲ授クヘシ
高等小學校ニ於テハ初メハ前項ニ準シ漸ク譜表ヲ用ヒテ單音唱歌ヲ授クヘシ

第十一條 體操ハ身體ノ成長ヲ均齊ニシテ健康ナラシメ精神ヲ快活ニシテ剛毅ナラシメ兼テ規
律ヲ守ルノ習慣ヲ養フヲ以テ要旨トス

尋常小學校ニ於テハ最初適宜ノ遊戯ヲナサシメ漸ク普通體操ヲ加ヘ男兒ニハ兵式體操ノ一部ヲ
授クヘシ

高等小學校ニ於テハ男兒ニハ主トシテ兵式體操ヲ授ケ傍テ普通體操ヲ授ケ女兒ニハ普通體操及
遊戯ヲ授クヘシ

土地ノ狀況ニ依リテハ體操ノ教授時間ノ一部若クハ教授時間ノ外ニ於テ適宜ノ戶外運動ヲナサ
シメ又夏季ニ於テハ水泳ヲ授クルコトアルヘシ

體操ノ教授ニ依リテ習成シタル姿勢ハ常ニ之ヲ保タシメシコトヲ要ス

第十二條 裁縫ハ眼及手ヲ練習シテ通常ノ衣服ノ縫方及裁方ニ習熟セシムルヲ以テ要旨トス

尋常小學校ノ教科ニ裁縫ヲ加フルトキハ運針法ヨリ始メテ簡易ナル衣服ノ縫方ヲ授ケ又便宜通
常ノ衣服ノ繕ヒ方等ヲ授クヘシ

高等小學校ニ於テハ初メハ前項ニ準シ漸ク通常ノ衣服ノ縫方裁方ヲ授クヘシ

裁縫ノ品類ハ日常所用ノモノヲ撰ヒ之ヲ授クル際用具ノ種類衣類ノ保存方及洗濯方等ヲ教示シ
常ニ節約利用ノ習慣ヲ養ハシコトヲ要ス

第十三條 手工ハ眼及手ヲ練習シテ簡易ナル物品ヲ製作スルノ能ヲ養ヒ勤勞ヲ好ムノ習慣ヲ長スルヲ以テ要旨トス

尋常小學校ノ教科ニ手工ヲ加フルトキハ紙、絲、粘土、麥藁等ヲ用ヒテ簡易ナル細工ヲ授クヘシ
高等小學校ノ教科ニ手工ヲ加フルトキハ紙、粘土、木、竹、銅線、鐵葉、鉛等ヲ用ヒテ簡易ナル細工ヲ授クヘシ

手工ノ品類ハ成ルヘク有用ナルモノヲ撰ヒ之ヲ授クル際其材料及用具ノ種類等ヲ指示シ常ニ節約利用ノ習慣ヲ養ハントヲ要ス

第十四條 高等小學校ノ教科ニ幾何ノ初步ヲ加フルトキハ簡易ナル線角面體ノ性質及種類ヲ知ラシメ尙進ミテハ三角形ノ同形類形及勾股弦ノ關係等ヲ理會セシムヘシ

幾何ノ初步ヲ授クルニハ先ツ器具家屋地形等ヲ觀察セシメ更ニ其模型若クハ圖ヲ示シ兒童ヲシテ之ヲ審キ其尺度又ハ角度ヲ測定比較シテ其性質關係ヲ知ラシメ專ラ實驗ニ依リテ證明シ又既ニ授ケタル事項ヲ應用シ諸種ノ線形等ヲ構成シテ其度量ヲ計算セシメ之ヲ實地ニ應用スルノ能ヲ養ハントヲ要ス

第十五條 高等小學校ノ教科ニ外國語ヲ加フルハ將來ノ生活上其知識ヲ要スル兒童ノ多キ場合ニ限ルモノトシ讀方、譯解、習字、書取、會話、文法及作文ヲ授ケ外國語ヲ以テ簡易ナル會話及通信

等ヲナスコトヲ得シムヘシ

外國語ヲ授クルニハ常ニ其發音及文法ニ注意シ正シキ國語ヲ用ヒテ譯解セシムコトヲ要ス

第十六條 高等小學校ノ教科ニ農業ヲ加フルトキハ地理理科等ノ教授ニ連絡シ土壤、水利、肥料、農具、耕耘、栽培、養蠶、養畜等ニ關シ土地ノ情況ニ緊切ニシテ兒童ノ理會シ易キ事項ヲ授ケ便宜之ヲ實習セシメテ農業ノ趣味ヲ長シ兼テ節約利用勸勉儲蓄ノ習慣ヲ養ハントヲ要ス

第十七條 高等小學校ノ教科ニ商業ヲ加フルトキハ算術地理等ノ教授ニ連絡シテ商店、會社、賣買、金融、運送、保險等ニ關スル重要ナル事項ニシテ兒童ノ理會シ易キモノヲ撰ヒ習慣及法令等ニ基キテ之ヲ授ケ又簡易ナル商用簿記ヲ授クヘシ

第十八條 補習科ハ尋常小學校若クハ高等小學校ニ於テ兒童ノ既ニ學習シタル事項ヲ練習補充シ殊ニ之ヲ實地ニ應用スルノ法ヲ授ケテ處世ニ資セシムルヲ以テ要旨トス

補習科ノ程度ハ尋常小學校若クハ高等小學校ノ教科ノ程度ヲ標準トシ兼テ人民ノ生活上必須ナル事項ヲ加ヘ授ケンコトヲ要ス

補習科ニ於テ授ケル事項ハ總テ實際ノ業務ト密接ノ關係ヲ有スルモノタルヘシ故ニ農工商等其地方ノ生業ニ最モ適切ナルモノヲ撰ヒテ之ヲ授クヘシ

第二章

各教科目每週教授時間、教科課程

第十九條 尋常小學校及高等小學校ノ各教科目毎週教授時間并教科課程ハ左表ノ如シ

尋常小學校各教科目毎週教授時間并教科課程表

| 教科目 | 第一學年 | | 第二學年 | | 第三學年 | | 第四學年 | |
|-----|------|---|------|---|------|---|------|---|
| | 時間 | 教授時間 | 時間 | 教授時間 | 時間 | 教授時間 | 時間 | 教授時間 |
| 修身 | 三 | 人道實踐ノ方法 | 三 | 人道實踐ノ方法 | 三 | 人道實踐ノ方法 | 三 | 人道實踐ノ方法 |
| 讀書 | 九 | 普通ノ言語 假名ノ短文 假名ナル漢字交 近易ナル漢字交 リ短文 | 七 | 近易ナル漢字交 文(假名文ヲ交ニ) 近易ナル漢字交 リ短文 | 七 | 近易ナル漢字交 文 近易ナル漢字交 リ | 七 | 近易ナル漢字交 文 近易ナル漢字交 リ |
| 作文 | 九 | 片假名 平假名 近易ナル漢字(行 交リノ短文) | 四 | 近易ナル漢字(行 交リノ短文) | 四 | 近易ナル漢字交 リ 日用書類 | 四 | 近易ナル漢字交 リ 日用書類 |
| 習字 | 五 | 二十以下ノ數ノ 範圍内ニ於ケル 計ヘ方及加減乘 除ノ制 | 五 | 日用文字 行書 | 五 | 日用文字 行書 | 五 | 日用文字 行書 |
| 算術 | 七 | 度量衡貨幣及時 刻ノ制 | 八 | 百以下ノ數ノ範圍 内ニ於ケル計ヘ方 及加減乘除 度量衡貨幣及時 刻ノ制 | 八 | 千以下ノ數ノ範圍 内ニ於ケル計ヘ方 及加減乘除 度量衡貨幣及時 刻ノ制 | 八 | 万以下ノ數ノ範圍 内ニ於ケル計ヘ方 及加減乘除 度量衡貨幣及時 刻ノ制 |
| 珠算 | 七 | 度量衡貨幣及時 刻ノ制 | 八 | 度量衡貨幣及時 刻ノ制 | 八 | 度量衡貨幣及時 刻ノ制 | 八 | 度量衡貨幣及時 刻ノ制 |
| 體操 | 三 | 遊戯 | 三 | 普通體操 遊戯 | 三 | 普通體操 遊戯 | 三 | 普通體操 遊戯 |
| 女 | | 遊戯 | 女 | 普通體操 遊戯 | 女 | 普通體操 遊戯 | 女 | 普通體操 遊戯 |
| 男 | | 遊戯 | 男 | 普通體操 遊戯 | 男 | 普通體操 遊戯 | 男 | 普通體操 遊戯 |

| | | | | |
|---|----|----|----|----|
| 計 | 二七 | 三〇 | 三〇 | 三〇 |
|---|----|----|----|----|

一本表ハ修業年限四個年ノ多級ノ學校ノ各教科目毎週教授時間并教科課程表ニシテ修業年限三個年ノ多級ノ學校ニ於テハ其修業年限ニ該當スル各學年ノ課程ニ準シ之ヲ修了セシムヘキモノトス

一 修業年限三個年ノ學校ニ於テハ算術ハ珠算ノミヲ用ヒ且第二學年ニ度量衡貨幣及時刻ノ計算ヲ授クヘシ

一 甲乙丙兩學年若クハ甲乙丙三學年ノ兒童ヲ合シテ編制シタル學級ニ於テハ其學年間ニ之ニ該當スル學年ノ課程ヲ修メシムヘシ

一 單級ノ學校ニ於テハ其修業年限ニ該當スル學年ノ課程ニ準シ修了セシムヘシ

一 土地ノ情況ニ依リ體操ヲ缺クトキハ其毎週教授時間ハ便宜讀書以下ノ諸科目ニ加ヘ日本地理日本歴史圖書唱歌手工裁縫ノ一科目若クハ數科目ヲ加フルトキハ其教授時間ハ讀書以下ノ諸科目ノ中ニ就キテ毎週四時以内ヲ減シテコレニ充ツルコトヲ得此場合ニ於テハ小學校令第十一條第一項ニ依リ教科目ノ加除ニ就キ縣知事ノ許可ヲ受クル際併セテ増加教科目ノ課程并加除セル教科目ノ毎週教授時間ノ配當ヲ定メ許可ヲ受クヘシ

高等小學校各教科目每週教授時間并教科課程表

| 教科目 | 第一學年 | | 第二學年 | | 第三學年 | | 第四學年 | |
|------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| | 時間 | 每週 | 時間 | 每週 | 時間 | 每週 | 時間 | 每週 |
| 修身 | 二 | 二 | 二 | 二 | 二 | 二 | 二 | 二 |
| 讀書 | 五 | 五 | 五 | 五 | 五 | 五 | 五 | 五 |
| 作文 | 二 | 二 | 二 | 二 | 二 | 二 | 二 | 二 |
| 習字 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 |
| 算術 | 筆算男五 珠算女四 | 筆算男五 珠算女四 | 筆算男五 珠算女四 | 筆算男五 珠算女四 | 筆算男五 珠算女四 | 筆算男五 珠算女四 | 筆算男五 珠算女四 | 筆算男五 珠算女四 |
| 日本地理 | 男四 | 男四 | 男四 | 男四 | 男四 | 男四 | 男四 | 男四 |
| 日本歷史 | 女三 | 女三 | 女三 | 女三 | 女三 | 女三 | 女三 | 女三 |
| 外國地理 | 女三 | 女三 | 女三 | 女三 | 女三 | 女三 | 女三 | 女三 |

| 教科目 | 第一學年 | | 第二學年 | | 第三學年 | | 第四學年 | |
|-----|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| | 時間 | 每週 | 時間 | 每週 | 時間 | 每週 | 時間 | 每週 |
| 理科 | 二 | 二 | 二 | 二 | 二 | 二 | 二 | 二 |
| 圖畫 | 二 | 二 | 二 | 二 | 二 | 二 | 二 | 二 |
| 唱歌 | 二 | 二 | 二 | 二 | 二 | 二 | 二 | 二 |
| 體操 | 女二 男三 | 女二 男三 | 女二 男三 | 女二 男三 | 女二 男三 | 女二 男三 | 女二 男三 | 女二 男三 |
| 裁縫 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 |
| 計 | 女三 男三 | 女三 男三 | 女三 男三 | 女三 男三 | 女三 男三 | 女三 男三 | 女三 男三 | 女三 男三 |

一本表ノ每週教授時間ハ男女ヲ區別シテ教授スル場合ニ於ケル各教科目ノ每週教授時間ヲ示シタルモノニシテ男女ヲ區別セシテ教授スル場合ニ於テハ男女共ニ算術ノ每週教授時間ヲ五時日本地理日本歴史外國地理ノ每週教授時間ヲ四時トシ女兒ニ就キテ圖畫及唱歌ノ每週教授時間中

ヨリ各一時ヲ減スヘシ

一本表ハ修業年限四ヶ年ノ多級ノ學校ノ各教科目毎週教授時間及教科課程表ニシテ修業年限二ヶ年若クハ三ヶ年ノ多級ノ學校ニ於テハ其修業年限ニ該當スル各學年ノ課程ニ準シ之ヲ修了セシムヘキモノトス但修業年限二ヶ年ノ學校ニ於テハ其第二學年ニ外國地理ノ大要ヲ加ヘ修業年限三ヶ年ノ學校ニ於テハ其第三學年ニ日本地理ノ補習ヲ加フヘキモノトス又修業年限ノ長短ニ應ジ教授上自ラ精粗ノ差アルヘシト雖モ各教科目ノ教授ヲ修了セシムヘキモノトス

一甲乙兩學年若クハ甲乙丙三學年ノ兒童ヲ合シテ編制シタル學級ニ於テハ其學年間ニ之ニ該當スル學年ノ課程ヲ修メシムヘシ

一單級ノ學校ニ於テハ其修業年限ニ該當スル學年ノ課程ニ準シ之ヲ修了セシムヘシ

一土地ノ情況ニヨリ外國地理唱歌ノ一科目若クハ二科目ヲ缺クトキハ其毎週教授時間ハ便宜讀書以下ノ諸科目ニ加ヘ幾何ノ初步外國語農業商業手工ノ一科目若クハ數科目ヲ加フルトキハ其教授時間ハ便宜讀書以下ノ諸科目ノ中ニ就キテ毎週四時以內ヲ減シ若クハ毎週男兒ニ六時以內女兒ニ四時以內ヲ加ヘ之ニ充ツルコトヲ得此場合ニ於テハ小學校令第十一條第一項ニ依リ教科目ノ加除ニ就キ縣知事ノ許可ヲ受クル際併セテ増加教科目ノ課程并加除セル教科目ノ毎週教授時間ノ配當ヲ定メ許可ヲ受クヘシ

一教科目ヲ加ヘサル場合ニ於テハ土地ノ情況ニ依リ裁縫科ノ毎週教授時間ニ四時以內ヲ加フルコトヲ得此場合ニ於テハ市町村立小學校ニ就キテハ其市參事會又ハ町村長私立小學校ニ就キテハ其設立者ニ於テ縣知事ノ許可ヲ受クヘシ

第二十條 小學校長若クハ首席教員ハ本則ニ從ヒ其小學校ニ於テ教授スヘキ各教科目ノ教授細目ヲ定ムヘシ

第二十一條 補習科ノ各教科目毎週教授時間并教科課程ハ明治二十四年十一月十一日 文部省令第八號第四條ニ依リ縣知事ノ許可ヲ受クル際併セテ許可ヲ受クヘシ

補習科ノ教授時間ハ成ルヘク實際ノ業務ニ從事スル者ノ便ヲ圖リ夜間休業日又ハ其他通常ノ教授時間外ニ於テ之ヲ定ムヘシ

第二十二條 尋常小學校ノ教科ト高等小學校ノ教科トヲ一校ニ併セ置クトキハ第一條ノ各教科目毎週教授時間及教科課程ヲ斟酌スルコトヲ得此場合ニ於テハ市町村立小學校ニ就キテハ市參事會又ハ町村長ニ於テ私立小學校ニ就キテハ其設立者ニ於テ縣知事ノ許可ヲ受クヘシ

第二十三條 市町村立小學校ニ就キ明治二十四年十一月十一日 文部省令第十二號學級編制等ニ關スル規則第十條第一項後段ニ依リ縣知事ノ許可ヲ受ケタルトキノ教科課程毎週教授時間ハ其市參事會又ハ町村長ニ於テ之ヲ定メ縣知事ノ許可ヲ受クヘシ

私立小學校ニ就キ明治二十四年十一月文部省令第十二號學級編制等ニ關スル規則第十條第二項ニ依リ縣知事ノ許可ヲ受ケタル場合ニ於テ其教科課程毎週教授時間ハ其設立者ニ於テ之ヲ定メ縣知事ノ許可ヲ受クヘシ

第三章

試業

第二十四條 小學校ノ試業ヲ分テ臨時試業學年試業ノ二種トス

第二十五條 臨時試業ハ一學年中二回乃至三回臨時ニ之ヲ施行シ既修ノ學業ノ熟否ヲ試ミ教授ノ程度ヲ進ムルニ足ルヤ否ヤヲ考定シ且其成績ヲ學年試業ノ資料ニ充ツルモノトス

第二十六條 學年試業ハ每學年ノ終ニ於テ既修ノ學業ノ熟否ヲ試ミ各臨時試業ノ結果ヲ參酌シテ其成績ヲ評定スルモノトス

第二十七條 臨時試業ハ各教科目ニ就キ其期間ニ於ケル兒童ノ學業ヲ試ミ習熟ノ度ニ依リ百點以下ノ評點ヲ附シ百點ヲ得タル者ヲ最上トシ以下點數ニ應シ其熟否ヲ定ムルモノトス但修身科ハ其教科ノ評點ニ行狀ノ評點ヲ加ヘ之ヲ二除シタルモノヲ以テ其評點トス

行狀評點ハ兒童平素ノ行狀評點總數ヲ出席日數ヲ以テ除シタルモノトス

第二十八條 學年試業ハ第二十七條ノ例ニ依リ每學年ノ終ニ於ケル兒童ノ學業ヲ試ミ各教科目ノ評點ヲ定メ修身科ハ其評點ニ最終ノ臨時試業ヨリ學年試業マテ之ニ臨時試業ノ各教科目評點平均

均數ノ二倍ヲ加ヘ三除シテ各教科目評點五十點以上ニ至ル者ヲ以テ當該學年ノ課程ヲ修業シタルモノトス但某教科目評點五十點未滿ナルモ四十點以上ニシテ其總點數ヲ各教科目ニ平均シ七十點以上ニ至ルトキハ亦當該學年ノ課程ヲ修業シタルモノトス

第二十九條 同學年ノ兒童ヲ以テ一學級ヲ編制シ及數學年ノ兒童ヲ以テ一學級ヲ編制シタル小學校ニ於テハ學年試業ノ成績其學級ニ該當スル學年ノ課程ヲ修業シ次學年ノ課程ヲ修メシムルニ適スル者ニハ修業證書ヲ與ヘテ之ヲ進メ其適セサル者ニハ尙現學年ノ課程ヲ再修セシムルモノトス

第三十條 數學年ノ兒童ヲ一學級ニ編制シタル小學校及單級ノ小學校ニ於テハ一學年問課業ヲ學習シタル者ニハ學年試業ノ成績ニ關セス總テ學習證書ヲ授與スヘシ但前條修業證書ヲ授與スル場合ニハ學習證書ヲ授與セス

第三十一條 學年試業ノ成績尋常小學校若クハ高等小學校ノ各課程ヲ完了セリト認ムル者ニハ卒業證書ヲ與フヘク其認ムル能ハサル者ニハ尙相當ノ課程ヲ再修セシムルモノトス但卒業證書ヲ授與スル場合ニハ修業證書又ハ學習證書ヲ授與セス

第三十二條 小學校長若クハ首席教員ハ前各條ニ基キ適宜試業細則ヲ定ムヘシ

第三十三條 卒業證書修業證書及學習證書ノ書式左ノ如シ

卒業證書々式

卒業證書

族籍

氏

生年月

尋常(高等)小學校修業年限ノ教科ヲ卒業セシコトヲ證ス

年

印月校

日

番號

富山縣何郡何村(私)立何小學校
長 教員

位勳爵 氏 名 印

修業證書々式

修業證書

族籍

氏

生年月

尋常(高等)小學校第何學年(何々學年)ノ課程ヲ修業セシコトヲ證ス

年

印月校

日

番號

富山縣何郡何村(私)立何小學校

學習證書々式

學習證書

族籍

氏

生年月

本學年間ノ課業ヲ學習セシコトヲ證ス

年

印月校

日

番號

富山縣何郡何村(私)立何小學校

第三十四條 補習科ノ生徒ノ學業ノ進度ヲ檢定スル方法ハ第二十七條第二十八條ニ準シ小學校長若クハ首席教員ニ於テ便宜之ヲ定ムヘシ

第四章 雜則

第三十五條 本則第十九條ノ尋常小學校各教科目每週教授時間并教科課程表附記第五款及高等小學校各教科目每週教授時間并教科課程表附記第五款第六款第二十一條第一項第二十二條第二十三條第一項ノ場合ニ於テ市參事會又ハ町村長ニ於テ縣知事ノ許可ヲ受ケントスルトキハ豫メ其小學校長若クハ首席教員ノ意見ヲ聞クヘシ

第三十六條 本則ニ依リ町村長ヨリ差出ス書類ハ郡役所ヲ經由スヘシ

縣令第四十四號 明治二十五年四月八日

明治二十三年十月勅令第二百十五號小學校令ニ依リ設置スル小學校規則左ノ通相定ム

小學校規則

第一章

學年、教授時限、休業日

第一條 小學校ノ學年ハ毎年四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル
第二條 尋常小學校及高等小學校ノ始業時限ハ左ノ如シ

| 月 | 日 | 始業時限 |
|-----|----------------|------|
| 四月 | 一日ヨリ六月三十日マテ | 午前八時 |
| 九月 | 一日ヨリ十月三十一日マテ | 午前九時 |
| 十一月 | 一日ヨリ翌年三月三十一日マテ | 午前七時 |
| 七月 | 一日ヨリ八月三十一日マテ | 午前七時 |

土地ノ情況ニヨリ前項ノ始業時限ヲ變更スルコトヲ得此場合ニ於テハ市町村立小學校ニ就キテハ其市町村長私立小學校ニ就キテハ其設立者ニ於テ之ヲ定メ縣知事ニ開申スヘシ

第三條 補習科ノ教授時限ハ市町村立小學校ニ就キテハ其市町村長私立小學校ニ就キテハ其設立者ニ於テ之ヲ定メ縣知事ニ開申スヘシ

第四條 市町村立小學校ニ就キ明治二十四年十一月文部省令第十二號學級編制等ニ關スル規則第十條第一項後段ニ依リ縣知事ノ許可ヲ受ケタルトキノ教授時限ハ其市町村長ニ於テ之ヲ定メ縣知事ニ開申スヘシ

私立小學校ニ就キ明治二十四年十一月文部省令第十二號學級編制等ニ關スル規則第十條第二項ニ依リ縣知事ノ許可ヲ受ケタル場合ニ於テ其教授時限ハ其設立者ニ於テ之ヲ定メ縣知事ニ開申スヘシ

第五條 小學校ノ休業日ハ左ノ如シ

日曜日

祝日大祭日

冬季

自十二月二十八日
至翌年一月七日

學年試業後

五日以内

土地ノ情況ニ依リ市町村立小學校ニ就キテハ市參事會又ハ町村長ニ於テ私立小學校ニ就キテハ其設立者ニ於テ縣知事ノ許可ヲ受ケテ一學年中四週日以内休業シ及八月一日ヨリ同月二十八日マテノ間ハ尋常小學校ニ就キテハ其授業時間ヲ一日三時高等小學校ニ就キテハ一日四時マテ減縮スルコトヲ得但授業時間ヲ減縮スル場合ニ於テハ各教科目毎週教授時間ヲ定メ併セテ縣知事ノ許可ヲ受クヘシ

第二章

教科用圖書

第六條 尋常小學校及高等小學校ノ教科用圖書ハ當分左表ノ通從來ノモノヲ選用スヘシ

尋常小學校教科用圖書表

(○印ハ朱書)

| 教科目 | 學年 | 第一學年 | 第二學年 | 第三學年 | 第四學年 |
|-----|----|--|--|--|--|
| 修身 | | 追テ之ヲ定ム | | | |
| | 讀 | ○ <small>富山縣第二部 學務課編輯 小學讀本</small> 一 | ○ <small>富山縣第二部 學務課編輯 小學讀本</small> 二 | ○ <small>富山縣第二部 學務課編輯 小學讀本</small> 三 | ○ <small>富山縣第二部 學務課編輯 小學讀本</small> 四 |
| | 書 | ○ <small>富山縣第二部 學務課編輯 小學讀本</small> 一 | ○ <small>富山縣第二部 學務課編輯 小學讀本</small> 二 | ○ <small>富山縣第二部 學務課編輯 小學讀本</small> 三 | ○ <small>富山縣第二部 學務課編輯 小學讀本</small> 四 |
| | 讀 | ○ <small>富山縣第二部 學務課編輯 小學讀本</small> 一 | ○ <small>富山縣第二部 學務課編輯 小學讀本</small> 二 | ○ <small>富山縣第二部 學務課編輯 小學讀本</small> 三 | ○ <small>富山縣第二部 學務課編輯 小學讀本</small> 四 |

習字
○富山縣學務課編輯
小學習字手本

算術
○山田正一譯述
小學初等算術實物教授本 上
○山田正一編輯
小學初等算術教授本 上中下
○山田正一譯述
增補改訂小學算術教授本 一二

一 習字科ニ於テ近易ナル漢字交リノ短句ヲ授クルニハ本表習字科教科用圖書ニ記載セル日用文字ヲ應用スヘシ
一 土地ノ情況ニ依リ日本地理日本歴史圖書唱歌手工裁縫ノ一科目若クハ數科目ヲ加フルトキハ小學校長若クハ首席教員ニ於テ高等小學校教科用圖書表ニ記載セル當該學科ノ教科用書ニ就キ其課程ニ相應セル程度ヲ教フヘシ
一 表中朱書セルモノ教ハ員ノ參考用トス

高等小學校教科用圖書表

| 教科目 | 學年 | 第一學年 | 第二學年 | 第三學年 | 第四學年 |
|-------------|----|------|------|------|------|
| 高等小學校教科用圖書表 | | | | | |

| | | | | | |
|------|---|--|--------------------|--------------------|--------------------|
| 修身 | 追テ之ヲ定ム | 中原貞七編輯 高等小學讀本一二 伊藤信平著作 高等科習字帖 | 中原貞七編輯 高等小學讀本三四 | 中原貞七編輯 高等小學讀本五六 | 中原貞七編輯 高等小學讀本七八 |
| 讀書 | 山田正一譯述 增補改 正小學算算教授本 福澤諭吉譯 帳合ノ法初篇 | 自三 至五 | | | |
| 算術 | 富山縣學務課編輯 地理初歩 富山縣學務課編輯 越中地理小誌 富山縣學務課編輯 日本地理小誌 高城與五郎編 萬國小地理書 附附圖 辻敬之 福地復合著 小學校用歷史 | 全 全 全 一二 一二 一二 一二三四 | | | |
| 日本地理 | 高島勝次郎編纂 新撰理科書 | 自一 至四 上下 | | | |
| 外國地理 | | | | | |
| 日本歷史 | | | | | |
| 理科 | | | | | |

| | | | | | |
|---|---|------------------------------------|--|--|--|
| 圖畫 | 文部省編輯 小學習字帖 西敬著 用器書法 文部省音樂取調掛編纂 小唱歌集 文部省音樂取調掛編纂 唱歌掛圖 | 自一 至八 全 初篇 二篇 三篇 初篇 二篇 | | | |
| 唱歌 | | | | | |
| 習字科ニ於テ日用書類ヲ授クルニハ既習ノ尋常小學校習字科日用書類ノ文字ト本表ニ掲クル習字科教科用圖書ニ記載セル日用文字トヲ應用スヘシ | | | | | |
| 一第一學年及第二學年ニ於テ日本地理日本歴史ヲ授クルニハ本表ニ記載セル圖書ニ據ルヘク第三學年ニ於テ日本歴史ヲ授ケ第四學年ニ於テ日本地理日本歴史外國地理ヲ授クルニハ前記教科書ノ外尙他ノ參考書等ニ就キ一層精細ニ教授スヘシ | | | | | |
| 一土地ノ情況ニヨリ幾何ノ初歩外國語農業手工商業ノ一科目若クハ數科目ヲ加フルトキハ其教科用圖書ハ左表ノ通變用ス | | | | | |
| 幾何ノ初歩 | 追テ之ヲ定ム | | | | |
| 外國語 | 久野英吉編輯 綴字初歩 スペンサー 習字帖 | | | | |

| | |
|---|--|
| 業 | パーソナル商會出版 ナショナル讀本 一一一 パーテリス 會話篇 |
| 農 | 黒宮武雄 同著 中根壽 農業初歩 一二三 |
| 手 | 道テ之ヲ定ム |
| 工 | |
| 商 | 坪井仙次郎著 小學商業篇 一二二 |

一表中朱書セルモノハ教員ノ参考用トス

第三章

入退學

第七條 小學校兒童入學ノ期ハ毎年一回學年ノ初日 四月トス

家庭又ハ其他ニ於テ尋常小學校ノ教科ヲ修ムル者又ハ他ノ小學校ヨリ轉校スル者ハ臨時入學ヲ許可スルコトヲ得

第八條 高等小學校ニ於テハ尋常小學校四ヶ年ノ教科ヲ卒業セシ者若クハ之レト同等以上ノ學力アル者ヲ入學セシメ尋常小學校ニ於テハ學齡ニ達シタル兒童ヲ入學セシムルモノトス

尋常小學校三ヶ年ノ教科ヲ卒業シ若クハ尋常小學校ノ補習科ヲ修了セシ者ニシテ高等小學校ニ入學スル者又ハ家庭其他ニ於テ尋常小學校ノ教科ヲ修ムル者若クハ他ノ小學校ヨリ轉學スル者

ノ入學ヲ許サントスルトキハ小學校長若クハ首席教員ハ其兒童ノ學業ヲ試驗シ相當ノ學級ニ編入スヘシ但市町村立高等小學校ニ入學セントスル兒童ノ學力不十分ニシテ入學ヲ許可スヘカラスト認ムルトキハ小學校長若クハ首席教員ハ其事由ヲ市町村長ニ通知スヘシ

第九條 尋常小學校ノ教科ヲ修ムル者ニシテ同市町村内ノ尋常小學校ニ轉學セントスル者又ハ尋常小學校ノ教科ヲ卒業シ市町村立尋常小學校補習科ヲ修メントスル者若クハ市町村立高等小學校ニ入學セントスル者又ハ高等小學校ノ教科ヲ卒業シ市町村立高等小學校ノ補習科ヲ修メントスル者ハ其保護者ヨリ兒童ノ氏名族籍住所職業トキハ其戸主ニアラサル生年月入學セシメントスル學校名ヲ記シ其市町村長ニ申立ツヘシ

市町村立尋常小學校ノ補習科ヲ修ムル者又ハ市町村立高等小學校ニ入學セシモノニシテ中途退學セントスル者又ハ市町村立小學校ニ入學セシ者ニシテ轉籍若クハ死亡セシ者ハ其保護者ヨリ其市町村長ニ申立ツヘシ

第十條 市町村長ハ前條ノ申立アルトキハ之ヲ調査シ正當ノ理由アルモノハ之ヲ許可シ其市町村立小學校ニ入學スル者ハ其兒童ノ氏名族籍住所職業生年月并保護者ノ族籍住所職業氏名其退學ニ係ル者又ハ轉籍死亡ノ者ハ其兒童ノ氏名ヲ當該小學校長若クハ首席教員ニ通知スヘシ但市町村立高等小學校ニ入學ノ際試験ヲ要スル者ハ小學校長若クハ首席教員ノ意見ヲ開キ許否スヘシ

第十一條 第九條及第十條中尋常小學校ノ教科ヲ卒ラサル兒童ノ入退學ニシテ市町村立尋常小學校ニ關スル規程ハ本縣尋常師範學校附屬小學校及代用私立小學校ニモ之ヲ適用ス

第四章

雜則

第十二條 小學校兒童缺席スルトキハ其保護者ヨリ事由ヲ記シテ小學校長若クハ首席教員ニ届出ツヘシ

第十三條 本則第二條第二項第三條第四條第一項第五條第二項ノ場合ニ於テ市參事會又ハ市町村長ニ於テ縣知事ノ許可ヲ受ケントシ若クハ縣知事ニ開申セントスルトキハ豫メ其小學校長若クハ首席教員ノ意見ヲ聞クヘシ

第十四條 本則ニ依リ町村長ヨリ差出ス書類ハ郡役所ヲ經由スヘシ

●縣令第四十八號 明治二十五年五月十三日

明治二十三年十月勅令第二百十五號小學校令第二十六條第一項ニ依リ富山市及高岡市ノ意見ヲ聞キ各其市ニ於テ設置スヘキ尋常小學校ノ校數並位置左ノ通相定ム

富山市

校數

位置

一小學校

大字富山藤井町

| | |
|---|----------|
| 一小學校 | 大字富山總曲輪 |
| 一小學校 | 大字富山山王町 |
| 一小學校 | 大字富山中野新町 |
| 一小學校 | 大字富山殿町 |
| 一小學校 | 大字富山五番町 |
| 一小學校 | 大字富山泉町 |
| 高岡市 | |
| 校數 | 位置 |
| 一小學校 | 大字高岡片原横町 |
| 一小學校 | 大字高岡油町 |
| 一小學校 | 大字高岡旅籠町 |
| ●縣令第四十九號 明治二十五年五月二十七日 | |
| 市町村若クハ其區又ハ町村學校組合ニ於テ明治二十三年十月勅令第二百十五號小學校令第三十六條若クハ第三十七條ニ依リ高等小學校ヲ設置セントシ又ハ同令第十一條第二項ニ依リ尋常小學校ノ教科ト高等小學校ノ教科トヲ一校ニ併セ置カントシ知事ノ許可ヲ受クルニハ學級ノ編制(單級學校ハ男 | |

何人女何人ト記シ多級學校ハ職員ノ定員、經費豫算額（教員給料、小使給料、雜給、教員恩給基金納金、備品費、消耗品費、雜費、修繕費、建築費、地所買上費ノ目）ヲ記シタル書類ヲ添附スヘク又同令第十一條第三項ニ依リ市町村立小學校ニ補習科ヲ設置セントシ知事ノ許可ヲ受クルニハ學級ノ編制（記載方前）及擔任教員ノ報酬ノ有無并其金額ヲ記シタル書類ヲ添附スヘシ

●縣令第五十號 明治二十五年五月二十七日

市町村立小學校ニ於テ校舍ノ建築修繕其他冬季ニ際シ兒童通學ニ不便ナル爲メ一時分教室ノ設置ヲ要スルトキハ期限ヲ定メ事由ヲ具シテ市ハ知事、町村ハ郡長ノ許可ヲ受クヘク又市立小學校ニ於テ臨時休業ヲ要スルトキハ市長ニ於テ知事ノ許可ヲ受クヘク町村立小學校ニ於テ臨時休業ヲ要スルトキハ町村長ニ於テ郡長ノ許可ヲ受クヘシ

●縣令第五十一號 明治二十五年五月二十七日

市町村立小學校ノ名稱、學級ノ編制、職員ノ定員、經費豫算額并市町村若クハ町村學校組合又ハ其區ノ學務委員ノ員數ヲ定メ若クハ之ヲ變更シタルトキハ三日以内ニ市參事會又ハ町村長郡長ヲヨリ知事ニ開申スヘシ但學級ノ編制ハ單級學校ハ男何人女何人ト記シ多級學校ハ每級男何人女何人ト記シ又經費豫算ハ教員給料、小使給料、雜給、教員恩給基金納金、備品費、消耗品費、雜費、修繕費、建築費、地所買上費ノ目ニ分配スヘシ

●縣令第五十三號 明治二十五年七月二十二日

明治二十四年十一月文部省令第十九號小學校教員檢定等ニ關スル規則施行以前ニ授與シタル小學初等科教員免許狀及小學簡易科教員免許狀ニシテ本年四月一日ヨリ向フ一个年間ニ有効年限ノ滿ツルモノハ更ニ書替ヲ要セス本年七月文部省令第十八號ニ依リ其有効年限ヲ明治二十七年三月三十一日迄延期ス

●告示第二十四號 明治二十五年四月二十九日

小學校教員免許狀所有者ニシテ本縣市町村立小學校教員志望ノ向ハ本年四月縣令第三十七號小學校長及教員任用解職其他進退ニ關スル細則第十四條第三號書式ニ準シタル履歷書ヲ添へ當廳内務部第二課ニ申出ヘシ但就職地等ニ就キ殊ニ志望アル者ハ其旨詳記スヘシ

●告示第三十四號 明治二十五年五月二十七日

自今小學校教員免許狀ヲ授與スルトキハ其授與スヘキ者ニ對シ所屬出納吏ヲシテ該手数料ノ收入告知書ヲ交附セシムヘキニ付其告知書ヲ受ケタル者ハ之ニ現金ヲ添へ縣稅出納所又ハ其出張所ニ拂込ミ其領收證ヲ得テ所轄郡市長ニ示シ免許狀ヲ受領スヘシ

但明治二十四年五月告示第二十四號ヲ廢ス

●告示第三十五號 明治二十四年五月十五日

明治二十三年三月 告示第三十五號ヲ廢ス

▲告示第三十五號參照

告示第三十五號(明治二十三年三月二十八日)ハ教員學力檢定手数料及免許狀授與手数料納付手續ノ件ナリ

●訓令第五十九號 明治二十四年四月四日

郡市役所 町村役場

明治十九年十二月 達第二百四十二號小學校資金收支報告表式ヲ廢ス

●訓令第十五號 明治二十五年二月二十六日

郡役所

明治二十三年十月 勅令第二百十五號小學校令第二十六條第二項第二十九條第三十條第四項前段第三十一條第一項第二項第三十四條第二項前段第三十七條第二項第四十五條第三項前段ニ依リ郡長ニ於テ縣知事ノ許可若クハ指揮ヲ受ケントスルトキハ事由ヲ詳記シ左記ノ取調心得ニ依リ小學校數位置就學兒童概數通學路程學齡兒童員數戶數國稅地方稅町村稅等ヲ記載シタル調査并ニ圖面ヲ添フヘシ但關係町村又ハ町村學校組合若クハ其區及郡參事會ノ意見書アルモノハ其寫ヲ添フヘシ

取調心得

- 一 小學校數ハ町村又ハ町村學校組合若クハ其區ニ指定セントスル校數ヲ記載スヘシ
- 一 小學校位置ハ大字町村名 字アルモノハ其地名ヲ附記ス 字アルモノハ其地名ヲ附記ス

教育事務委託ニ係ル町村若クハ其一部又ハ町村學校組合内ノ一部ハ其委託スヘキ町村又ハ町村學校組合若クハ其區ノ小學校位置ヲ記載スヘシ

一 就學兒童概數ハ其小學校へ入學スヘキ兒童ノ概數ヲ調査シ男女別ニ記載スヘシ

一 通學路程ハ其小學校へ通學スル兒童ノ居住地中最モ遠キ大字町村 字アルモノハ其地名ヲ附記ス

一 學齡兒童員數 男 女 戶數ハ前年末ノ現在ヲ調査シ記載スヘシ

一 國稅地方稅町村稅ハ前年度ノ負擔額ヲ調査シ記載スヘク又町村稅ハ其教育費ニ係ル負擔額ト其他ノ諸費ニ係ル負擔額トヲ分記スヘシ

一 前各項ノ種目ハ左ノ表式ニ準シ記載スヘシ

(表式)

第一例

(印ハ朱書)

| 町村名 | 校數 | 位置 | 就學兒童概數 | 通學路程 | 學齡兒童員數 | 戶數 | 國稅 | 地方稅 | 町村稅 |
|-----|----|------|--------|------|--------|----|----|-----|-----|
| 何村 | 一 | 大何町村 | 男 女 | 大字何町 | 男 女 | | | | |

右ハ小學校令第二十六條第二項ニ依リ一町村ニ於テ設置スヘキ小學校數并ニ位置ヲ指定セント

シ又ハ第二十八條第一項第二款ニ依リ町村全部ノ教育事務委託ヲ指定セントシ許可ヲ受クヘキトキ添付スヘキ調書ノ例ナリ若シ二校以上ヲ指定セントスルトキハ校數ノ欄ニハ其數ヲ記入シ位置就學兒童概數通學路程ハ各其欄内ニ之ヲ列記スヘク又教育事務委託ニ係ルモノハ校數ノ欄ニ委託ト朱書スヘシ以下之ニ準ス

第二例

| 組合町村名 | 校數 | 位置 | 就學兒童概數 | | 通學路程 | | 學齡兒童員數 | | 戶數 | 國稅 | 地方稅 | 町村稅 |
|-------|----|-------|--------|---|------|---|--------|---|----|----|-----|-----|
| | | | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | | | | |
| 何町村 | 一 | 大字何町村 | | | | | | | | | | |
| 何町村 | 一 | 大字何町村 | | | | | | | | | | |
| 合計 | | | | | | | | | | | | |

右ハ小學校令第二十七條第二十八條第一項第一款ニ依リ町村學校組合ヲ設ケ其組合ニ於テ設置スヘキ小學校校數并ニ位置ヲ指定セントシ許可ヲ受クヘキトキ添付スヘキ調書ノ例ナリ又第三十條第二項第一款ニ依リ町村學校組合内ニ區畫シ若クハ第四十五條第一項ニ依リ町村學校組合内ノ某町村限リ經費ノ負擔ヲ指定セントシ又ハ第三十四條第二項前段ニ依リ指揮ヲ受クヘキトキ添付スヘキ調書モ亦之ニ準ス

第三例

| 町村名 | 校數 | 位置 | 就學兒童概數 | | 通學路程 | | 學齡兒童員數 | | 戶數 | 國稅 | 地方稅 | 町村稅 |
|-----|----|-------|--------|---|------|---|--------|---|----|----|-----|-----|
| | | | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | | | | |
| 何町村 | 一 | 大字何町村 | | | | | | | | | | |
| 何町村 | 委託 | 何町村 | | | | | | | | | | |
| 合計 | | | | | | | | | | | | |

右ハ小學校令第二十八條第二項ニ依リ町村内一部ノ教育事務ヲ他町村又ハ町村學校組合若クハ其區ニ委託セシメントシ許可ヲ受クヘキトキ添付スヘキ調書ノ例ナリ又第二十八條第一項第二款ニ依リ町村内一部ノ教育事務ヲ他ニ委託セシメントスルトキ若クハ第三十條第二項第一款乃至第三款ニ依リ町村内ヲ分畫シ其費用ノ負擔小學校ノ使用等ヲ指定セントシ許可ヲ受クヘキトキ添付スヘキ調書モ亦之ニ準ス

第四例

| 組合町村名 | 校數 | 位置 | 就學兒童概數 | | 通學路程 | | 學齡兒童員數 | | 戶數 | 國稅 | 地方稅 | 町村稅 |
|-------|----|-------|--------|---|------|---|--------|---|----|----|-----|-----|
| | | | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | | | | |
| 何町村 | 一 | 大字何町村 | | | | | | | | | | |
| 何町村 | 委託 | 何町村 | | | | | | | | | | |
| 合計 | | | | | | | | | | | | |

右ハ小學校令第二十八條第三項ニ依リ町村學校組合ノ一部ノ教育事務ヲ他町村又ハ町村學校組合若クハ其區ヘ委託セシメントシ許可ヲ受クヘキトキ添付スヘキ調書ノ例ナリ又第三十條第二項第二款及第三款ニ依リ町村學校組合内ヲ區畫シ若クハ第四十五條第二項ニ依リ町村學校組合内ノ某町村限リ委託ノ負擔ヲ指定セントシ許可ヲ受クヘキトキ添付スヘキ調書モ亦之ニ準ス

第五例

| 町村名 | 學齡兒童員數 | | 戶數 | 國稅 | 地方稅 | 町村稅 | |
|---|--------|---|----|----|-----|-----|----|
| | 男 | 女 | | | | 教育費 | 諸費 |
| 右ハ小學校令第三十一條第一項ニ依リ町村ヲシテ小學校ノ設置若クハ教育事務委託ノ義務ヲ免レシメントシ許可ヲ受クヘキトキ添付スヘキ調書ノ例ナリ又同條第二項町村若クハ町村學校組合ニ對シ其一部ヲシテ小學校ノ設置若クハ教育事務委託ノ義務ヲ免レシメントシ許可ヲ受クヘキトキ添付スヘキ調書ハ其小學校ノ設置若クハ教育事務ノ委託ヲ免除セサル部分ハ第三例第四例ニ準シ義務免除ニ係ル部分ハ第五例ニ準シ記載スヘシ | | | | | | | |

第六例

| 組 町村名 | 學齡兒童員數 | | 戶數 | 國稅 | 地方稅 | 町村稅 | |
|--|--------|---|----|----|-----|-----|----|
| | 男 | 女 | | | | 教育費 | 諸費 |
| 右ハ小學校令第三十七條第二項ニ依リ町村學校組合ノ設置ヲ許可セントシ指揮ヲ受クヘキトキ添付スヘキ調書ノ例ナリ | | | | | | | |
| 一圖面ハ町村又ハ町村學校組合毎ニ美濃紙一葉ニ製シ左ノ件々ヲ記入スヘシ | | | | | | | |
| 町村又ハ町村學校組合内ノ全地形ヲ畫シ山川湖沼道路町村若クハ大字町村及學校ノ位置ヲ記シ且各大字町村ヨリ學校位置ニ至ル迄ノ通學路程ヲ朱記シ並ニ道路ニハ各大字町村毎ノ路程ヲ墨書スヘシ | | | | | | | |
| 道路中危險若クハ泥濘等ノ難路ニハ符合ヲ付スヘシ | | | | | | | |
| 町村又ハ町村學校組合中區ヲ設クルモノハ界線ヲ施シ其區域ヲ分ツヘシ | | | | | | | |
| 教育事務委託ニ係ルモノハ其委託スヘキ小學校ニ至ル迄ノ地形道路及路程並ニ其小學校位置ヲ附記スヘシ | | | | | | | |

訓令第三十三號

明治二十五年四月一日

郡市役所

町村役場

縣立學校

管内學校へ下賜セラレタル

市町村立學校

私立學校

明治二十五年七月二十二日
訓令第三十三號
陸軍省スヘシ

天皇陛下

皇后陛下ノ 御影并教育ニ關シ下シタマヒタル 勅語ノ 勝木ハ 校内一定ノ 場所ヲ 撰ヒ 最モ 尊重ニ 奉置スヘシ

訓令第四十九號 明治二十五年五月十三日 郡市役所 町村役場 縣立學校

市町村立學校 私立學校

明治二十四年一訓令第二號 勅語奉讀會心得第一項中「毎月三十日 冬期夏期休 業中ハ 除ク」ヲ「毎年十月三十日」ト 改メ 又 第八項ヲ「毎年十月三十日ニハ 生徒ニ 通常ノ 授業ヲ ナサザルコトヲ 得」ト 改ム

訓令第七十二號 明治二十五年七月二十二日 郡市役所 町村役場 小學校

今般小學校祝日大祭日儀式ノ 節奉掲スヘキ 御眞影ヲ 複寫シ 若クハ 御眞影ノ 複寫ニアラサル他ノ 御影ヲ 儀式場ニ 奉掲スルコトヲ 許可セラレ候ニ 付テハ 其取締方法左ノ 通相定ム 但本文ノ 御影奉掲ノ 儀ハ 明治二十三年勅令第二百十五號小學校令ニ 依リ 新クニ 設置セル 小學校ニ 施行スヘシ
一 御眞影ノ 複寫ハ 市町村立尋常小學校及幼稚園ニ 限ル
一 御眞影ヲ 複寫セントスルトキハ 既ニ 其近傍ノ 學校ヘ 下賜セラレタル 御眞影ヲ 原本トシ 其校名 複寫人住所氏名 複寫紙ノ 寸法ヲ 詳記シ 當該學校管理者ニ 於テ 御眞影保管者ト 連署シ 縣知事ノ 許可ヲ 受クヘシ

一 御眞影ノ 複寫ヲ 命スル者ニハ 決シテ 命令以外ノ 員數ヲ 複寫セサル 旨宣誓セシムヘシ

一 複寫セル 御影ヲ 奉藏セル 市町村立小學校ノ 廢止ニ 屬シタルトキハ 其 御影ハ 其兒童教育ノ 事務ヲ 引繼クヘキ 小學校ニ 引繼クヘシ 其二校以上ニ 跨カルモノハ 最多數ノ 兒童教育ノ 事務ヲ 引繼クヘキ 小學校ニ 引繼クヘシ

一 御眞影ノ 複寫ニアラサル他ノ 御影ヲ 儀式場ニ 奉掲セントスルトキハ 其 御影ヲ 添ヘ 縣知事ノ 許可ヲ 受クヘシ

一 縣知事ニ 於テ 前項ノ 許可ヲ 與フルハ 版權ノ 登錄ヲ 經タル 御影又ハ 特ニ 許可ヲ 得テ 描寫シタル 御影ノ 中 其圖形印刷等 良巧ニ シテ 儀式場ニ 奉掲セシムルニ 足ルヘシト 認ムルモノニ 限ル

一 複寫セル 御影并 複寫ニアラサル他ノ 御影ハ 明治二十五年四月本縣訓令第三十三號ニ 準シ 最モ 尊重ニ 奉置スヘシ

訓令第八十一號 明治二十五年八月十二日 郡市役所 町村役場 市町村立小學校

明治二十五年四月 縣令第二十六號 市町村立小學校教員給料旅費其他諸給與支給方法第五條ノ 市町村立小學校教員年功加俸ニ 關スル年數ハ 明治二十三年十月勅令第二百十五號小學校令ニ 據リ 市町村立小學校教員ニ 任用シタル當日ヨリ 起算シ 勤績滿五年以上ニ 及フモノトス 但正教員ヨリ 准教員ニ 若クハ 准教員ヨリ 正教員ニ 轉シタル者ノ 勤務年數ハ 前後通算スルモノトス

訓令第八十二號 明治二十五年八月十二日

郡市役所 町村役場

尋常師範學校 小學校

明治二十三年十月勅令第二百五號小學校令ニ依リ設置シタル市町村立小學校ノ學校長及教員ノ管掌スヘキ表簿ノ様式並其取調心得左ノ通相定ム但尋常師範學校附屬小學校及代用私立小學校ニモ之ヲ適用ス

表簿取調心得

學籍簿 (第一號様式)

- 一 此帳簿ハ小學校長若クハ首席教員之ヲ調製スヘシ
- 一 番號ハ兒童入籍ノ順次ニ從ヒ之ヲ記スヘシ但兒童分名簿ヲ用ササル學校ニアリテハ之ヲ省ク
- 一 兒童保護者ノ住所族籍氏名兒童ノ住所族籍職業氏名生年月日ハ市町村長ノ通知書ニ依リ之ヲ轉載 兒童一人ニ付保護者二人アルスヘシトキハ同欄内ニ並記スヘシ
- 一 入學年月日ハ市町村長ノ通知ニ依リ之ヲ定期入學ト臨時入學トニ區別シ入學スヘキ年月日ノ指定アルモノハ其年月日ヲ記シ其指定ナキモノハ市町村長ヨリ回送セル入學通知書ニ記載シタル年月日ヲ記スヘシ
- 一 退學年月日ハ之ヲ卒業退學ト中途退學トニ區別シ卒業退學ニ係ルモノハ其教科ヲ卒業シタル年

- 月日ヲ記シ中途退學ニ係ルモノハ市町村長ヨリ回送セル退學通知書ニ記載シタル年月日ヲ記スヘシ其補習科ヲ修了シテ退學スル者ニ就キテハ其修了シタル年月日ヲ卒業退學ノ欄内ニ記スヘシ
- 一 卒業年月日ヲ記スルニハ尋常小學校又ハ高等小學校ノ全教科ヲ卒リタル年月日ト其等科トヲ記シ又補習科ヲ修了シタル兒童ニアリテモ亦之ヲ卒業年月日ノ欄内ニ記スヘシ
- 尋常小學校ノ教科ト高等小學校ノ教科トヲ併置シタル學校ニアリテハ兒童各等科ヲ卒業スル毎ニ其年月日ト等科トヲ同欄内ニ記スヘシ
- 一 修業ノ經歷ノ欄ニハ兒童入學ノ際ニ二學年以上ノ學級ニ編入シ又ハ補習科ニ編入シタル者ハ其事由ヲ摘要シ又兒童毎學年ノ教科ヲ修了シ若クハ學習シタル者ハ其學年ト年月日トヲ記スヘシ
- 一 摘要ノ欄ニハ兒童ノ欠席ニヨリ其保護者ニ就キ兒童ノ出席ヲ督促シタルトキハ其事由ト年月日トヲ記シ又轉籍轉校其他ノ事故ニ依リ中途退學シ或ハ死亡シタルトキハ其事由ヲ記スヘシ但死亡ノ者ハ其年月日ヲ併記スヘシ
- 兒童ノ卒業退學又ハ中途退學若クハ死亡ニ由リ學籍ヲ脱シタルトキハ其卒業退學ニ係ル者ハ(卒) 中途退學ニ係ル者ハ(退) 死亡ノ者ハ(亡)ノ印ヲ摘要ノ欄ニ捺シ在籍兒童ト區別スヘシ但補習科ヲ修了シタル者モ亦(卒)ノ符合ヲ印スヘシ

兒童分名簿 (第二號樣式)

- 一 此帳簿ハ小學校長若シハ首席教員之ヲ調製シ學籍簿ニ編入シタル兒童ノ氏名ヲ追索スルノ用ニ資スヘシ但兒童ノ員數少ナクシテ索引ヲ要セサルモノハ之ヲ省クコトヲ得
- 一 兒童ノ氏名及番號ハ學籍簿ニ登載スルトキ此帳簿ニ複寫スヘシ
- 一 兒童ノ氏名ハ頭字ノ音ヲ以テ區別シ之ヲ記スヘシ

教授週錄 (第三號樣式)

- 一 教授週錄ハ各學級任擔教員ニ於テ之ヲ調製スヘシ
- 一 上段教科目ノ欄ニハ各教科名ヲ列記シ下段年月日ノ欄ニハ每週教授セシ事項ヲ摘記スヘシ
- 一 甲乙丙等ノ數學年ノ兒童ヲ一學級ニ編制シ教授セル學級ニ在リテハ甲乙丙各其記錄ヲ別異スルヲ要ス
- 一 備考ノ欄ニハ或ル教科ヲ授クル際既ニ學習セシ事項ヲ溫習セシメタル等教授上其週ニ於テ授クヘキ豫定ナキモノヲ教授シタル事項ヲ摘記スルモノトス

兒童出席簿 (第四號樣式)

- 一 此帳簿ハ各學級擔任教員之ヲ調製シ日々兒童ノ出席及行狀ヲ監査シテ記載スヘシ
- 一 尋常小學校ニ高等小學校ノ教科ヲ併置セルモノ及補習科ヲ設クルモノハ校名ノ下學級名ノ頭ニ

其等科名ヲ記スヘシ 兒童性行錄學年末

調査表モ之ニ同シ

- 一 學年ノ欄ニハ現ニ其兒童ノ學習セルトコロノ教科課程ノ學年ヲ記スヘシ 兒童性行錄學年末 調査表モ之ニ同シ
- 一 兒童ノ氏名ハ其學業等ノ優劣ニヨリ順次之ヲ記スヘシ

一 休業日ハ其當日ノ各欄ニ(休)ノ符合ヲ印スヘシ

一 兒童ノ出席ヲ記スルニハ(出)ノ符合ヲ其兒童氏名ノ下當日ノ欄ニ印スヘシ

一 兒童ノ行狀ハ一日ノ行狀點最上限ヲ一百トシ其行狀ノ良否ニヨリ評點ヲ定メ當日ノ欄ニ記スヘシ

一 出席總數行狀點總數ハ兒童一個月間ノ出席總日數及行狀點總數ヲ記スヘシ

一 日々出席總數ハ各兒童ノ出席數ヲ日々合計 男女ヲ合セ記載セルモノハシテ之ヲ記シ其最下段ニ

ハ總計數ヲ記スヘシ

一 授業日數ハ一個月間現ニ授業シタル日數ヲ記スヘシ

一 在級兒童數ハ月末ノ現員ヲ記シ出席兒童數ハ月末ノ現員ニ就キ其月中一日以上出席シタル兒童ノ員數ヲ記スヘシ

一 日々出席平均數ハ日々出席總數ノ總計數ヲ授業日數ヲ以テ扣除シタルモノヲ記スヘシ但厘位未滿ノ數ハ切捨ツヘシ

出席兒童員數日計表 (第五號樣式)

一此表ハ小學校長若クハ首席教員之ヲ調製シ全校兒童ノ日々出席ノ増減ヲ認知スルノ資トスヘシ但單級學校ニ在リテハ本表ヲ省クコトヲ得

一在級兒童員數ハ前月末ノ現員ヲ記シ表尾ニ其計數ヲ記スヘシ

一日々出席兒童員數ハ日々兒童出席簿點檢ノトキ各學級ノ出席數ヲ轉寫シ表尾ニ合計數ヲ記スヘシ

一日々出席平均數ハ當月末ノ調査ニ就キ各學級兒童出席簿ニ記シタル員數ヲ轉寫シ全校兒童ノ日々出席平均數ヲ算出シテ表尾ニ之ヲ記スヘシ

兒童性行錄 (第六號樣式)

一此性行錄ハ各學級擔任教員之ヲ調製シ常ニ兒童ノ性行ニ注目シ其目擊シタル事項ヲ現在性行ノ欄ニ記シ從前ノ性行ノ欄ニハ前學年迄ニ認メタル兒童ノ性行ヲ摘記スヘシ

學年末調査表 (第七號樣式)

一此表ハ各學級擔任教員學年末ニ於テ之ヲ調製シ小學校長若クハ首席教員ニ差出スヘシ但高等小學校又ハ補習科ノ各學級ニ係ル調査表ニハ正當ノ理由ナクシテ缺席シタル日數及同兒童員數ハ調査ヲ要セス

一兒童氏名ハ一學年ニ涉リ之ヲ調査シ學年末現在ノ者ハ之ヲ墨書シ年內ノ退學又ハ死亡ニ係ル者ハ之ヲ朱書スヘシ

一年齡ハ各兒童年末ノ年齡ヲ記スヘシ

一學業成績ノ欄ニハ該學年末ニ於テ試驗ヲ受ケタル兒童ニ就キ其及落ヲ記スヘシ

一出席日數正當ノ理由ナクシテ缺席シタル日數及出席停止ノ欄ニハ各兒童ニ就キ一學年ニ涉リ其事項ヲ調査シテ之ヲ記シ正當ノ理由ナクシテ缺席スルコト授業總日數ノ三分ノ一以上ニ至リシ者ハ其日數ヲ朱書スヘシ

一退學又ハ死亡ノ欄ニハ卒業退學中途退學若シハ死亡等ノ事由ト年月日トヲ記スヘシ

一授業日數出席總日數日々出席平均數在級兒童員數出席兒童員數ハ兒童出席簿取調ノ例ニ依リ一學年ニ涉リ之ヲ記スヘシ

一正當ノ理由ナクシテ缺席シタル兒童ノ員數ハ其缺席日數授業日數ノ三分一以上ニ至リシ者ノミヲ記スヘシ

職業別兒童等級及人退學兒童員數表 (第八號樣式)

一此表ハ小學校長若シハ首席教員學年末ニ於テ之ヲ調製シ其尋常小學校ニ在リテハ明治二十五年四月縣令第二十三號學齡兒童ノ就學及家庭教育等ニ關スル規則第十六條ニ依リ關係市町村長ニ通

知スヘキ兒童學業ノ進度ノ書類ニ添付スヘシ其高等小學校ニ在リテハ全教科ヲ修了セン兒童ノ住所氏名兒童學業ノ進度并ニ小學校令第二十三條ニ該當スルカ爲メ出席ヲ停止シタル兒童ノ氏名及其事由日數ヲ記載シタル書類ニ添付シ關係市町村長ニ通知スヘシ

一尋常小學校ニ高等小學校ノ教科ヲ併置セルモノハ職業別兒童等級及卒業兒童員數表中ニ高等小學科ニ係ル各學年ノ欄ヲ表式ニ準シテ加設スヘシ

一職業別兒童等級ノ各學年ノ欄ニ記スヘキ兒童ノ員數ハ學年末試驗後ノ調査ニ依リ其現在兒童ニ就キ其職業ト學年トニ依リ類別シテ之ヲ記スヘシ又卒業兒童ノ員數ハ該學年末ノ試驗ニ及第シタル兒童ノ員數ヲ其學年ニ應シ悉皆記載スヘシ

一入退學及死亡兒童員數表ニハ其學年中入學又ハ退學シタル兒童及死亡者ノ計數ヲ樣式ニ依リ類別シテ記載スヘシ

尋常小學校ニ高等小學校ノ教科ヲ併置セルモノハ卒業退學ノ項ニ高等科卒業退學者ヲ記スヘキ欄ヲ加設シ當該者ノ員數ヲ記スヘシ

(第一號樣式)

何小學校學籍簿

| | | | | | | | | | |
|----|----|----|----|----|-------|----|----|----|-------------|
| 番號 | 兒童 | 住所 | 族籍 | 氏名 | 入學年月日 | | 定期 | 臨時 | 兒童ノ住所族籍職業氏名 |
| | | | | | 臨時 | 定期 | | | |

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|-------|-------|----|-------|-----|---|---|
| 保 | 護 | 者 | 修業ノ經歷 | 退學年月日 | | 卒業年月日 | 生年月 | 要 | 摘 |
| | | | | 中途 | 卒業 | | | | |

(第二號樣式)

兒童分名簿

入退學及死亡兒童員數表

| 年 月 日 | 死 亡 | 退 學 | | 學 臨 時 入 學 | 入 定 期 入 學 | 性 別 | 計 |
|-------|-----|---------|---------------|-----------|-----------|-----|---|
| | | 退 學 補 習 | 卒 業 (尋 常 高 等) | | | | |
| | | | | | | 男 | |
| | | | | | | 女 | |
| | | | | | | | |

小學校長 (首席教員) 職 氏 名 印

郡市役所 町村役場

訓令第八十四號

明治二十五年八月十九日

明治二十三年十月勅令第二百十五號小學校令ニ依リ任用シタル市町村立小學校教員ニ交付スヘキ旅費額ハ本年四月縣令第二十五號旅費額標準ノ範圍内ニ就キ縣知事ニ於テ確定スヘキニ付市參事會又ハ町村長ハ右小學校令ニ依リ新ニ小學校ヲ開設スル際其意見ヲ申立ツヘシ

訓 第三八號

明治二十五年四月一日

郡市長

一市町村立小學校ノ正教員傷病ヲ受ケ若クハ疾病ニ罹リ休職ヲ命セラレタル者ニシテ傷病若クハ

疾病平癒スルトキハ其旨上申セラルヘシ但本文ノ事由ニ依リ休職ヲ命スルトキハ其旨通達ス
一 小學校長及教員職務ヲ粗略ニシ若クハ職務上遵守スヘキ指命ニ違背シ又ハ體面ヲ汚辱スルノ行爲アリト認めラルハトキハ本人ヨリ知事宛ノ手續書ヲ徴シ意見ヲ具シ上申セラルヘシ
右訓令ス

訓第一〇六號 明治二十五年九月一日

郡 長

小學校教員候補者再薦等ニ當リ尙ホ適當ナラスト認ムルトキハ小學校令第五十九條第二項末段ニ依リ薦舉ニ依ラス本知事ニ於テ直ニ之ヲ任スヘキ等ニ有之候ニ付テハ町村長ニ於テ再薦舉ヲナストキ其候補者尙ホ適當ナラスト認メラル、モノハ町村長ノ再薦舉書進達ノ際相當ノ候補者ヲ選ビ内申セラルヘシ

又同條第三項ノ薦舉期限内ニ於テ薦舉セサルモノハ其期限滿ナル日ヨリ五日以内ニ相當ノ候補者ヲ選ビ内申セラルヘシ

右訓令ス

縣 令 第五號 明治二十五年一月十五日

明治二十三年十月法律第九十號市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法第十四條ノ納金收入ニ關スル規則左ノ通相定ム

明治二十五年七月二十九日
縣令第五十六號
及第三條中
ヲ改正ス

市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法納金收入規則

第一條 市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法第十四條第二項ニ依リ市町村ヨリ本縣ニ納ムヘキ金員ハ左ノ期日迄ニ其前三个月分ヲ市ハ當廳町村ハ所轄郡役所ニ納付ス可シ
七月五日 十月五日 一月八日 四月五日

第二條 市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法第十四條第三項ニ依リ市町村立小學校正教員ヨリ本縣ニ納ムヘキ金員ハ市町村收入役ニ於テ毎月給料仕拂ノトキ之ヲ扣除ス可シ

第三條 前條收入役ニ於テ扣除シタル金員ハ即日市參事會又ハ町村長ニ於テ受領シ直ニ之ヲ市參事會ハ當廳町村長ハ所轄郡役所ニ納付スヘシ

第四條 市町村收入役ハ出納簿ヲ備ヘ第二條ニ依リ扣除シタル金員ノ出納ヲ記載ス可シ
出納簿ニハ納人ノ氏名金額及出納月日ヲ明記スルモノトス

第五條 市參事會又ハ町村長第一條ノ納金ヲ爲ストキハ第一號書式第三條ノ納金ヲ爲ストキハ第二號書式ノ納付書ヲ添付ス可シ

附 則

第六條 明治二十四年三月勅令第十九號ニ據リ一時存積スル市町村立小學校ニシテ郡長ノ管理ニ屬スルモノモ本則ニ據クル條規ニ準シ町村長ノ事務ハ郡長ニ於テ收入役ノ事務ハ郡役所出納吏ニ於

明治二十五年七月二十九日
縣令第五十六號
及第三條中
ヲ改正ス

テ取扱フモノトス

(第一號書式)

市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法
第十四條第二項ノ納金納付書

一金 何程

何市町村納金

但明治何年自何月至何月三個月分算出方左表ノ通

| 正教員職氏名 | 月俸額 | 月俸全上自 | 支給額分ノ一 | 摘 | 要 | 金員 |
|--------|-----|-------|--------|--|---|----|
| 第一例 | 何程 | 何程 | 何程 | 三個月分 | | 何程 |
| 第二例 | 何程 | 何程 | 何程 | 一(二)個月分 | | 何程 |
| 第三例 | 何程 | 何程 | 何程 | 元月俸何程ノ處何月何日現給ニ増(減)俸ニ付又ハ何月何日拜命(解職)(轉職)ニ付日割支給額百分ノ一 | | 何程 |

備 考

一當該三個月間在職教員ノ月俸額ニ異動ナキモノハ第一例ニ依ル
一當該三個月間在職教員ノ月俸額ニ異動アルトキハ其異動ナキ月分ハ第二例ニ依リ異動

アリシ月分ハ第三例ニ依リ分記スヘシ

一 第三月ニ於テ新クニ拜命シ及第一月ニ於テハ解職轉職セルモノハ第三例ニ依ル

一月俸支給額ハ第三例ノ摘要ニ記載シタル事故等ノ爲メ日割支給ニヨリ月俸額ト支給額ト異動アリシトキ記載スルモノトス

一金員ノ欄ニハ在職員ノ月俸額ニ對シ納ムヘキ金員總計ヲ掲クヘシ

右納付候也

年月日

何市參事會
 (何町村長 氏 名印)

(第二號書式)

市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法
 第十四條第三項ノ納金納付書

一金 何程

何市町村立小學校正教員納金

但明治何年何月分左記内譯之通

内譯

| | | | | | | |
|-----|--------|----------|----|-----|----|-----|
| 第一例 | 何小學校訓導 | 納人職氏名月俸額 | 月俸 | 支給額 | 摘要 | 納金額 |
| 何 | 某 | 何 | 何 | 何 | 何 | 何 |
| 何 | 何 | 何 | 何 | 何 | 何 | 何 |

| | | | | | | |
|-----|---|---|---|---|---|---|
| 第二例 | 何 | 何 | 何 | 何 | 何 | 何 |
| 何 | 何 | 何 | 何 | 何 | 何 | 何 |
| 何 | 何 | 何 | 何 | 何 | 何 | 何 |

備考

一 一箇月中月俸額ニ異動ナキモノハ第一例ニ依ル

一 一箇月中月俸額ニ異動アリシモノハ第二例ニ依ル

右納付候也

何市參事會

何市長 氏 名印
 (何町村長 氏 名印)

年月日

訓令第七十七號 明治二十五年七月二十九日

郡役所

明治二十三年十月法律第九十號市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法ニ關ル町村及町村立小學校正教員納金取扱規程左ノ通相定ム

市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法ニ關ル町村及町村立小學校正教員納金取扱規程

第一條 知事ハ市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法ニ關ル町村及町村立小學校正教員納金

- ノ收入命令ヲ郡長ニ委任ス
- 第二條 前條納金ニ關スル出納吏ハ郡役所會計ヲ掌ル首席郡書記トス
- 第三條 收入命令者ニ於テ納金ノ納付ヲ受ケタルトキハ納金領臺帳ニ照ラシ其收入ヲ調定シ出納吏ヲシテ該調定書ニ依リ直ニ收納ヲ取扱ハシム
- 第四條 出納吏ニ於テ納金ヲ收納シタルトキハ領收證書ヲ納入町村ニ交付シ現金ハ即日納付書ヲ添ヘ縣稅出納所又ハ其出張所ニ納付スヘシ
- 第五條 縣稅出納所又ハ其出張所ニ於テ前條ノ納付ヲ受ケタルトキハ納付書ハ之ヲ領置シ領收證書ハ直ニ當該出納吏ニ交付シ別符ハ即日之ヲ當廳ニ送付スヘシ
- 第六條 縣稅出納所又ハ其出張所ニ於テ領收シタル現金ハ渾テ地方稅ニ準シ別途トシテ取扱フヘク其送納方ハ明治二十四年三月訓令第四十四號縣稅收納順序第十七條ニ準シ當廳ニ送納スヘシ
- 第七條 縣稅出納所又ハ其出張所ハ毎月收納シタル金額ニ對シ各年度ニ區別シ月計對照表ヲ調製シ翌月三日限リ當該出納吏ニ送付スヘシ
- 第八條 出納吏ハ毎月納金額ヲ調理シ町村長ヨリ差出シタル納付書ニ第一號書式ノ集計書ヲ添付シ縣稅出納所又ハ其出張所ヨリ差出シタル月計對照表ヲ添ヘ收入命令者ヲ經テ翌月七日限リ當廳ニ差出スヘシ

- 第九條 收入命令者ハ納金額臺帳甲 町村納乙 町村立小學校正 金ノ分 教員納金ノ分 二冊ヲ備ヘ其甲號臺帳ハ第二號書式乙號臺帳ハ第三號書式ニ據リ記入スヘシ
 - 出納吏及縣稅出納所又ハ其出張所ハ各現金出納簿ヲ備ヘ現出納ヲ記入スヘシ
 - 第十條 本規程第三條ノ調定書第四條ノ領收證書第四條第五條ノ現金納付書領收證書及別符第七條ノ月計對照表並ニ第九條ノ出納吏及ヒ縣稅出納所又ハ其出張所ニ備フル現金出納簿ハ左ノ書式ニ準スヘシ但書式中地方稅雜收入トアルハ都テ教員恩給基金ト記載スヘシ
 - 一本規程第三條ノ調定書ハ地方稅雜收入收納規程第一條ノ調定書々式
 - 一本規程第四條ノ領收證書ハ地方稅雜收入收納規程第六條ノ領收證書々式
 - 一本規程第四條ノ現金納付書及第五條ノ領收證書及別符ハ地方稅雜收入收納規程第六條ノ現金納付書等ノ書式
 - 一本規程第七條ノ月計對照表ハ地方稅雜收入收納規程第十一條ノ月計對照表ノ書式
 - 一本規程第九條ノ出納吏及縣稅出納所又ハ其出張所ニ備フヘキ現金出納簿ハ縣稅收納順序第十五條及地方稅雜收入收納規程第九條ノ出納吏及縣稅出納所又ハ其出張所ノ現金出納簿ノ書式
- (第一號書式集計書々式)
- 市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法第十四條第二項(第三項)ノ納金集計書

| 納金額 | 所屬年月 | 調定年月日 | 收納濟年月日 | 摘要 |
|-------|---------|----------|----------|-------------------------|
| 金 何 程 | 明治何年何月分 | 明治何年何月何日 | 明治何年何月何日 | 何々ニ依リ何月何日ヨリ何日マテ幾日間日對支給等 |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

備考

- 一 任命年月日ハ臺帳調製ノトキ現在ノ俸額支給ノ年月日ヲ記入スヘシ
- 一 備考ノ欄ニハ増俸減俸其他轉免等ノ事由及其年月日ヲ記入スヘシ
- 一 納金額ハ調定書ニヨリ記入スヘシ
- 一 調定年月日ハ調定濟ノ年月日ヲ記入シ收納濟年月日ハ現金ヲ收納シ縣稅出納所又ハ其出張所ニ納付濟ノ年月日ヲ出納吏ニ於テ記入スヘシ
- 一 摘要ノ欄ニハ増俸減俸新任退職又ハ病氣等ニ依リ日割ヲ以テ俸給ヲ支給シタル場合ニ於テ其事由日數等ヲ記載スルモノトス
- 一 此臺帳ハ町村別ニ目札ヲ附スヘシ

●達乙第二十六號 明治二十五年七月二十九日

縣稅出納所

明治二十三年十月法律第九十號市町村立小學校教員退職料及遺族扶助料法ニ關スル町村及町村立小

學校正教員納金取扱規程左ノ通相定ム

但該納金保管ニ對スル抵當品ハ地方税金ノ抵當金額ニ併算シ差出スヘシ

(取扱規程ハ明治二十五年七月二十九日訓令第七十七號ト同文ニ付略之)

●訓令第九百九號 明治二十五年十一月十八日

郡役所

明治二十五年四月縣令第二十一號小學校設備規則第七條又ハ第八條ニ依リ校地及體操場農桑練習場ノ處分(借地ヲ除ク)ヲ爲シタル都度其町村大字名字番地目段別工事着手或ハ使用ノ時日及許可ノ年月日ヲ記載シタル適宜一筆限リ調書ヲ製シ所在直稅分署ヘ報告スヘシ

●訓第一三二號 明治二十五年十一月十八日

各郡市長

小學校出席兒童ノ員數調査ヲ要スルニ付毎月末左ノ表式ニ據リ取調翌月十日限無延滞報告セラルヘシ但本年十月以前ニ於テ明治二十三年十月勅令第二百十五號小學校令ニ依リ開設シタル小學校ニ就キテハ此際本文ニ準シ各月分取調本月中ニ差出サルヘシ

何郡市內尋常小學校何年月分兒童出席員數表 (○印ハ朱書)

| 町名 | 學齡兒童 | 卒業兒童 | 校名 | 在籍兒童 | 出席兒童 | 日々出席兒童平均數 | 前月比較増減 | 學齡百中出席兒童比例 | 校長若クハ首席教員名 |
|----|------|------|----|------|------|-----------|--------|------------|------------|
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |

| | | |
|---|---------|-------------------------|
| 日曜日 | 神武天皇祭 | 四月二日 |
| | 夏季休業 | 七月二十五日ニ始リ 八月二十四日ニ終ル |
| | 秋季皇靈祭 | 秋分ノ日 |
| | 神嘗祭 | 十月十七日 |
| | 天長節 | 十一月三日 |
| | 新嘗祭 | 十一月二十三日 |
| | 冬季休業 | 十二月二十五日ニ始リ 翌年一月七日ニ終ル |
| | 孝明天皇祭 | 一月三十日 |
| | 紀元節 | 二月十一日 |
| | 春季皇靈祭 | 春分ノ日 |
| | 學年試業後休業 | 三月二十五日ニ始リ 全月三十一日ニ終ル |
| 第四章 | | |
| 學科課程、教科用并参考用圖書 | | |
| <p>元第二十一條ヲ第二十條トシ同條學科課程表中男生ノ部習字圖書ノ内圖書ノ程度女生ノ部每週時數ノ配當教科用并参考用圖書各級配當表男生ノ部倫理教育英語女生ノ部習字圖書ノ項左表ノ通改</p> | | |

正ス

教科用并ニ参考用圖書著譯者名ノ項へ左ノ書目ヲ追加ス

教育

| | | | | |
|------|-----------|--------------------|---------|---------------------|
| 書名 | 卷冊記號 | 出版年月 | 著譯者氏名 | 出版者氏名住所 |
| 教育全史 | 一三三 四五 | 明治廿一年五月卅一日 訂正出版 | 杉浦重剛譯 | 東京神田柳原河岸十四番地 普及館 |
| 英語 | | | | |
| 書名 | 卷冊記號 | 出版年月 | 著譯者氏名 | 出版者氏名住所 |
| 文法書 | 第一一冊 | 千八百七十八年八月 | スウィントン著 | |
| 讀本 | 第一一冊 | 千八百六十三年四月 | ユニオン著 | |

教科用并ニ参考用圖書著譯者名中左ノ書目ヲ削除ス

| | | |
|-----|-----|-------|
| 英語 | 文法書 | コックス著 |
| 圖書 | 圖書 | ホスター編 |
| 圖書本 | 圖書本 | コリンズ編 |

中學圖書範本

松岡正謙編

| 學科 | 學年 | | 每週時間 | 倫理 | 教育 | 國語 | 數學 |
|----------|----|----|------|----|----|----|----|
| | 第一 | 第二 | | | | | |
| 習字 圖畫 | 第一 | 第一 | 第一 | 一 | 三 | 五 | 三 |
| | 第二 | 第二 | 第二 | 一 | 五 | 四 | 三 |
| | 第三 | 第三 | 第三 | 一 | 五 | 四 | 三 |
| | 第四 | 第四 | 第一 | 一 | 三 | 五 | 三 |

男生學科課程表

女生學科課程表

圖畫：圖畫、器具草花、家屋、遠近書法、動物及遠景寫生

圖畫：圖畫、器具草花、寫生

圖畫：圖畫、遠近書法

| 學科 | 學年 | | 通計 | 體操 | 音樂 | 習字 圖畫 | 家事 | 理科 | 地理 歷史 |
|----|----|----|----|----|----|----------|----|----|----------|
| | 第一 | 第二 | | | | | | | |
| 倫理 | 第一 | 第一 | 三四 | 三 | 三 | 四 | 五 | 三 | 四 |
| | 第二 | 第二 | 三四 | 三 | 三 | 三 | 五 | 五 | 二 |
| | 第三 | 第三 | 三四 | 三 | 三 | 三 | 五 | 三 | 二 |
| | 第四 | 第四 | 二八 | | | | | | |

男生教科用並ニ參考用圖書各級配當表

教育：如氏教育學、如氏教育學、如氏教育學、日本教育史、學校管理法、教育全史

倫理：道義學、論語、訂布氏道德學

學科：第一、第二、第三、第四

英語

ウエブストル綴字書
ナシヨナル讀本三
スペンシル習字書

ナシヨナル讀本四
スウイントン文法

ナシヨナル讀本五
全上

ユニオン讀本四

女生教科用並ニ参考用圖書各級配當表

| 學科 | 第一 年 | | | 第二 年 | | | 第三 年 | | |
|-------|-------------|------------------------------|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 第 一 級 | 第 二 級 | 第 三 級 | 第 一 級 | 第 二 級 | 第 三 級 | 第 一 級 | 第 二 級 | 第 三 級 |
| 習字 圖書 | 圖書 小學習字帖 | 圖書 小學習字帖用器書法 并圖式小學幾何書法 | 圖書 全上 | | | | | | |

第五章

試業、卒業証書

第二十一條 試業ヲ分テ入學試業臨時試業學年試業ノ三種トス

第二十二條 入學試業ハ品行年齡身體ヲ檢定セシ後之ヲ施行シ本縣小學教則高等科ノ程度ニ據リ各學科ヲ試驗スルモノトス

第二十三條 臨時試業ハ受持教師適宜ノ時間ニ於テ一學年中三回以上六回以下施行スルモノトス
第二十四條 學年試業ハ學年ノ終リニ於テ旅行シ其學級ニ於テ履修セシ學科ノ全體ヲ試驗スルモノトス

第二十五條 試業評點ノ最高點ハ實地授業法ヲ五百點其他ノ學科ヲ一百點トス

第二十六條 入學試業評點ハ各學科ノ得點ヲ定メ更ニ之ヲ合計シ學科ノ數ヲ以テ之ヲ除シ平均點

數六十點各學科五十點以上ノモノヲ及第トシ以下ヲ落第トス

第二十七條 學年試業評點ハ各學科ノ得點數ニ其學年間臨時試業得點ノ平均數ニ倍ヲ加ヘ三除シテ之ヲ定メ其總平均數ハ各學科ノ評點ヲ合シ學科數ヲ以テ除シ之ヲ定ム但各學科ノ授業一學年ニ滿タサルモノ、計算法モ之ニ同シ

第二十八條 生徒ノ坐次ハ學年試業ノ成績ニ據リ之ヲ定ム其卒業期ニ當ルモノハ在學間ノ學年試業及第評點平均數ニ據ル

第二十九條 學年試業ニ於テ生徒ノ及落第及ヒ退學ヲ定ムルハ左表ニ據ル

學年試業評點及落第標準表

| 學年評點 總平均數 | 學科ノ數 | 學年評點六十點以下 | | 及落第退學 |
|--------------|-------|-----------|----|-------------------------------|
| | | 得點數 | 數 | |
| 六十點以上 | 一課目 | 六十點以上 | 及第 | |
| 全 | 一課目以上 | 學年試業得點零點 | 落第 | |
| 全 | 一課目 | 五十點以上 | 及第 | |
| 全 | 一課目 | 四十點以上 | 落第 | (臨時評點平均數若クハ學年試業評點六十點以上ナレハ及第) |
| 全 | 二課目 | 六十點以上 | 落第 | (二課目共臨時評點平均若クハ學年評點六十點以上ナレハ及第) |

| | | | |
|-------|-------|-------|----|
| 全 | 二課目 | 五十點以下 | 落第 |
| 全 | 三課目以上 | 六十點以下 | 落第 |
| 六十點以上 | 一課目以上 | 六十點以下 | 落第 |
| 五十點以下 | 三課目以上 | 四十點以下 | 退學 |
| 五十點以下 | | | 退學 |

第三十條 學年試業ニ欠席シタル者并ニ一學年中欠席日數百日以上ニ至ル者ハ試業ヲ須キス落第トシ原級ニ止ム

第三十一條 臨時試業ニ欠席シタル者ハ零點ヲ付スルモノトス

第三十二條 全學科ヲ履修シ其試業ニ及第シタル者コハ左式ノ卒業證書ヲ授與ス

卒業證書

族籍 何 某
年 某 某

右ハ尋常師範學校ノ教科ヲ履修シ成規ノ試業ヲ經テ卒業セリ依テ茲ニ之ヲ證ス

年月日

富山縣尋常師範學校長何某印

番號

第三十三條 卒業證書ヲ毀損若クハ亡失シタルトキハ事由ヲ詳記シ書換又ハ再渡ヲ本校へ願出ヘシ

第六章

服務

第三十四條 服務規則ハ明治十九年文部省令第十一號ニ據ル但卒業後就職退職及轉籍等其都度本校へ届出ヘシ

第七章

生徒心得

第三十五條 廉耻ヲ勵ミ節操ヲ磨キ常に信愛恭順ヲ専ラトシ忍耐力行敢公勇性ノ氣象ヲ存シ學業ニ勉勵シ攝生ニ怠ルヘカラス

第三十六條 教室ニアリテハ潜心課業ニ從事シ毫モ教師ノ指令ニ違フ可カラス

第三十七條 每始業時間ニハ號音ニ由リ教室ニ出席シテ坐位ニ就キ教師隨室セハ敬禮ヲ表スヘシ

終業ノ際亦敬禮退室スヘシ

第三十八條 課業時間ノ始終其外渾テノ號音ハ喇叭ヲ以テ報ス

- 第三十九條 教室ヲ出入スルトキハ坐次ニ從フヘシ
- 第四十條 教師ノ問ニ答ヘ又ハ質問セント欲スルトキハ起立スヘシ
- 第四十一條 教室内ハ生徒互ニ問答スルヲ禁ス教師ニ向テ問ヲ起シ教師ヲ經テ答フヘシ
- 第四十二條 教室ニアリテハ書籍器械標本等教師ノ許可ナクシテ手ヲ觸ル、ヲ得ス
- 第四十三條 始業時間ニ後レタル者ハ舍監ノ證明書ヲ受ケ之ヲ受持教師ニ差出シ指揮ヲ受ク可シ
- 第四十四條 課業時間中病氣又ハ已ムヲ得サル事アリテ欠課セントスルトキハ受持教師ノ許可ヲ得テ退キ直ニ其由ヲ舍監ニ届出ツヘシ
- 第四十五條 授業時間ノ外ハ妄リニ教室ニ出入スルヲ禁ス
- 第四十六條 放課時間タリトモ階梯ノ昇降廊下ノ往來等渾テ喧噪ノ行爲ヲナスヘカラス
- 第四十七條 外出ハ休日ノ外男生ハ水曜日女生ハ木曜日正課時間後トス
- 第四十八條 病氣ニテ欠課セシ者ハ外出ヲ許サス但醫員ノ診斷ニ由リ外出ヲ要スルモノハ此限ニアラス
- 第四十九條 外出スルトキハ門信ヲ門監ニ出シ歸舍スルトキハ之ヲ收ムヘシ
- 第五十條 外出中病氣ニ罹ルモノハ其所在ノ主人ヨリ其氏名時刻等ヲ詳記捺印シ醫師ノ診斷書ヲ添ヘ即時届出ヘシ

- 第五十一條 凡ソ揭示シタル事項ハ一日ヲ過クレハ一般領知シタルモノトス
- 第五十二條 外來人ノ應接ハ舍監ノ許可ヲ受ケ應接所ニ於テスヘシ
- 第五十三條 生徒病氣ノ節ハ本校ヨリ指定スル處ノ醫員ヲシテ診斷施療セシム其病症ニ由リ下宿歸郷ヲ命スルコトアルヘシ
- 第五十四條 疾病ニテ欠課セントスルモノハ醫員ノ捺印アル届書ヲ以テ舍監ニ申出テ指揮ヲ受クヘシ
- 第五十五條 父母ノ病氣忌辰又ハ父母祖父母及兄弟ノ死去ニ依リ歸郷セントスル者ハ先ツ其日數ヲ豫定シ事故ヲ詳記シ父兄若クハ保證人ヨリ出願スヘシ但歸舍延期ノ追願ヲ出スモ亦之ニ同シ尤モ父母ノ病氣ハ醫師ノ診斷書ヲ添フヘシ
- 第五十六條 一家焼失其他天災地變ニ係ル場合ハ當人ノ申立ニ依リ往復ヲ除キ三日以内歸郷ヲ許スコトアルヘシ
- 第五十七條 冬夏期休業中ハ歸郷セシム但始業前日歸舍スヘシ
- 第五十八條 總テ生徒ヨリ差出ス願届等ハ伍長什長組長舍監ヲ經由スヘシ
- 第五十九條 事故ノ何タルヲ問ハス建議請願ヲ要スルトキハ各自ニ之ヲ爲スヘシ數人團結シテ建議請願スルヲ許サス

第六十條 許可ヲ得ルニアラサレハ校内ニ於テ會同スルコトヲ許サス

第六十一條 物品ヲ携出スルキハ品目ヲ記セル書面ニ舎監ノ檢印ヲ受ケ之ヲ門監ニ出スヘシ

第八章 男生徒編成ノ定則

第六十二條 本校ノ諸定則ヲ保シ且便ナルカ爲メ諸生徒ヲ編成シ之ヲ學生團ト稱ス

第六十三條 學生團ヲ四分シテ小團トナシ小團ヲ二分シテ分團トナス

第六十四條 學生小團ハ第一分團ニ至リ分團ハ第一ヨリ第八ニ至ル各團其番號ヲ付ス

第六十五條 學生團ノ役員ハ學生團長ヲ置カス各小團ニ組長一名分團ニ什長若干名伍長若干名ヲ置ク

第六十六條 體操演習ノトキハ學生團ヲ中隊ニ編成シ總テ歩兵中隊ノ式ニ準ス

第九章 敬禮服從ノ定則

第六十七條 敬禮ハ上下ノ順序ヲ正クスル道ナレハ之ヲ忽ニスヘカラス總テ長上ニ對シテハ管ハ
外貌ニ止ラス中心尊敬ノ意ヲ存スヘシ

第六十八條 敬禮ヲ行フニハ正面直立シテ姿勢ヲ正クシ被禮者ニ注目シ少シク體ノ上部ヲ前ニ傾
クシ着帽ノトキニ在リテハ右手ヲ以テ眼庇ヲ把リテ之ヲ脱シ右方ニ伸ハシ稍下方ニ垂レテ敬
禮シ又行進中ニ在リテハ被禮者ヨリ三步前ニ止リテ敬禮シ被禮者ノ通過スルヲ待チテ若帽歩行

スヘシ但脱帽ノ際裏面ヲ外方ニ顯サ、ルコトニ注意スヘシ

第六十九條 外套ヲ着ケ頭巾ヲ被ムルトキハ右手ヲ扛テ臂ヲ曲ケ肩ト水平ニ持テ少シク外方

ニ向ケ食指ト中指ヲ帽ノ眼庇ノ右側ニ當テ被禮者注目シテ禮意ヲ表スヘシ

第七十條 物品ヲ兩手ニ携フトキハ被禮者ニ對シ直立不動ノ姿勢ヲナシ以テ敬意ヲ表スヘシ

第七十一條 敬禮ヲ行フニ當リ椅子ニ倚リタルトキハ椅子ヲ離シ他人ト談話スルトキハ談話ヲ止
メ禮ヲ行フヘシ

第七十二條 學校内外ヲ問ハス學校長教頭教官幹事等總テ上位ノモノニ對シテ敬禮ヲ行フハ前各
條ニ據リテスヘシ但同等相互ノ禮ニ於ケルモ姿勢等之ニ同シ

第七十三條 學校長教頭教官幹事等上位ノ者ト對話スルトキハ姿勢ヲ正シクスヘシ上位ノ者ヨリ
若帽ヲ許スニ非レハ之ヲ着ス可カラス

第七十四條 室内ニ入ラントスルトキハ先ツ室外ニ於テ帽ヲ脱スヘシ

第七十五條 室内ニ在リテ禮ヲ行フトキハ先ツ被禮者ニ對シ正面直立シ以テ體ノ上部ヲ少シク前
ニ傾ケ被禮者ニ注目スヘシ

第十五章 銃器彈藥取締ノ定則

第七十二條 銃器ハ男子部生徒每一人ニ一挺ヲ貸與シ該器保管ノ責ヲ負ハシメ舎監之ヲ監視ス

ルモノトス

第三百三十三條 銃器彈藥ハ兵式體操ノ外使用スルヲ許サス

第三百三十四條 常ニ銃器ヲ陳列スルハ男子部宿舍内ニ於テス

第三百三十五條 失火其他非常ノ節ハ生徒ハ舍監ノ指揮ヲ受ケ銃器ヲ保護シ嚴ニ紛亂ノ憂ヲ防クヘシ

元第三百三十三條ヲ第三百三十六條トシ以下之ニ準シ元第三百六十三條迄逐條繰下ケ元第三百六十四條ヲ第三百六十七條トス

第三百六十八條 週番中外出ヲ要スルトキハ人員ヲ限リ舍監ニ於テ之ヲ許スコトアルヘシ

第三百六十九條 週番ノ者ハ寄宿舎内ニ設ケタル週番室ニ於テ事務ヲ執ルヘシ他室ニ於テスルヲ禁ス

第二十章

週番組長ノ勤務定則

第七十條 週番組長ハ舍監ノ命ヲ受テ週番什長伍長ヲ指揮シ舎内ノ靜謐及規律ヲ保テ命令ヲ傳達シ之カ施行ノコトニ關シテハ組長以下ヲ督責スルノ權ヲ有スルモノトス

第七十一條 週番組長ハ週番ノ什長伍長ヲ指揮シテ各室諸物品ノ整理ヲ監視シ又諸物品ノ配與ヲ掌ルモノトス

第七十二條 晨夕人員檢査ニ於テ各部組長ヨリ欠員者ノ通告アレハ之ヲ點檢シテ舍監ニ申告スヘシ

元第七十條ヲ第七十三條トシ以下之ニ準シ元第七十六條迄逐條繰下ケ元第七十八條ヲ第七十條トシ以下之ニ準シ元第八十三條迄逐條繰下ケ元第八十四條ヲ第八十六條トス

第二十三章

給與

第八十七條 生徒ニ給與スヘキ學資ハ食物被服日用品修理湯浴一週間手當藥餌ノ七種トス

第八十八條 食物ハ一ヶ月ノ費額ヲ定メ現品ヲ以テ之ヲ給ス

第八十九條 學校ヨリ下宿歸郷ヲ命シタルモノハ一ヶ月間ハ食料ヲ給シ一ヶ月以後ハ之ヲ給セス

第九十條 被服ハ左表ニ據リ之ヲ給與ス

男生ノ部

| 品目 | 一個保存期限 | 給與年月 | | | | 計 |
|-----|--------|--------------|--------------|--------------|--------------|---|
| | | 第一年 六月十一日 | 第二年 六月十一日 | 第三年 六月十一日 | 第四年 六月十一日 | |
| 冬衣袴 | 滿二年 | 一 | 一 | 一 | 一 | 五 |
| 夏衣袴 | 滿二年 | 二 | 一 | 一 | 一 | 五 |
| 冬襪衣 | 滿一年 | 一 | 一 | 一 | 一 | 五 |

| 品目 | 一個保存期限 | 給與年月 | | | | | | 計 |
|-------|--------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|----|
| | | 第一 年 | 第二 年 | 第三 年 | 第一 年 | 第二 年 | 第三 年 | |
| 防寒衣 | 滿一年 | — | — | — | — | — | — | 五 |
| 冬下袴 | 滿一年 | — | — | — | — | — | — | 五 |
| 夏下袴 | 滿一年 | — | — | — | — | — | — | 五 |
| 夏襯衣 | 滿一年 | — | — | — | — | — | — | 五 |
| 外套并頭巾 | 滿四年 | — | — | — | — | — | — | 一 |
| 帽子 | 滿二年 | — | — | — | — | — | — | 二 |
| 同日履 | 滿二年 | — | — | — | — | — | — | 二 |
| 短靴 | 滿一年 | — | — | — | — | — | — | 八 |
| 脚絆 | 滿二年 | — | — | — | — | — | — | 二 |
| 靴下 | 滿半ヶ月 | 一〇 | 一四 | 一〇 | 一四 | 一〇 | 一四 | 九六 |
| 靴刷毛 | 滿一年 | — | — | — | — | — | — | 四 |
| 品目 | 一個保存期限 | 第一 年 | 第二 年 | 第三 年 | 第一 年 | 第二 年 | 第三 年 | 計 |
| 靴 | 滿一年 | — | — | — | — | — | — | 三 |

女生ノ部

| | | | | | | | | |
|-----|------|---|---|---|---|---|---|---|
| 靴下 | 滿一ヶ月 | — | — | — | — | — | — | 七 |
| 靴刷毛 | 滿一年 | — | — | — | — | — | — | 三 |

第百九十一條 被服ノ保存期限ヲ終リタルモノハ其都度之ヲ返納スヘシ若シ保存期限内ニ損傷シ更ニ交付ヲ要スルトキハ其費用ハ本人ヨリ辨償セシム

第百九十二條 卒業者ニハ被服等ニ通り之ヲ本人ニ附與シ返納セシメスト雖モ退學又ハ放校ヲ命スル時ハ悉皆返納セシム

第百九十三條 日用品ハ左ノ種目ニ據リ消耗ノ度ヲ計リ之ヲ給與ス

種目

- 一 墨 一 インク 一 常用鉛筆 一 畫學用鉛筆 一 水筆
- 一 眞書筆 一 習字筆 一 ペン 一 ペン軸 一 白紙
- 一 畫用紙 一 西洋紙 一 靴墨 一 炭 一 石油
- 一 蠟燭 一 附木 一 ランプ心 一 燈心

第百九十四條 修理ハ被服ノ洗濯并ニ其用品及靴ノ修履トス
 第百九十五條 湯浴ハ學校構内ニ其場ヲ設ケテ之ヲ爲サシム
 第百九十六條 一週間手當ハ毎土曜日に於テ在校生ニ之ヲ給ス但冬夏期休業中ハ土曜日數ニ應シ

之ヲ給ス

第九十七條 藥餌ハ生徒病氣ニ罹リ學校ヨリ診斷施療ヲ命シタル者ニ給ス

第九十四條ヲ第九十八條トシ以下之ニ準シ元第二百十條迄逐條繰下ケ元第二百一十一條ヲ第二百十五條トシ元第二百四條及元第二百五條ニ左ノ項ヲ追加ス

元第二百四條第六項ノ次へ追加ノ分

第七項 服裝及物品裝置ノ定則ヲ犯ス者

元第二百五條第四項ノ次へ追加ノ分

第五項 室内起居ノ定則ヲ犯ス者

第九十六條 犯則者ノ情狀ニ依テハ相當ノ罰科ニ處シ猶ホ左ノ四項ヲ附加ス

第一項 他人ノ室内ニ出入スルヲ許サス

第二項 食堂ニ於テハ罰席ニ就キ食事セシム

第三項 總生徒ノ入浴後入湯セシム

第四項 外來人ニ面會スルヲ禁ス

但急遽ノ事件ニシテ面會ヲ要スル場合ニ於テハ其事由ヲ舍監ニ陳述シテ指揮ヲ受クシ

第九十七條 生徒犯則ノ跡アリテ取調ヲ要スルトキハ先ツ謹慎ヲ命シ他生徒ノ交通ヲ斷テ之ヲ

一室内ニ留置スヘシ

第九十八條 放校處分ヲ受ケシ者其情狀ニ依リ在學中給與セシ學資ヲ辨償セシメ或ハ文部省へ具申シ官立公立私立ノ學校ニ入學又ハ教員タルヲ禁セラル、コトアルヘシ但既ニ官立公立私立ノ學校ニ入學又ハ教員タルヲ禁セラレタルモノト雖モ謹慎悔悟ノ實跡アルモノハ特ニ文部省へ稟請ノ上解禁ヲ命セラル、コトアルヘシ

附 則

第九十九條 女生徒ノ編成ハ總員ヲ若干組ニ分テ學友トナシ一學友ニ一名ノ組長ヲ置ク

第一百條 罰科中禁足ノ項ニ處セラレタル女生ハ時宜ニ依リ禁足ニ代ヘ扨斷ノ勞ヲ執ラシムルコトアルヘシ

第一百零一條 本則中女生徒ニ施行シ難キ條項ハ之ヲ男生徒ノミニ施行ス

縣令第四十二號 明治二十五年四月二日

明治十九年^{十二} 縣令第三十四號尋常師範學校卒業生服務細則第一條第三條左ノ通改正シ第六條第一號書式中「縣立何病院」ノ五字ヲ「醫師」ノ二字ニ改メ(何々ノ事故ニ依リ)ノ八字及(事故止ミ)ノ四字ヲ刪除シ同條第三號書式中「萬一正當ノ理由ナク」ノ九字ヲ「疾病ニ罹ルニアラス」ノ九字ニ改ム

第一條 本縣尋常師範學校卒業ノ者ニシテ疾病ニ罹リ服務ノ義務ヲ盡スコト能ハサルニ依リ其免
除ヲ請ハントスルトキハ第一號書式ニ依リ願出ツヘシ

第三條 本縣尋常師範學校卒業ノ者ニシテ疾病ニ罹ルニアラスシテ服務ノ義務ヲ盡サ、ルトキ又
ハ服務年限内ニ於テ教職ノ目的ニ背反シタル行爲アリテ其職ヲ免シタルトキハ在學中ノ學資ノ
全額若クハ其幾分ヲ辨償セシムヘシ

●訓 第二六號 明治二十五年三月十七日

尋常師範學校長

其校生徒食用品ノ出納ニ限リ二十五年年度ヨリ特別ノ取扱ヲ爲スコトヲ得但其出納方法ハ當廳ノ認
可ヲ得テ取扱フヘシ

右訓令ス

●訓 第四七號 明治二十五年四月十五日

尋常師範學校長代理

其校附屬小學校規程左ノ相定ム

右訓令ス

富山縣尋常師範學校附屬小學校規程

第一條 本校ハ明治二十三年十月勅令第二百十五號小學校令第一條ノ旨趣ニ依リ兒童ヲ教育ス

第二條 本校ニ尋常小學校ノ教科ト高等小學校ノ教科トヲ併置シ又學級ハ尋常小學校ノ教科ヲ修

ムル兒童ヲ單級ト多級ノ制ニ分チ高等小學校ノ教科ヲ修ムル兒童ヲ多級ノ制ニ依リ編制ス

第三條 本校ノ教科目及各教科目毎週教授時間ハ左表ノ如シ但修業年限ハ尋常小學校ノ單級ノ制

ニ依リ編制シタル學級ハ三ヶ年其多級ノ制ニ依リタル學級及高等小學校ハ四ヶ年トス

教科目及各教科目毎週教授時間

| 教科目 | 尋常小學校 | | | | 高等小學校 | |
|------|-------|------|------|------|----------|----------|
| | 第一學年 | 第二學年 | 第三學年 | 第四學年 | 第一學年 | 第二學年 |
| 修身 | 三 | 三 | 三 | 三 | 二 | 二 |
| 讀書 | 八 | 六 | 六 | 六 | 二 | 二 |
| 作文 | | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 |
| 習字 | 五 | 五 | 五 | 五 | 三 | 三 |
| 算術 | 六 | 八 | 八 | 八 | 四 | 四 |
| 日本地理 | | | | | 男五 女四 | 男五 女四 |
| 外國地理 | | | | | 男五 女四 | 男五 女四 |
| 日本歷史 | | | | | 男五 女四 | 男五 女四 |
| 理科 | | | | | 三 | 三 |
| 圖畫 | 一 | 一 | 一 | 一 | 二 | 二 |

| | | | | | | | | | |
|---|---|----|----|----|----|------------|------------|------------|------------|
| 唱 | 歌 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 |
| 體 | 操 | 三 | 三 | 三 | 三 | 二 | 三 | 二 | 三 |
| 裁 | 縫 | 一 | 一 | 一 | 一 | 四 | 四 | 四 | 四 |
| 農 | 業 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 二 |
| 手 | 工 | 一 | 一 | 一 | 一 | 二 | 二 | 二 | 二 |
| 合 | 計 | 二七 | 三〇 | 三〇 | 三〇 | 男三〇 女三〇 | 男三〇 女三〇 | 男三〇 女三〇 | 男三〇 女三〇 |

一單級ノ制ニ依リ編制シタル學級ノ兒童ニ授クル教科目ハ修身讀書作文習字算術體操トシ
其各教科目每週教授時間ハ明治二十五年四月縣令第四十三號小學校教則第十九條ノ尋常小
學校各教科目每週教授時間ニ依ル

第四條 教授ノ要項、教科課程、試業等ハ明治二十五年四月縣令第四十三號小學校教則ニ準據ス

第五條 學年、教授時限、休業日、教科用圖書、入退學ノ規程ハ明治二十五年四月縣令第四十四號小學
校規則ニ依ル

第六條 祝日大祭日ノ儀式ニ關スル規程ハ明治二十四年六月文部省令第四號ニ依リ其次第等ハ明治
二十五年四月縣令第二十八號小學校祝日大祭日儀式ノ次第等ニ準據ス

第七條 本校ノ校舍校地體操場及校具ノ設備ハ左ノ如シ

一校地校舍體操場ハ別紙繪圖面ノ通
一校具ハ之ヲ甲乙ノ二種トス
甲種ノ校具ハ教員用教科書、假名ノ掛圖、越中地圖、日本地圖、萬國地圖、地球儀、定木、兩脚規、
指數器、算盤、度量衡、黑板、黑板拭、水入、博物標本、理化器械、圖書ノ手本、圖書ノ用具、裁縫用
具、樂器、體操器械トス
乙種ノ校具ハ國旗、教員用及生徒用ノ机及腰掛、時計、諸帳簿、視箱並附屬品、用紙、白墨、書籍
棚、戸棚、日用品、其他甲種ノ校具ニ屬セサル必要物品
第八條 本校ノ學級數及其兒童ノ定員左ノ如シ

| | | | | |
|------|----------------|----|----|----|
| 尋常之部 | 學級 | 學年 | 兒童 | 定員 |
| 第一 | 第一學年 | 二 | 十五 | 八人 |
| 第二 | 第二學年 | 二 | 十五 | 八人 |
| 第三 | 第三學年 | 三 | 十五 | 八人 |
| 第四 | 第四學年 | 三 | 十五 | 八人 |
| 第五 | 自第一學年 至第三學年 | 三 | 十五 | 八人 |

但單級ノ制ニ依ルモノ

高等之部

| 學級 | 學年 | 兒童ノ定員 |
|-----|------|----------------|
| 第六 | 第一學年 | 男 四十人 |
| 第七 | 第二學年 | 男 四十人 |
| 第八 | 第三學年 | 男 二十五人 女 八人 |
| 第九 | 第一學年 | 女 四十人 |
| 第十 | 第二學年 | 女 四十人 |
| 第十一 | 第三學年 | 女 二十五人 女 八人 |

第九條 本校ニハ補習科ヲ設置セス

●達乙第二十號 明治二十四年四月十四日

縣稅出納所

地方稅ノ經濟ニ屬スル尋常師範學校附屬小學校ノ收支ハ特別會計ノ取扱トシテ渾テ地方會計規則ニ準據シ取扱フヘシ

●告示第十九號 明治二十五年四月八日

明治二十五年三月文部省令第四號ニ依リ學校教員學力試驗手数料及同免許狀授與手数料ハ登記印紙ヲ以テ納ムルコト、相成候ニ就テハ自今尋常師範學校尋常中學校及高等女學校教員ノ檢定ヲ受ケ

ソトスル者若クハ同免許狀ノ書換ヲ請フ者ハ先ツ願書(文部省宛)ヲ當廳ニ差出シ指示ヲ受ケテ該印紙ヲ貼用スヘク又同免許狀ヲ受クル者(書換免許狀ヲ除ク)ハ當廳ノ示達ニ依リ免許狀領收書ニ印紙ヲ貼用シ差出スヘシ但明治二十四年五月告示第三十四號ハ本文ノ免許狀授與ニ係ルモノニハ適用セス

●訓令第二百十號 明治廿五年十二月九日 富山縣尋常師範學校 富山縣尋常中學校

縣立學校教員在職年數及年齡並罷免者在職年數等ノ儀ハ左ノ表式ニ依リ調製シ翌年一月十五日限リ差出スヘシ

明治 年尋常(師範)學校教員在職年數及年齡表

十二月三十一日調

| 在職年數 | 年 | 齡 | 縣立學校 | | 在職年數 | 年 | 齡 | 縣立學校 | |
|------|---|---|------|-----|------|---|---|------|-----|
| | | | 長 | 正教員 | | | | 長 | 正教員 |
| 三年 | 三 | 滿 | | | 三年 | 三 | 滿 | | |
| 四年 | 四 | 滿 | | | 四年 | 四 | 滿 | | |
| 五年 | 五 | 滿 | | | 五年 | 五 | 滿 | | |
| 六年 | 六 | 滿 | | | 六年 | 六 | 滿 | | |
| 七年 | 七 | 未 | | | 七年 | 七 | 未 | | |
| 八年 | 八 | 未 | | | 八年 | 八 | 未 | | |
| 九年 | 九 | 未 | | | 九年 | 九 | 未 | | |
| 十年 | 十 | 未 | | | 十年 | 十 | 未 | | |
| 計 | 計 | 計 | | | 計 | 計 | 計 | | |

| | | | | |
|-----------|------|------|----|---------|
| 年未滿 | 以上十五 | 滿十一年 | 合計 | 六六五五四三三 |
| | | | | 計十十十十十 |
| 年未滿 | 以上十五 | 滿十一年 | 合計 | 六六五五四三三 |
| | | | | 計十十十十十 |
| 年俸并月俸年額合計 | | | | 六六五五四三三 |
| 合計 | | | | 計十十十十十 |

在職年數調査ノ法ハ明治二十五年勅令第十七號ニ據ル〇中學校ニ於テハ附屬小學校ノ欄ハ取調ヲ要セス次表モ亦之ニ同シ

明治 年尋常(師範) 學校職員羅免者在職年數表

| 在職年數 | 事由 | | | 合計 |
|------------------|------|------|------|----|
| | 長 | 正教員 | 正教員 | |
| 六十年以上ニ至リ退職 | 縣立學校 | 縣立學校 | 縣立學校 | |
| 傷疾疾病ニ依リ退職 | 縣立學校 | 縣立學校 | 縣立學校 | |
| 歴校又ハ學校編制ノ變更ニ依リ退職 | 縣立學校 | 縣立學校 | 縣立學校 | |
| 自己ノ便宜ニ依リ退職其他免職失職 | 縣立學校 | 縣立學校 | 縣立學校 | |
| 死 | 縣立學校 | 縣立學校 | 縣立學校 | |
| 職務ノ爲死亡 | 縣立學校 | 縣立學校 | 縣立學校 | |
| 一年未滿 | 長 | 正教員 | 正教員 | |
| 一年以上 | 長 | 正教員 | 正教員 | |
| 五年未滿 | 長 | 正教員 | 正教員 | |
| 五年以上 | 長 | 正教員 | 正教員 | |
| 十一年未滿 | 長 | 正教員 | 正教員 | |
| 十一年以上 | 長 | 正教員 | 正教員 | |
| 十五年未滿 | 長 | 正教員 | 正教員 | |
| 十五年以上 | 長 | 正教員 | 正教員 | |
| 合計 | 長 | 正教員 | 正教員 | |

明治二十三年法律第九十一號第四條ニ當ル者ハ「傷疾疾病ニ依リ退職」ノ欄内ニ記入シ×符號ヲ附シテ他ノ數ト區別スヘシ

附表

| 前職種別 | 退職科ヲ受クル者 | 現在總數 | 扶助料ヲ受クル遺族 | 現在總數 |
|------------|------------|------------|------------|------------|
| 本年支給ヲ始メタル者 | 本年支給ヲ止メタル者 | 本年支給ヲ始メタル者 | 本年支給ヲ止メタル者 | 本年支給ヲ止メタル者 |

| | | | | | | | | | |
|---------|-----|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 縣立學校(長) | 正教員 | | | | | | | | |
| 附屬小學校 | 正教員 | | | | | | | | |
| 准教員 | | | | | | | | | |
| 合計 | | | | | | | | | |

明治二十三年法律第九十一號ニ依リ一時給與金若クハ一時扶助金ヲ受ケシ者ハ其人員ヲ表外ニ記入スヘシ

訓令第二百二十一號 明治二十五年十二月九日 富山縣尋常中學校

學事年報取調條項並諸表式左ノ通相定候條每年二月限り其前年分ヲ調製シ差出スヘシ
但明治十九年十一月十一日達第百十九號ハ廢止ス

學事年報取調條項

教員ノ資格、事務員ノ數、學校ノ設備、入學志願者ノ狀況、(出願者及入學者ノ數、)生徒ノ増減、學級別生徒數、生徒養成ノ狀況、生徒學業ノ進否、卒業生ノ數、半途退學者等ノ數、生徒卒業後ノ狀況等
其他學事ニ付申報スヘキ條件ハ便宜類聚記載スヘシ
以上各項中計數ニ係ルモノハ詳ニ表示スヘシ

富山縣尋常中學校統計表

| | | | | | |
|-------|-----|-----|----|------|----|
| 尋常中學校 | 正教員 | 准教員 | 生徒 | 卒業生徒 | 合計 |
| | | | | | |

教員中外國人アラハ何國人幾人ト表外ニ附記スヘシ

富山縣尋常中學校費收入表

| | | | | | | |
|-------|------------|-------------|---|-------------|----|----|
| 尋常中學校 | 前年ヨリ 越高 | 寄附金積金 利子 | 縣 | 稅雜納金 授業料 | 何々 | 合計 |
| | | | | | | |

寄附金ノ欄及ヒ積金利子ノ欄内ニハ學校基金ト其年費消スヘキモノトヲ問ハス一切ノ金額ヲ掲クヘシ

富山縣尋常中學校費支出表

| | | | | | | | | | |
|-------|-------|-------|-----|--------|------|------|-----------|------|----|
| 校名 | 學校正教員 | 學校准教員 | 諸給料 | 生徒借地書籍 | 新營諸雜 | 何々小計 | 翌年へ 越高 | 經費利餘 | 合計 |
| | 長給 | 員給 | 員給 | 費 | 費 | 費 | 何々小計 | 金利戻高 | 合計 |
| 尋常中學校 | | | | | | | | | |

富山縣尋常中學校所有品及學資寄附表

| 種別 | 尋常中學校 | |
|--------------------|-------|-------|
| | 種別 | 尋常中學校 |
| 敷地坪數 | | |
| 敷地價 | | |
| 內官有地下 渡ノ分 地價 | | |
| 附屬地坪數 | | |
| 附屬地價 | | |
| 家屋價 | | |
| 書籍價 | | |
| 器械價 | | |
| 積金 | | |
| 學資 | | |
| 寄附人員 | | |
| 其他物品價額 | | |
| 金額 | | |

所有品中積米等アラハ金額ニ改算ノ上積金額目中ニ併記スヘシ

▲訓令第二百二十一號參照

達第百十九號(明治十九年十一月九日)ハ學事年報取調條項ノ件ナリ

●訓令第二百二十二號 明治二十五年十二月九日

富山縣尋常師範學校

學事年報取調條項並諸表式左ノ通相定候條每年二月限リ其前年分ヲ調製シ差出スヘシ
但明治十九年十一月十一日達第百十八號ハ廢止ス

學事年報取調條項

教員ノ資格、事務員ノ數、學校ノ設備、入學志願者ノ狀況 (出願者及入學者ノ數) 生徒ノ種別、生徒成ノ狀況、學業ノ進否、卒業生ノ數、半途退學者等ノ數、生徒卒業後ノ狀況、附屬小學校ノ設備其他ノ狀況、豫備科簡易科小學校教員講習科幼稚園保姆講習科ノ設置廢止ノ緣由及狀況、附屬小學校兒童修業ノ狀況及父兄ノ職業ニ關シ在學ノ長短學業進否ノ狀況、幼稚園保姆ノ資格、幼兒ノ増減、保育ノ狀況其他學事ニ付申報スヘキ條件ハ便宜類聚記載スヘシ
以上各項中計數ニ係ルモノハ詳カニ表示スヘシ

富山縣尋常師範學校統計表

| 種別 | 性 | | |
|------|---|---|---|
| | 男 | 女 | 合 |
| 正教員 | | | |
| 准教員 | | | |
| 生徒 | | | |
| 卒業生徒 | | | |
| 計 | | | |

全上附屬小學校

| 學級 | 高級 | | 尋常 | | 本校長 |
|--|------|-----|------|-----|-----|
| | 正教員 | | 准教員 | | |
| | 高等 | 尋常 | 高等 | 尋常 | |
| | 女 | 男 | 女 | 男 | |
| 學科 | 正教員 | | 准教員 | | 專科 |
| | 高等 | 尋常 | 高等 | 尋常 | |
| 員數 | 高等 | 尋常 | 高等 | 尋常 | 員數 |
| | 女 | 男 | 女 | 男 | |
| 生徒 | 尋常科 | | 高等科 | | 均數 |
| | 卒業生徒 | 生徒 | 卒業生徒 | 生徒 | |
| 均數 | 高等科 | 尋常科 | 高等科 | 尋常科 | 均數 |
| | 女 | 男 | 女 | 男 | |
| 日々出席生徒平均數 | 高等科 | 尋常科 | 高等科 | 尋常科 | 均數 |
| | 女 | 男 | 女 | 男 | |
| 幼稚園 | | | | | |
| 保 | 婦 | | 男 | | 均數 |
| | 女 | 男 | 女 | 男 | |
| <p>一尋常高等ノ教員區別方ハ其受持ニ據リ之ヲ區別シ單級受持ノ員數ハ米符號ヲ付シテ區分スヘシ 生徒ハ總テ年末ノ現員ニシテ本年中心ニ出席シタル者ヲ算入スヘシ 諸數中其全年ニ涉ルモノハ曆年ニ據リ現在數ニ係ルモノハ其年十二月末ノ數ニ據リ調査スヘシ</p> | | | | | |

| 一生徒ノ計數ニ係ルモノニシテ單級生徒ノ員數ヲ含ムモノハ各内譯未書スヘシ | | 富山縣尋常師範學校費收入表 | | 歷年調 | |
|--|----------------|---------------|-----------|------------|------------|
| 校名 | 前年ヨリ越高等附金積立利子縣 | 稅雜納金 | 授業料 | 保育料 | 合計 |
| 尋常師範學校 | | | | | |
| 全上附屬小學校 | | | | | |
| 幼稚園 | | | | | |
| 計 | | | | | |
| <p>寄附金ノ欄及ヒ積金利子ノ欄内ニハ學校基金ト其年費消スヘキモノトヲ問ハス一切ノ金額ヲ掲クヘシ</p> | | | | | |
| 附屬小學校及幼稚園一ヶ月授業料等差 | | | | | |
| 十二月三十一日現在 | | | | | |
| 種別 | 三錢以上五錢未滿 | 五錢以上十錢未滿 | 十錢以上十五錢未滿 | 十五錢以上二十錢未滿 | 二十錢以上三拾錢未滿 |
| 附屬小學校員人 | | | | | |
| 幼稚園員人 | | | | | |
| 計 | | | | | |

| 富山縣尋常師範學校費支出表 | | | | | | | | | | | | 曆年調 | | |
|---------------|----|-----|-----|-----|-----|----|----|--------|--------|-----|-----|-----|--------|--------|
| 小學校 | 種別 | 給比較 | | | 小學校 | | 合計 | 尋常師範學校 | 全附屬小學校 | 校名 | | 小計 | 翌年(越)高 | 經費剩餘合計 |
| | | 平均額 | 最寡額 | 最多額 | 種別 | 種別 | | | | 長學校 | 正教員 | | | |
| 最多額 | 月 | | | | | 本 | | | | 俸給 | 正教員 | | | |
| | | | | | | | | | | 俸給 | 員准教 | | | |
| | | | | | | | | | | 料 | 諸給 | | | |
| | | | | | | | | | | 雜給 | 生徒 | | | |
| | | | | | | | | | | 給費 | 借地 | | | |
| | | | | | | | | | | 費 | 家器 | | | |
| | | | | | | | | | | 費 | 械新 | | | |
| | | | | | | | | | | 費 | 諸雜 | | | |
| | | | | | | | | | | 費 | 生徒 | | | |
| | | | | | | | | | | 費 | 賞小 | | | |
| | | | | | | | | | | 費 | 計 | | | |
| | | | | | | | | | | 費 | 與費 | | | |
| 最寡額 | 月 | | | | | 科 | | | | 費 | 費 | | | |
| | | | | | | | | | | 費 | 費 | | | |
| | | | | | | | | | | 費 | 費 | | | |
| | | | | | | | | | | 費 | 費 | | | |
| | | | | | | | | | | 費 | 費 | | | |
| | | | | | | | | | | 費 | 費 | | | |
| | | | | | | | | | | 費 | 費 | | | |
| | | | | | | | | | | 費 | 費 | | | |
| | | | | | | | | | | 費 | 費 | | | |
| | | | | | | | | | | 費 | 費 | | | |
| | | | | | | | | | | 費 | 費 | | | |
| | | | | | | | | | | 費 | 費 | | | |
| 平均額 | 月 | | | | | 科 | | | | 費 | 費 | | | |
| | | | | | | | | | | 費 | 費 | | | |
| | | | | | | | | | | 費 | 費 | | | |
| | | | | | | | | | | 費 | 費 | | | |
| | | | | | | | | | | 費 | 費 | | | |
| | | | | | | | | | | 費 | 費 | | | |
| | | | | | | | | | | 費 | 費 | | | |
| | | | | | | | | | | 費 | 費 | | | |
| | | | | | | | | | | 費 | 費 | | | |
| | | | | | | | | | | 費 | 費 | | | |
| | | | | | | | | | | 費 | 費 | | | |
| | | | | | | | | | | 費 | 費 | | | |
| 平均額 | 月 | | | | | 科 | | | | 費 | 費 | | | |
| | | | | | | | | | | 費 | 費 | | | |
| | | | | | | | | | | 費 | 費 | | | |
| | | | | | | | | | | 費 | 費 | | | |
| | | | | | | | | | | 費 | 費 | | | |
| | | | | | | | | | | 費 | 費 | | | |
| | | | | | | | | | | 費 | 費 | | | |
| | | | | | | | | | | 費 | 費 | | | |
| | | | | | | | | | | 費 | 費 | | | |
| | | | | | | | | | | 費 | 費 | | | |
| | | | | | | | | | | 費 | 費 | | | |
| | | | | | | | | | | 費 | 費 | | | |

| 寄附資 | 品 | 所 | 種 | 授業料 | | 給料ノ最多寡額ハ年末現員中ニ就キ其月額ヲ掲クヘシ |
|--------|-----------|-------------|-------|-----|----|--------------------------|
| | | | | 高等 | 尋常 | |
| 寄附人員 | 積器書家附附内敷敷 | 金械籍屋屬屬官有地下地 | 別 | | | 富山縣尋常師範學校所有品及學資寄附表 |
| 其他物品價額 | 額 | 額 | 師範學校 | | | |
| | | | 附屬小學校 | | | |
| | | | 合計 | | | |

所有品中積米等アラハ金額ニ改算ノ上積金額目ニ併記スヘシ

附屬小學校生徒等級職業別表

| 合計 | 勞力 | | 工 | | 商 | | 農 | | 庶業 | | 性 | 科 | 計 |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|---|----|---|
| | 計女 | 計男 | 計女 | 計男 | 計女 | 計男 | 計女 | 計男 | 計女 | 計男 | | | |
| | | | | | | | | | | | 高 | 第一 | |
| | | | | | | | | | | | 等 | 第二 | |
| | | | | | | | | | | | | 第三 | |
| | | | | | | | | | | | | 第四 | |
| | | | | | | | | | | | | 補習 | |
| | | | | | | | | | | | | 第一 | |
| | | | | | | | | | | | | 第二 | |
| | | | | | | | | | | | | 第三 | |
| | | | | | | | | | | | | 第四 | |
| | | | | | | | | | | | | 補習 | |
| | | | | | | | | | | | | 計 | |
| | | | | | | | | | | | | 合計 | |

本表ハ單級兒童ノ分ト多級兒童ニ係ル分ト各別ニ調製スヘシ

▲訓令第百二十二號參照

達第百十八號(明治十九年十一月九日)ハ學事年報取調條項ノ件ナリ

●告示 第六號 明治二十五年二月五日

第四高等中學校(在金澤)ニ於テハ區域内各縣尋常中學校卒業生ヲ總テ豫科第二年ニ編入シ當該尋常中學校ノ特別保證ヲ有スル者ニ限リ豫科第三年ニ編入スルコトヲ本年生徒募集ノ時ヨリ實施スル旨通知アリタリ

●第十五類

●行政警察

●縣令第二十五號 明治二十四年四月十日
明治二十一年^二月^二縣令第十七號廢止ス

▲縣令第二十五號參照

縣令第十七號 (明治二十一年二月七日)

明治二十一年度以降警察署分署へ差出スヘキ諸取締規則中ノ願届ニシテ地方税賦課ノ營業ニ係ルモノハ戸長役場へ納税ノ證アルニアラサレハ聞届若クハ承認セス

●縣令第二十八號 明治二十四年五月五日

明治二十年^四月^四縣令第四十三號墓地及埋葬取締規則第六條ニ左ノ但書ヲ追加ス
但地形又ハ構造ニ依リ本條間敷内ト雖モ特ニ許可スルコトアルヘシ

●縣令第五十九號 明治二十五年九月二日

明治二十一年^{十一}月^{十一}縣令第十七號營業馬車取締規則中第十三條第十四條第十五條第十六條ヲ刪除
シ第十七條ヲ第十三條トシ以下各條順次繰上ク

●告示第二十號 明治二十四年四月四日

火藥類運搬許可ノ儀ハ自今警察分署ニモ取扱ハシム

●訓令第六十五號 明治二十四年四月四日

警察署 警察分署

火藥類運搬許可ノ儀ハ自今分署ニ於テモ取扱若シカラス但許可スルトキハ明治十八年^三月^三警令第四號
達火藥取締規則取扱手續第六條ノ許可證ヲ附與スヘシ

●訓令第六十六號 明治二十四年四月四日

警察署 警察分署

明治十四年^五月^五丙第九號農商務省達官林除害銃鑑札從來下渡シ之アル分ハ其儘使用セシメ自今下渡
ノ分ハ左記見本ノ通改正相成候趣陸奥農商務大臣ヨリ達有之候條此旨心得ヘシ

(用紙厚紙) 二寸

| | |
|----------|---------|
| 第 號 | 裏 |
| 表官林除害銃鑑札 | 農 商 務 省 |
| 官 姓 名 | |

●告 諭 第三號 明治二十四年七月三十一日

凡そ漂流の物品は假令木呂一個と雖も之を拾ひ得たるときは速に所有主に還付し又は其向に届出
づべく然して拾ひ得たる者は其物品代價の十分一に過ぎざる拾揚料を受くべきは規則の定むる處
に有之若し拾ひ得たるを隠匿し所有主に還附せず又は官署に届出でざる者は刑法第三百八十五條

に依り十一日以上三月以下の重禁錮に處し又は貳圓以上貳拾圓以下の罰金に處せらるべき義に候處彼の川木拾と唱へ川々出水の際木呂其他の流材を拾ひ揚げ候者の中には私に之を使用するものあり甚しきは犯則の物品あるを知て之を賣買するものも有之哉に相聞へ誠に相濟まざる次第に候加旃川木拾の業たる其所爲極めて危険にして巨岩大石をも轉下すべき急湍激浪中に身を投し或は一葉の小舟を浮べて奔馬の如く流れ來る木材を遮ぎり止むるものあれば一呼吸の差終に生死の別をさす現に這回出水の際川木拾の溺死したる者實に十餘人の多きあり豈恐れざるべけんや又川木拾ある者は唯目前の私利を専らとして公共の危害を顧みざるもの、如く當該吏員罹災者救護の爲めに其舟を借らんとするも之に應せず堤塘橋梁の防禦に従事せしめんとするも之を避け遂に一般人民の困難を加へ堤防橋梁を破却し去る者に至ては公共の利益を害する少なからず彌々以て不相濟次第も有之候條以後川木拾を爲すは必ず危険の虞なき場所に於てし水防の爲め若くは罹災者救護の爲めには速に當該吏員の催促に應じて力を公利公益又致すべきは勿論漂流の物品を私に使用し又は賣買する者等これあはは毫も假借せず嚴重其手續をなすべきと付き之を拾ひ得たるときは速かよ其所有主に還付するか又は其向に届出べく決して心得違無之様致すべし

●告諭 第二號 明治二十五年十二月九日

本年十一月七日管下礪波郡平村大字梨谷村字羽二上ニ於テ石灰石採掘場ノ巖石俄然崩壞シ石灰窠

及坑夫小屋ヲ潰倒シ坑夫並ニ運搬人夫二十四名壓死シ非常ノ慘狀ヲ極メタリ右崩壞ノ原因ヲ調査スルニ從來ノ採掘法タル上層ヨリセシテ専ラ下層ヲ掘込ミ自然上層ヲ突出セシムルニ至リタルト崩壞モシ近傍ノ巖石ヲ檢スルニ往々巖面ニ破綻線ノ存スルモノアルヲ見レハ蓋シ右層ノ突出セシ部分ニ破綻線ヲ生シ之ニ雨水ノ滲透シテ竟ニ其部分ノ崩壞ヲ來シタルモノト察セラル故ニ該業ヲ營ム者ハ自今此點ニ心ヲ用ヒ從來ノ採掘法ヲ改メ決シテ危険ノ採掘ヲ爲サ、ルハ勿論能ク巖石ヲ檢シ其實ノ硬軟ニ依テ適當ノ處置ヲ施シ豫テ危険ヲ避クルノ方法ヲ講スヘシ若シ危険ノ虞アリト視認スルトキハ既ニ許可ヲ與ヘタル場所ト雖モ隨時其採掘ヲ中止セシムルコトアルニ依リ不都合ナキ様注意スヘシ

●司法警察

●縣令第四十八號 明治二十四年九月二十五日

明治二十年六月縣令第八十一號富山縣違警罪目第三條左ノ通追加ス

第三條 左ノ件ヲ犯シタル者ハ一日ノ拘留ニ處シ又ハ拾錢以上壹圓以下ノ科料ニ處ス

一燈費ヲ拂フヘキ燈臺設置ノ場所ニ於テ其定價ヲ出サスシテ船舶ノ出入ヲ爲シタルモノ

●縣令第四號 明治二十五年一月十五日

明治二十年六月縣令第八十一號富山縣違警罪目第三條第一項ノ次へ左ノ通追加ス

二 三 燕又ハ雲雀ヲ捕獲シタルモノ

● 縣令第五十二號 明治二十五年六月十日

明治二十年六月六日 縣令第八十一號 本縣違警罪目ニ左ノ條項ヲ追加ス

但從前ノ第一條ヲ第二條トシ以下各條順次繰下ク

第一條 左ノ件ヲ犯シタルモノハ三日以上十日以下ノ拘留ニ處シ又ハ壹圓以上壹圓九拾五錢以下ノ科料ニ處ス

一 紙幣疑似ノ印刷物ヲ製造販賣授受又ハ所持シタルモノ

參 照

(編者曰本縣違警罪目ハ改正及追加ノ廢止カテサルヲ以テ執務者ノ便利ヲ計リ添削ヲ爲シ更ニ掲出ス)

▲ 縣令第八十一號 明治二十年六月二十七日

本縣違警罪目左ノ通相定ム

但明治十六年甲第三十三號布達及本文ニ抵觸スル從來ノ達示ハ總テ廢止ス

富山縣違警罪目

第一條 左ノ件ヲ犯シタルモノハ三日以上十日以下ノ拘留ニ處シ又ハ壹圓以上壹圓九拾五錢以下ノ科料ニ處ス

一 紙幣疑似ノ印刷物ヲ製造販賣授受又ハ所持シタルモノ

明治二十五年六月十日 縣令第五十二號 以テ第一條ヲ第二條トシ以下各條順次繰下ク

明治二十四年一月 縣令第五十一號 以テ第五項ノ官署ハ公署ニモ適用スルコトトセリ

明治二十二年六月二十一日 縣令第六十八號 以テ本條ノ科料金ヲ更正ス

第二條 左ノ諸件ヲ犯シタルモノハ二日以上五日以下ノ拘留又ハ五拾錢以上壹圓五拾錢以下ノ科料ニ處ス

一 削除 (明治二十二年一月二十八日 縣令第十三號ヲ以テ刪除ス)

二 川除波除ニ妨害ヲナシタルモノ

三 官許ヲ得ス堤防道敷等ニ植物ヲナシタルモノ

四 住所氏名年齢ヲ詐稱シテ宿泊シ又ハ乘船シタルモノ

五 正當ノ事由ナクシテ官署ノ呼出ニ應セサルモノ

六 用水又ハ水車水碓ニ妨害ヲナシタルモノ

七 有病又ハ病死ノ鳥獸ヲ食料ニ販賣シタルモノ

八 毒藥其他人身ノ健康ニ害アル物ヲ以テ魚鳥ヲ捕フルモノ

九 強テ合力ヲ乞ヒ又ハ物品ヲ押賣シ若クハ押賣セントシタルモノ

十 官許ヲ得ス瘋癲人ヲ鎖錮シタルモノ

十一 墓地及埋葬取締規則ニ違背シタルモノ

第三條 左ノ諸件ヲ犯シタルモノハ一日以上三日以下ノ拘留又ハ貳拾錢以上壹圓貳拾五錢以下ノ科料ニ處ス

明治二十四年九月二十五日
縣令第四十八號
以テ本條
追加
明治二十五年一月十五日
縣令第四十八號
以テ本條
追加

- 一 旅行免狀ヲ持タル外國人ヲ私ニ宿泊セシメタルモノ
 - 二 制止ヲ背ンセス夜間十二時後歌舞音曲ヲ爲シ又ハ爲サシメタルモノ
 - 三 官許ヲ得スシテ渡船橋梁ノ通行錢ヲ取リタルモノ
 - 四 奇怪ノ裝飾ヲナシ路上ヲ徘徊シタルモノ
 - 五 無屈ニテ神佛ノ祭禮又ハ開扉ヲ爲シタルモノ
 - 六 漁獵場採藻場又ハ海藻魚類其他ノ物干場ニ妨害ヲ爲シタルモノ
 - 七 事故ニ托シ家屋又ハ行人ニ妨害ヲ爲シタルモノ
- 第四條 左ノ件ヲ犯シタル者ハ一日ノ拘留ニ處シ又ハ拾錢以上壹圓以下ノ科料ニ處ス
- 一 燈費ヲ拂フヘキ燈臺設置ノ場所ニ於テ其定價ヲ出サスシテ船舶ノ出入ヲ爲シタルモノ
 - 二 燕又ハ雲雀ヲ捕獲シタルモノ
- 訓令第七十一號 明治二十四年四月十日 警察署 警察分署
 明治十八年三月警第五號廢止ス
 ▲訓令第七十一號參照
 警 第 五 號 (明治十八年三月二十一日)
 別紙ノ通內務卿ヨリ達有之候條此旨相達候事

(別紙) 陸警第二號 富山縣
 軍人軍屬ノ罪犯傳遞護送ノ義ハ脫走軍人軍屬ノ外ハ不取扱等ニ候處自今陸軍軍法會議又ハ營所等ヨリ依頼有之分ニ限リ囚人護送手續ニ準シ傳遞護送方取計フヘシ此旨相達候事
 但護送者旅費日當并囚人ニ屬スル一切ノ費用ハ陸軍省ヨリ別途可下渡候條其都度該省ヘ請求スヘシ
 明治十八年三月十日 內務卿伯爵山縣有朋
 ●訓令第七十七號 明治二十四年六月五日 警察署 警察分所
 明治十八年八月警第二十六號違自今廢止ス
 ▲訓令第七十七號參照
 警 第 二 十 六 號 (明治十八年八月二十九日)
 別紙ノ通軍人軍屬傳遞護送ノ儀ニ付內務卿ヨリ達有之候條此旨相達候事
 (別紙) 海丙第二四號 富山縣
 本年三月十日陸警第二號ヲ以テ陸軍々人軍屬ノ罪犯傳遞護送ノ儀ニ付相達候處海軍々人軍屬ノ罪犯モ鎮守府又ハ海軍々法會議等ヨリ依頼有之分ニ限リ右同様傳遞護送方取計フヘシ此旨相達候事

但護送者旅費日當並囚人ニ屬スル一切ノ費用ハ海軍省ヨリ別途可下渡候條其都度該省會計局ニ請求スヘシ

明治十八年八月十八日

内務卿伯爵山縣有朋

●第十六類

●訴訟

●訓 第六六號 明治二十五年五月二十日

郡 市長

郵便ニテ送達スル訴訟書類ヲ民事訴訟法第百四十五條第二項ニ據リ市町長ハ預置キタル時其送達ヲ受クヘキモノ在ラサル場合ニ於テ市役所ヨリ之ヲ返還候向モ有之哉ニ相聞ヘ候處萬一右様ノ儀有之候テハ法文ノ旨趣ニモ相反シ候條其儘該役場ニ留置クヘキ旨町村長ヘ訓示セラルヘシ
右訓令ス (市長ノ分ハ其儘ノ下「其役所ニ留置カルヘシ」トス)

第十七類

報告

訓令第三百二十七號 明治二十四年七月二十四日

郡市役所 警察署 警察分署
直稅分署 間稅分署 町村役場

水火災其他急報ヲ爲ストキハ發送ノ時間ヲ報告書月日ノ下ニ記入スヘシ

訓令第八十六號

明治二十四年四月二十四日

郡市役所 町村役場

明治二十三年一月訓令第九號報告例目中へ左ノ一項ヲ追加ス

即報

| 番 號 | 件 名 | 適 用 | | |
|--------------|---|-------|------|-------|
| | | 郡 長 | 市 長 | 町 村 長 |
| 五 一 | 内務大藏兩大臣ノ許可ヲ得タル市町村公債ヲ實 際ニ募集或ハ借入又ハ償還シタル年月日金額 | | | |
| ●訓令第三百二十三號 | 明治二十四年六月二十六日 | 郡市役所 | 町村役場 | |
| ●訓令第九號 | 明治二十三年一月訓令第九號市町村諸收入滯納處分表樣式中左表ヲ追加ス | | | |
| 全上附錄 | | | | |
| 財產差押ノ後納金セシ人員 | 全上納濟金額 | 全上處分費 | | |

(備考) 本表ハ既ニ財產差押ヲ受ケタル後處分法第九條ニヨリ處分費滯納金ヲ完納セシ者ヲ掲載スルモノトス

●訓令第四號 明治二十五年一月十五日

郡市役所 町村役場

明治二十三年一月訓令第九號凡例第四項ヲ削除ス

●訓令第四十五號 明治二十五年四月十六日

郡市役所 町村役場

市制町村制第十八條第二項ニ依リ選舉人名簿ヲ縱覽ニ供スルトキハ其期日及場所ヲ記シ其期日ノ七日前迄ニ町村役場ハ郡當廳ニ報告スヘシ

●訓令第二百二十四號 明治二十四年六月二十六日

郡市役所

明治二十三年十一月訓令第四百四十六號富山縣報告例中左ノ通更正ス

凡 例

第七條 郡(市)長署名調印スヘシノ下「若ニ件以上ヲ同時ニ報告スルトキハ繼テ一括トナシ(紙頁ヲ改)目錄ヲ附シ其年月日宛名及署名調印ハ目錄ノ紙末ニ於テスヘシ」ノ五十八字ヲ削ル

例 目 (年報)

第一九銃獵人員及第一〇七堤防ノ築造及修繕第一〇八堤防ノ築造及修繕費ノ三項ヲ削リ左ノ十六項ヲ増加ス

明治二十五年四月十五日訓令第四十二號正以テ期日更

第十七類 報告

| | | | |
|------|---------------------|--------|-----------------|
| 第一二二 | 堤防ノ築造及修繕費 | 第百一十一表 | 八月三十一日 |
| 第一二三 | 平均物價表 | 第百一十二表 | 三月五日 |
| 第一一四 | 鳥獸獵總計表 | 第百一十三表 | 十四年二月 丙二六番達 |
| 第一一五 | 某米商會所 | 第百一十四表 | 三月三十一日 |
| 第一一六 | 船燈販賣所 | 第百一十五表 | 十九年十二月 丙第八四號 |
| 第一一七 | 船燈製造所 | 第百一十六表 | 全上 |
| 第一一八 | 西洋形船遊員雇入雇止證書用紙受拂明細表 | 第百一十七表 | 四月十日 |
| 第一一九 | 商業諸會社 | 第百一十八表 | 五月三十日 |
| 第一二〇 | 銀行 | 第百一十九表 | 四月三十日 |
| 第一二一 | 銀行ノ株主及株金 | 第百二十表 | 全上 |
| 第一二二 | 銀行株金百圓ニ對スル純益 | 第百二十一表 | 全上 |
| 第一二三 | 銀行ノ預及貸附金 | 第百二十二表 | 全上 |
| 第一二四 | 銀行ノ爲替金 | 第百二十三表 | 全上 |
| 第一二五 | 銀行ノ諸手形 | 第百二十四表 | 全上 |
| 第一二六 | 銀行ノ金利歩合 | 第百二十五表 | 全上 |

七二八

明治二十五年四月十五日訓令第四十二號正以テ期日更

| | | | |
|------|----|--------|----|
| 第一二七 | 貯金 | 第百二十六表 | 全上 |
|------|----|--------|----|

第十四現住死亡者年齢別再掲某市街ノ次ニ合計ノ一欄ヲ増加ス第三十六地方病ノ患者年齢別再掲某市街ヲ削リ表外ニ「人口一万以上群居ノ地即チ再掲市街ニ係ル事實ハ本表ノ式ニ倣ヒ各別ニ調製添付スヘシ」ノ一項ヲ加フ第四十七町村吏員俸給階級別表外備考ニ「町村制第百十六條ニ依リタル町村行政全部ノ組合吏員ハ各其欄内ニ別記ヲ付ス可シ但一部ノ事務ノ爲メ設ケタル組合ノ吏員ハ掲載スルヲ要セス」ノ一項ヲ加フ第九十四水害表々外備考ノ第一項水害ノ景況ノ下(位水トモ)ノ割注ヲ加フ第二項河川ノ水害ハ各ノ下「流域」ノ二字ヲ削リ代フルニ「幹支派川」ノ四字ヲ挿入ス

| 報 | 年 | 川名 | 箇所 | 延 | 長 | 市町村費 | 寄附金 |
|-------|-----------|-----|------------------|-------|---|------|-----|
| 第百一十一 | 堤防ノ築造及修繕費 | 何年度 | (進達期限) 八月三十一日 | 何郡市役所 | | | |

本表ハ二洲年度ノ市町村費ノ負擔ニ係ルモノヲ掲ク可シ

第十七類 報告

七二九

附錄第七號

第百十二

何郡(市)何市場 平均物價表

(進達期限 三月五日)

何郡市役所

種別 平均價 何年 何年 何年 自何年 至何年 三箇年

| 報 年 | | 種 別 | | 平均 價 | | 何 年 | | 何 年 | | 何 年 | | 自 何 年 至 何 年 三 箇 年 | |
|-----|-------|-----|--|------|--|-----|--|-----|--|-----|--|-------------------|--|
| 松 | 薪 | 一貫目 | | | | | | | | | | | |
| 秣 | 苜 | 一貫目 | | | | | | | | | | | |
| 裸 | 麥 | 一石 | | | | | | | | | | | |
| 小 | 麥 | 一石 | | | | | | | | | | | |
| 大 | 麥 | 一石 | | | | | | | | | | | |
| 梅 | 干四斗樽入 | 一樽 | | | | | | | | | | | |
| 漬 | 物四斗樽入 | 一樽 | | | | | | | | | | | |
| 醬 | 油 | 一石 | | | | | | | | | | | |
| 味 | 噌 | 一貫目 | | | | | | | | | | | |
| 鹽 | | 一石 | | | | | | | | | | | |
| 精 | 米 | 一石 | | | | | | | | | | | |
| 玄 | 米 | 一石 | | | | | | | | | | | |

| 考 備 | 炭 | 石 炭 | 炭 | 堅 薪 |
|--|-----|-----|-----|-----|
| 各種類共其品質數等アルヲ以テ各上中下三等ノ價ヲ平均ス 漬物ハ澤庵漬トス | 一貫目 | 一噸 | 一貫目 | 一貫目 |

第百十三

鳥獸獵總計表

(進達期限 七月十五日)

何郡市役所

| 報 年 | | 免 狀 | | 凡 積 免 狀 受 取 高 | | 職 獵 遊 獵 總 計 | |
|-----|-----------|-----|---|---------------|---|-------------|---|
| 水 | 火盜難遺失免狀再渡 | 何 | 何 | 何 | 何 | 何 | 何 |
| 獵 | 銃 銃 名 稱 | 何 | 何 | 何 | 何 | 何 | 何 |
| 身 | 分 | 何 | 何 | 何 | 何 | 何 | 何 |
| 士族 | 何 | 何 | 何 | 何 | 何 | 何 | 何 |
| 平民 | 何 | 何 | 何 | 何 | 何 | 何 | 何 |
| 和銃 | 何 | 何 | 何 | 何 | 何 | 何 | 何 |
| 洋銃 | 何 | 何 | 何 | 何 | 何 | 何 | 何 |
| 皇族 | 何人 | 何 | 何 | 何 | 何 | 何 | 何 |
| 士族 | 何人 | 何 | 何 | 何 | 何 | 何 | 何 |
| 平民 | 何人 | 何 | 何 | 何 | 何 | 何 | 何 |
| 華族 | 何人 | 何 | 何 | 何 | 何 | 何 | 何 |
| 和銃 | 何 | 何 | 何 | 何 | 何 | 何 | 何 |
| 洋銃 | 何 | 何 | 何 | 何 | 何 | 何 | 何 |

